KONICA MINOLTA

bizhub 4700P

ユーザーズガイド

2013. 8

A63N-9560-00K

目次

1—安全にお使いいただくために 10
2—本機について 15
本機についての情報とその参照先 15
設置場所を選ぶ 16
3—追加のセットアップ 18
内蔵オプションを取付ける 18
使用可能な内蔵オプション 18
コントローラーボードにアクセスする 18
オプションカードを取付ける 19
メモリーカードを取付ける 21
ハードウェアオプションを取付ける 23
オプショントレイを取付ける 23
プリンターソフトウェアをセットアップする 25
プリンタードライバーのインストール 25
ネットワークでの接続 26
イーサーネットのネットワークに接続する準備 26
イーサーネットのネットワーク接続でインストールする 27
ワイヤレスネットワークに接続する準備 30
WPS 機能（Wi-Fi Protected Setup）で接続する 31
内蔵 Web サーバー機能（Embedded Web Server）でワイヤレスネットワークに接続する 32
セットアップ状態を確認する 32
4—本機の使用方法 33
本機について 33
各部の名称 33
操作パネルの使い方 34
インジケーターおよびスリープボタンのランプの色について 35

ケーブルの接続 36
コントローラーボードにアクセスする 37
用紙や専用紙をセットする 39
用紙サイズと用紙タイプを設定する 39
ユニバーサル用紙を設定する 39
標準排紙トレイと排紙ストッパーの使用方法 39
トレイに用紙をセットする 40
多目的フィーダーに用紙をセットする 45
各トレイの用紙タイプと用紙サイズの設定/解除 48
印刷する 50
文書を印刷する 50
USB フラッシュメモリーから印刷する 52
コンフィデンシャルジョブと保持されたジョブの印刷 54
情報ページの印刷 57
印刷ジョブをキャンセルする 57
本機の管理について 59
ネットワーク設定と管理者情報を確認する 59
仮想ディスプレイを確認する 59
内蔵 Web サーバー機能で消耗品通知を設定する 59
コンフィデンシャル印刷の設定を変更する 60
他のプリンターに設定をコピーする 61
操作パネルにパスワードを設定する 62
メニュー設定ページを印刷する 62
ネットワーク設定ページを印刷する 63
消耗品および各部の状態を確認する 63
節電する 63
出荷時設定に戻す 68
セキュリティに関する機能 69

5—用紙について 71
特殊紙について 71
重い厚紙 71
封筒 71
ラベル用紙 72
レターヘッド紙 73
OHP フィルム 73
適切な用紙を選択するために 73
用紙特性 73
使用できない用紙 74
用紙を選択する 75
プレプリント紙とレターヘッド紙を選択する 75
用紙の保管 76
サポートされる用紙の大きさ、種類、重さ 76
サポートされる用紙サイズ 76
サポートされる用紙の種類と重さ 78
6—設定メニューについて 80
メニュー一覧 80
［用紙メニュー］ 81
［標準給紙トレイ］メニュー 81
［用紙サイズ/タイプ］メニュー 82
［多目的フィーダー設定］メニュー 85
［代替サイズ］メニュー 85
［用紙表面粗さ］メニュー 86
［用紙の重さ］メニュー 88
［用紙セット方法］メニュー 90
［カスタム紙タイプ］メニュー 91
［ユニバーサル設定］メニュー 92

[レポート]メニュー 93
[レポート]メニュー 93
[ネットワーク/ポート]メニュー 94
[アクティブ NIC]メニュー 94
[標準ネットワーク]メニュー 94
[レポート]メニュー 96
[ネットワークカード]メニュー 96
[TCP/IP]メニュー 97
[IPv6]メニュー 99
[ワイヤレス]メニュー 100
[AppleTalk]メニュー 101
[標準 USB]メニュー 102
[SMTP 設定]メニュー 104
[セキュリティ]メニュー 106
[コンフィデンシャル印刷]メニュー 106
[セキュリティ監査ログ]メニュー 108
[日付/時刻を設定]メニュー 109
[設定]メニュー 110
[一般設定] 110
フラッシュドライブ 116
[印刷設定] 119
7—環境保護のために 135
用紙とトナーの節約 135
再生紙を使用する 135
消耗品を節約する 135
8—メンテナンス 136
外側を清掃する 136
外側を清掃する 136

消耗品や交換部品の注文について 136
コニカミノルタ指定の純正消耗品や交換部品をお使いください 136
トナーカートリッジの注文 137
イメージングユニットの注文 137
推定残りページについて 137
消耗品の保管 137
消耗品を交換する 138
トナーカートリッジを交換する 138
イメージングユニットを交換する 140
本機を移動する 142
移動する前に 142
別の場所に移動する 143
輸送するときは 143
9—紙づまりの処理 144
紙づまりを起こさないためには 144
紙づまりのメッセージと発生箇所について 146
[x]-ページ紙づまり、前面ドアを開きます。[20y.xx] 147
[x]-ページ紙づまり、背面ドアを開きます。[20y.xx] 150
[x]-ページ紙づまり、標準排紙トレイのつまりを取り除きます。[20y.xx] 151
[x]-紙づまり、トレイ 1 を取り外し、両面印刷ユニットのつまりを除去します。[23y.xx] 152
[x]-紙づまり、トレイ[x]を開きます。[24y.xx] 153
[x]-紙づまり、手差しフィーダーのつまりを取り除きます。[25y.xx] 154
10—トラブルシューティング 156
表示されるメッセージについて 156
カートリッジ、イメージングユニットが不一致[41.xy] 156
カートリッジ残り僅か[88.xy] 156
トナーカートリッジ残僅か 156
[x] カートリッジ極少、残り約 n ページ[88.xy] 156

[給紙源]を[ユーザ定義タイプ名]に変更して[用紙の向き]をセット 156
[給紙源]を[ユーザー定義文字列]に変更して[用紙の向き]にセットしてください 157
[給紙源]を[用紙サイズ]に変更して[用紙の向き]をセット 157
[給紙源名]を[用紙タイプ][用紙サイズ]に変更 [用紙の向き]にセット 157
前面ドアを閉じる 157
複雑なページ、一部のデータが印刷されていない可能性があります[39] 157
構成設定変更。保持されたジョブが幾つか復元されません[57] 158
フラッシュメモリ不良[51] 158
USB ドライブの読み取りエラーです。USB を外してください。 158
USB ハブ読み取りエラー。ハブを外してください。 158
イメージングユニット残り僅か[84.xy] 158
イメージングユニット残りほぼ僅か[84.xy] 158
イメージングユニット残りごく僅か、推定残りページ[x][84.xy] 159
誤った用紙サイズ、開く:[給紙源] [34] 159
トレイ[x]をセット中 159
リソース保存機能を使うにはメモリ不足です[35] 159
丁合印刷にはメモリ不足です[37] 159
フラッシュメモリのデフラグを行うにはメモリが不足しています[37] 160
メモリ不足、保持されたジョブが幾つか削除されました[37] 160
メモリ不足、いくつかの保持されたジョブの復元不可[37] 160
[給紙源]に[ユーザー定義文字列][用紙の向き]の用紙をセットしてください 160
[給紙源]に[ユーザー定義タイプ名][用紙の向き]の用紙をセットしてください 161
[給紙源]に[用紙の種類][用紙の向き]の用紙をセットしてください 161
[給紙源名]に[用紙タイプ][用紙サイズ][用紙の向き]にセットをセット中 161
多目的フィーダに[カスタムタイプ名][用紙の向き]をセット中 161
手差しフィーダーに下記をセット中[カスタム文字列][用紙の向き] 162
手差しフィーダーに下記をセット中[用紙サイズ][用紙の向き] 162
MP フィーダに[用紙タイプ][用紙サイズ][用紙の向き]にセットをセット中 162

メンテナンスキットが低下しています[80.xy] 163
メンテナンスキットがほぼ低下しています[80.xy] 163
メンテナンスキットが非常に低下しています、推定残りページ[x][80.xy] 163
メモリ満杯[38] 163
ネットワーク[x]ソフトウェアエラー [54] 163
プリンタメーカー以外の[消耗品タイプ]です。ユーザーガイドを参照してください[33.xy] 163
リソースのためのフラッシュメモリの空き領域が不足[52] 164
プリンタは再起動されました。最後のジョブは完了していない可能性があります。 164
なくなっているまたは呼び出ししないカートリッジを取り付けなおしてください[31.xy] 164
なくなっているまたは呼び出ししないイメージングユニットを取り付けなおしてください[31.xy] 165
標準排紙トレイから用紙を取除く 165
カートリッジを交換、推定残りページ 0[88.xy] 165
カートリッジを交換、プリンタの地域設定が不一致 165
イメージユニットを交換、推定残りページ 0[84.xy] 166
メンテナンスキットを交換してください、推定残りページ 0[80.xy] 166
サポートされていないカートリッジを交換[32.xy] 166
サポートされていないイメージングユニットを交換[32.xy] 166
SMTP サーバーが設定されていません。システム管理者に連絡してください。 166
標準ネットワークソフトウェアエラー[54] 167
標準 USB ポートが無効です[56] 167
フラッシュオプションが多過ぎます[58] 167
取り付けられたトレイが多過ぎます[58] 167
未フォーマットのフラッシュメモリ[53] 168
スロット[x]に非サポートのオプション[55] 168
ハードウェアに関する問題を解決する 169
基本的な問題 169
オプションの問題 172
給紙の問題 175

印刷に関する問題を解決する 177
印刷の問題 177
印刷品質の問題 187
内蔵 Web サーバー機能の画面が開かない 215
製品サポートとサービスのご案内 217
11—付録 218
著作権について 218
本書について 218
登録商標および商標 218
ソフトウェア使用許諾契約書 220
騒音レベル 221
製品の廃棄 221
国際エネルギースタープログラム対応について 221
国際エネルギースタープログラム対象製品とは？ 222
温度仕様条件 222
消費電力 222
製品消費電力 222
スリープモード 223
ハイバネートモード 223
電源オフ 223
総電気使用量 223

1—安全にお使いいただくために

製品を安全にお使いいただくために、必ず以下の「取扱上の注意」をよくお読みになってください。また、このユーザーズガイドの内容を十分理解してから、本機の電源を入れるようにしてください。

電源コードを接続する電源コンセントは、電源プラグがすぐに抜けるよう本機の近くで十分なスペースがあり、正しくアース接地されているコンセントを利用してください。

本機を水の近くや濡れやすい場所に設置しないでください。

⚠**注意—ケガをする可能性があります**：本機はレーザーを使用しています。本書に記載されている以外の制御や調整、操作を行うと有害なレーザー照射にさらされる危険性があります。

本機は印刷時に用紙を加熱する処理を行うため、化学物質が放散される可能性があります。有害物質を発生させないよう、あらかじめ各説明書に記載されている使用可能な用紙の項目を確認し、適切な用紙を使用してください。

⚠**注意—ケガをする可能性があります**：本機に使用されているリチウム電池は交換するように設計されておりません。誤って交換しようとした場合は破裂する危険性があります。本機内部のリチウム電池は、絶対に充電、分解、焼却処分をしないでください。リチウム電池の処分が必要な場合は、お買い上げのサービス実施店にお問合わせください。

⚠**注意—ケガをする可能性があります**：本機を移動する際は、ケガや本機の破損を避けるため、以下のことに注意してください。

- 電源スイッチで本機の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。
- 本機を移動する前に、コードやケーブル類をすべて外してください。
- オプションのトレイが取付けられている場合、本機からトレイを取外します。オプションのトレイを取外すには、トレイの右側面のラッチをトレイの正面に向けてカチッと音がするまでスライドさせます。
- 本機を持上げるときは、本機の両側面にある持ち手を使用します。
- 本機を床などに置くときは指が本機の下に挟まれないように注意してください。
- 本機を設置する前に、本機の周囲に操作するために十分なスペースがあることを確認してください。

本製品に付属する、または製造元が代替品として認可した電源コードのみを使用してください。

⚠**注意—表面が高温になっています**：本機の内部が高温になっている場合があります。高温になった部品で火傷などを負わないように、表面が冷えてから処理してください。

⚠**注意—感電の恐れがあります**：設置後に本機のコントローラーボードに触れる必要がある場合や、オプションのハードウェアやメモリーデバイスを取付ける場合、作業を行う前に本機の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。本機に他の機器を接続している場合はそれらの機器の電源も切り、本機に接続しているコードやケーブルを抜いてください。

⚠**注意—感電の恐れがあります**：すべての機器の接続（イーサーネットケーブルおよび電話線の接続など）が適切なポートに正しく行われていることを確認してください。

本機は、指定の部品を装着して使用した場合に、安全性に関する厳しい世界標準を満たすように設計されています。一部の部品の安全性に関する機能は開示されていない場合があります。また、指定以外の交換部品の使用については責任を負わないものとします。

⚠**注意—ケガをする可能性があります**：電源コードを切断したり、結んだり、束ねたり、傷を付けたりしないでください。また、コードの上に重いものを置いたりしないでください。電源コードがこすれたり、引っ張られたりする状態で使用しないでください。電源コードを家具や壁などの間に挟まないでください。以上のことを守らないと、火災や感電の原因になる恐れがあります。電源コードが以上の状態になっていないか、定期的に確認してください。確認の前には、電源コードをコンセントから抜いてください。

ユーザーズガイドに記載以外の事項については、サービス技術者にお尋ねください。

⚠**注意—感電の恐れがあります**：感電の危険を避けるため、本機の外側の掃除を始める前に電源コードをコンセントから抜き、接続されているすべてのコードやケーブルを外します。

⚠**注意—ケガをする可能性があります**：機器のバランスが不安定にならないよう、トレイは個別に給紙してください。1 つのトレイに用紙をセットしているうちは、他のトレイはすべて閉じておきます。

⚠**注意—感電の恐れがあります**：雷雨の際は、本機のセットアップや、FAX 機器、電源コード、電話線などのケーブル接続作業を行わないでください。

このユーザーズガイドは大切に保管してください。

●絵記号の意味

この使用説明書および製品への表示では、製品をただしくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を追う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵表示の例

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

⚠警告	
	• 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。 • 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。
	• 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。 • この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。 • 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っぱったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。
	• 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。 • タコ足配線をしないでください。コンセントに表示された電流値を超えて使用すると、火災、感電のおそれがあります。 • 原則的に延長コードは使用しないで下さい。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご相談ください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。

警告

必ずアース（接地）接続してください。アース（接地）接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。

- アース（接地）接続する場合は必ず電源プラグを電源に取り付ける前に行ってください。
- アース（接地）接続を取り外す場合は必ず電源プラグを電源から取り外してから行ってください。

アース線を接続する場合は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。

- コンセントのアース端子
- 接地工事を施してある接地端子（第 D 種）

次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。

- ガス管（ガス爆発の原因になります）
- 電話専用アース（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります）
- 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）

本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。

- 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。
- 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。

トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

注意

- 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。
- 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

- 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。インストレーションガイドで固定脚を使用するよう指示がある製品については、固定脚で本体を固定してください。動いたり、倒れたりして怪我の原因になることがあります。

本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。

- 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。
- 本製品の周囲で引火性のスプレイや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。

- トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。
- トナーカートリッジや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。

- プラグを抜くときは電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグのまわりに物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。

⚠注意
本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
• 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。 • 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。 • 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

2—本機について

本機についての情報とその参照先

必要な情報	参照先
最初のセットアップについて: • 本機を接続する • プリンターソフトウェアをインストールする	設定マニュアル—設定マニュアルは本機に付属しています。
追加のセットアップと使用方法: • 用紙と専用紙を選ぶ、保管する • 用紙をセットする • プリンター設定を変更する • 文書と写真を確認して印刷する • プリンターソフトウェアのセットアップと使用方法 • ネットワーク接続で設定する • お手入れやメンテナンスについて • トラブルシューティング(トラブルとその対応について)	『ユーザーズガイド』および『クイックレファレンスガイド』—これらのガイドは『Printer Driver and Documentations CD』に収録されています。
以下の情報: • イーサーネットネットワークに接続する • 接続に関する問題の対処方法	『ネットワークガイド』—『Printer Driver and Documentations CD』に収録されています。CD をコンピューターに挿入し、CD メニューから[**取扱説明書**]をクリックします。左側のナビゲーション枠で[**ユーザーズガイドとその他の説明書**]→[**ネットワークガイド**]をたどって開きます。
以下の項目についての最新情報、更新、および技術サポート情報: • ユーザーズガイド(取扱説明書) • ドライバーのダウンロード	コニカミノルタホームページ: http://www.konicaminolta.jp/ **メモ**:あらかじめ以下の情報(保証書や本体背面で確認できます)を記録しておいていただくと、サービス実施店へのお問合わせ時にスムーズに確認ができます。 • 製品型番 • シリアル番号 • ご購入日 • ご購入販売店

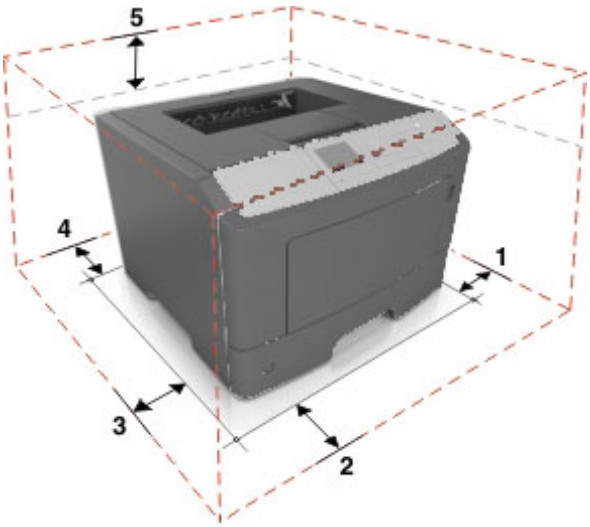
必要な情報	参照先
保証に関する情報	保証に関する情報は、本製品の保証書をご覧ください。

設置場所を選ぶ

設置場所を選ぶときは、トレイ、カバー、ドアを開くための十分なスペースを確保します。ハードウェアオプションを取付ける予定がある場合は、それらの分のスペースも確保します。以下の点を確認してください。

- 正しく接地され、抜き差しが容易な電源コンセントの近くに設置します。
- 設置面が平らかつ丈夫で、安定していることを確認します。
- 本機を以下の状態に保つようにしてください。
  - 清潔で乾燥した、ほこりのない状態にします。
  - 箱に入っていないステープルの針やペーパークリップを近くに置かないようにします。
  - エアコン、ヒーター、換気装置の風が直接当たらないようにします。
  - 直射日光、極度な湿気、激しい気温の変動を避けます。
- 以下の推奨温度内になるよう注意してください。激しい変動を避けてください。

操作環境の温度	15.6～32.2°C
保管時の温度	-20～40°C



1	右側	110 mm
2	前面	305 mm
3	左側	65 mm
4	背面	100 mm
5	上面	305 mm

3—追加のセットアップ

内蔵オプションを取付ける

注意—感電の恐れがあります：設置後に内部のコントローラーボードに触れる必要がある場合や、オプションのハードウェアやメモリーデバイスを取付ける場合は、作業を行う前に本機の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。他の機器を接続している場合はそれらの機器の電源も切り、接続しているコードやケーブルを抜いてください。

警告—破損の恐れがあります：コントローラーボードの電子部品は静電気によって破損する恐れがあります。コントローラーボードの電子部品またはコネクターに触れる前に、本機の金属面に触れて、放電してください。

使用可能な内蔵オプション

- DDR3 DIMM
- フラッシュメモリー
  - フォント
  - ファームウェア
    - フォームバーコード
    - IPDS

コントローラーボードにアクセスする

内蔵オプションを取付けるときなど、コントローラーボードを取扱うときは、以下の項目をご覧ください。

参照⇒「コントローラーボードにアクセスする」

オプションカードを取付ける

注意—感電の恐れがあります:設置後に内部のコントローラーボードに触れる必要がある場合や、オプションのハードウェアやメモリーデバイスを取付ける場合は、作業を行う前に本機の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。他の機器を接続している場合はそれらの機器の電源も切り、接続しているコードやケーブルを抜いてください。

警告—破損の恐れがあります:コントローラーボードの電子部品は静電気によって破損する恐れがあります。コントローラーボードの電子部品またはコネクターに触れる前に、本機の金属面に触れて、放電してください。

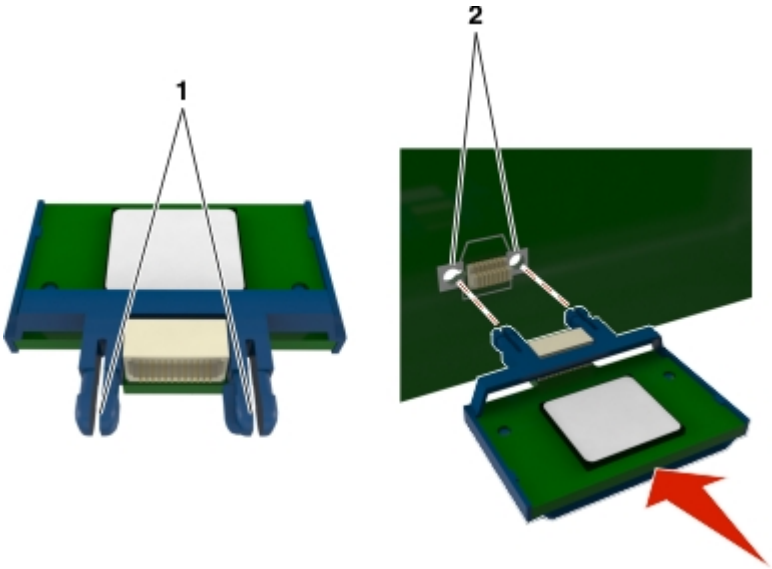
1. コントローラーボードを開けて操作できるようにします。

   参照⇒「コントローラーボードにアクセスする」

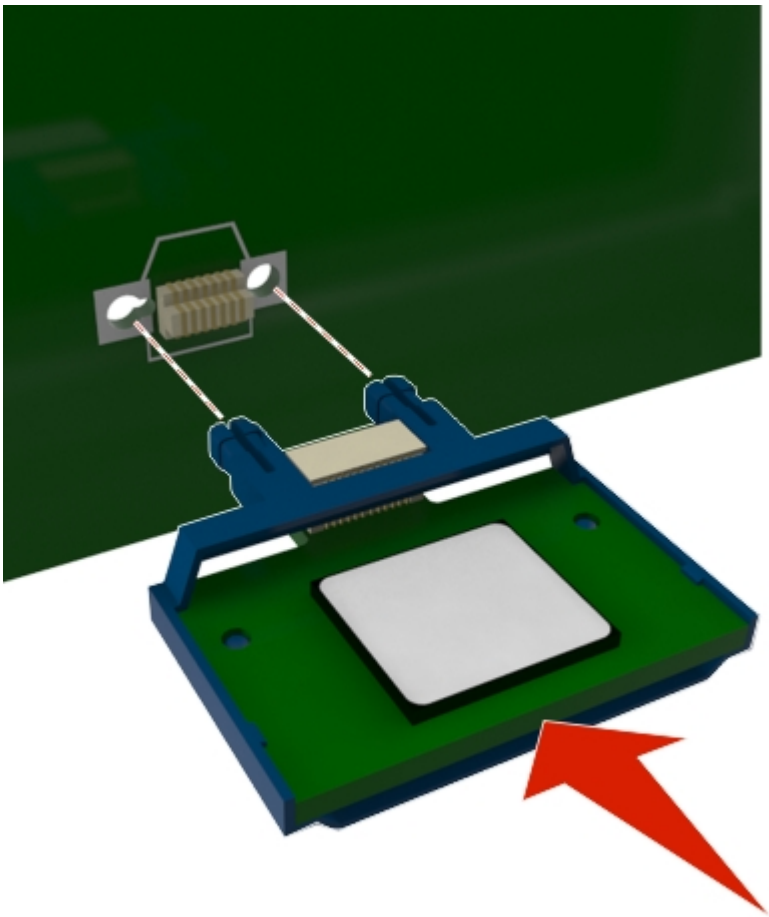
2. オプションカードを梱包から取出します。

   警告—破損の恐れがあります:カードの端にある接点には触れないでください。破損する可能性があります。

3. カードの側面を持ち、カードのプラスチックピン(1)をコントローラーボードの穴(2)に合わせます。



4. 図のように、カードをしっかり押込みます。



警告—破損の恐れがあります：カードを正しく挿入しないと、カードやコントローラーボードを破損する恐れがあります。

メモ：カードのコネクターの端から端までがコントローラーボードのコネクターに密着し、カードが水平になっている必要があります。

5. コントローラーボードのアクセスドアを閉じます。

メモ：プリンターソフトウェアやハードウェアオプションを追加でセットアップした場合、印刷ジョブで使用できるようにするために、プリンタードライバーの設定でオプションを手動追加する必要がある場合があります。

メモリーカードを取付ける

注意—感電の恐れがあります:設置後に内部のコントローラーボードに触れる必要がある場合や、オプションのハードウェアやメモリーデバイスを取付ける場合は、作業を行う前に本機の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。他の機器を接続している場合はそれらの機器の電源も切り、接続しているコードやケーブルを抜いてください。

警告—破損の恐れがあります:コントローラーボードの電子部品は静電気によって破損する恐れがあります。コントローラーボードの電子部品またはコネクターに触れる前に、本機の金属面に触れて、放電してください。

オプションのメモリーカードをコントローラーボードに装着します。

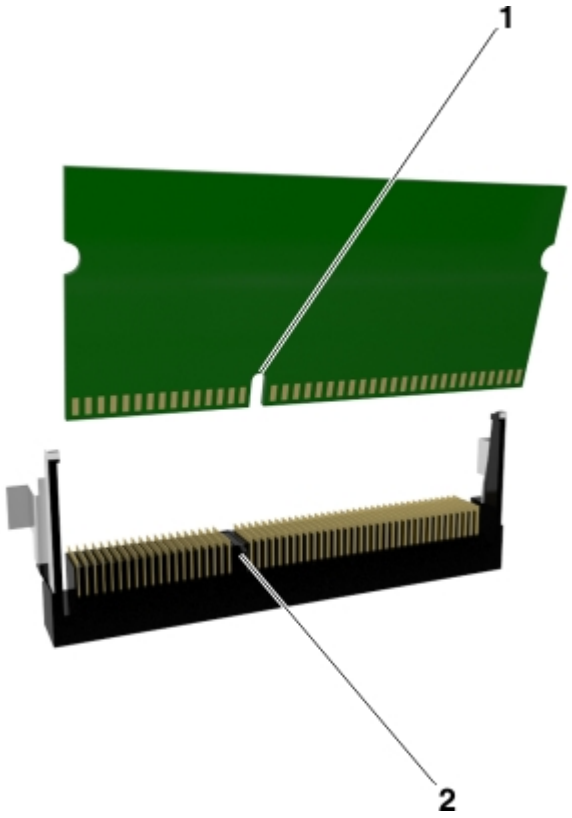
1. コントローラーボードを開けて操作できるようにします。

   参照⇒「コントローラーボードにアクセスする」

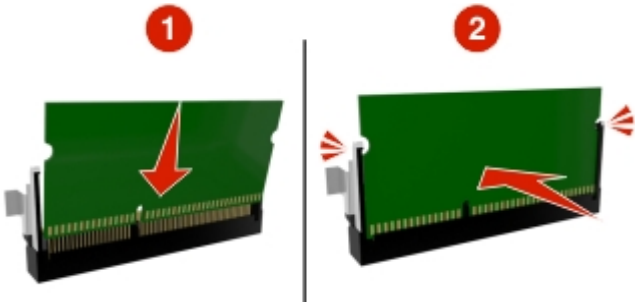
2. メモリーカードを梱包から取出します。

   警告—破損の恐れがあります:カードの端にある接点には触れないでください。破損する可能性があります。

3. メモリーカードの切り欠き(1)をコネクターの突起(2)に合わせます。



4. メモリーカードをコネクターにまっすぐ差込み、所定の位置にカチッとはめ込まれるまで、コントローラーボードの奥まで押します。



5. コントローラーボードのアクセスドアを閉じます。

メモ：プリンターソフトウェアやハードウェアオプションを追加でセットアップした場合、印刷ジョブで使用できるようにするために、プリンタードライバーの設定でオプションを手動追加する必要がある場合があります。

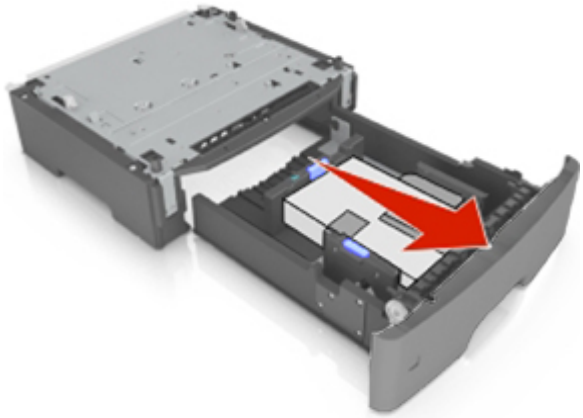
ハードウェアオプションを取付ける

オプショントレイを取付ける

注意—感電の恐れがあります：設置後に内部のコントローラーボードに触れる必要がある場合や、オプションのハードウェアやメモリーデバイスを取付ける場合は、作業を行う前に本機の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。他の機器を接続している場合はそれらの機器の電源も切り、接続しているコードやケーブルを抜いてください。

1. 電源スイッチで電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。

2. オプショントレイを梱包から取出します。梱包材はすべて外してください。
3. 用紙トレイ部分をベースから引出して取外します。



4. トレイ内部の梱包材をすべて取除きます。
5. ベースに用紙トレイを挿入します。
6. 本機の近くにオプショントレイを置いて準備します。

7. 本機を持ち上げ、オプショントレイに合わせてから、ゆっくりとオプショントレイの上に下ろします。

   メモ:オプショントレイは本機やオプショントレイを上に重ねることで固定されます。

8. 電源コードを接続し、正しくアースしてあるコンセントに接続してから、電源をオンにします。

   メモ:プリンターソフトウェアやハードウェアオプションを追加でセットアップした場合、印刷ジョブで使用できるようにするために、プリンタードライバーの設定でオプションを手動追加する必要がある場合があります。

オプションのトレイを取外すときは、右側面のラッチを正面に向けてカチッと音がするまでスライドさせ、積み重なったトレイを上から順に取外してください。

プリンターソフトウェアをセットアップする

プリンタードライバーのインストール

Windows の場合

1. 『Printer Driver and Documentations CD』をコンピューターの CD/DVD ドライブに挿入します。
2. トップ画面が立ち上がりますので、メニューから［プリンタードライバー］を選択し、［インストール］をクリックします。

   自動的にインストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内の driver フォルダーを開いて「Setup.exe」または「Setup64.exe」をダブルクリックします。
   「Setup.exe」は 32bit オペレーティングシステム用、「Setup64.exe」は 64bit オペレーティングシステム用です。
3. コンピューターの画面に表示される手順に従います。

Macintosh の場合

1. 『Printer Driver and Documentations CD』を Macintosh の CD ドライブに挿入します。
2. デスクトップ上の CD アイコン>［**Drivers**］フォルダー>［**Mac**］フォルダーの順にダブルクリックしてフォルダを開き、以下のファイルをダブルクリックします。

   → Mac OS X v10.3/v10.4：「bizhub_4700PSeries_103104.pkg」をダブルクリック

   → Mac OS X v10.5：［**other**］フォルダー内の「bizhub_4700PSeries_105.pkg」をダブルクリック

   → Mac OS X v10.6/v10.7/v10.8：［**other**］フォルダー内の「bizhub_4700PSeries_106.pkg」をダブルクリック
3. インストーラーが起動します。

メモ：

Mac OS X 10.6/10.7/10.8 では使用する用紙サイズによってドライバー用の言語フォルダが異なります。お使いの環境に合わせて選んでください。

- おもにメトリックサイズ（A4 など）で印刷する場合：［**other**］フォルダー
- おもにインチサイズ（Letter、8 1/2 × 11）で印刷する場合：［**english**］フォルダー

メモ：

お使いの Mac OS X のバージョンに合わせて、以下のドライバー用のファイルをダブルクリックしてください。

- 「bizhub_4700PSeries_103104.pkg」（Mac OS X v10.3/v10.4 用）
- 「bizhub_4700PSeries_105.pkg」（Mac OS X v10.5 用）
- 「bizhub_4700PSeries_106.pkg」（Mac OS X v10.6/v10.7/v10.8 用）

4. 以下の操作でプリンターを追加します。

   a. Mac OS X v10.3/v10.4/v10.5/v10.6 の場合：

      アップルメニュー>[**システム環境設定**]>[**プリントとファクス**]>[**+**]または[**プリンタを設定**]

      Mac OS X v10.7/v10.8 の場合：

      アップルメニュー>[**システム環境設定**]>[**プリントとスキャン**]>[**+**]

   b. プリンターを選択します。

   c. [**追加**]をクリックします。

ネットワークでの接続

メモ：

- ワイヤレスネットワーク上にセットアップする場合は、オプションのワイヤレスネットワークアダプターが必要です。ワイヤレスネットワークアダプターの取付け方法などについては、アダプターに付属の説明書をご覧ください。
- SSID（Service Set Identifier）は、ワイヤレスネットワーク上で各機器に割当てられる名前です。WEP（Wired Equivalent Privacy）、WPA（Wi-Fi Protected Access）、WPA2、および 802.1X - RADIUS は、それぞれネットワーク上で使用されているセキュリティの種類です。

イーサーネットのネットワークに接続する準備

イーサーネットのネットワーク上でセットアップする場合は、作業前に以下の情報を確認しておいてください。

メモ：コンピューターと本機の IP アドレスが自動で割当てられている場合は、そのままインストールに進んでください。

- 本機がネットワーク上で使用できる固有 IP アドレス
- ネットワークゲートウェイ
- ネットワークマスク
- 本機のニックネーム（任意）

  メモ：本機のニックネームを使うと、ネットワーク上で本機を特定するのが簡単になります。ニックネームには、既定のものを選択することも、覚えやすい名前を指定することもできます。

ネットワークへ接続するためには、イーサーネットケーブルと、物理的に接続するネットワークポートが必要です。ネットワークケーブルは、損傷による不具合が発生しないよう、新しいネットワークケーブルを使用してください。

イーサーネットのネットワーク接続でインストールする

Windows の場合

1. 『Printer Driver and Documentations CD』をコンピューターの CD/DVD ドライブに挿入します。
2. コンピューターの画面に表示される手順に従います。
3. デバイスが検出されると、本機がデバイスリストに表示されます。インストールするデバイスを選択し、[**次へ**] をクリックします。
4. インストールする項目を選択し、[**次へ**]をクリックします。
5. インストールが完了します。

Macintosh の場合

1. ネットワークの DHCP サーバーが接続した本機に IP アドレスを割当てるように設定します。
2. 以下のいずれかの方法で本機の IP アドレスを確認します。
   - 操作パネルで確認する。
   - [**ネットワーク/ポート**]メニューの[**TCP/IP**]の項目で確認する
   - 「ネットワーク設定ページ」または「メニュー設定ページ」を印刷し、[**TCP/IP**]の項目で確認する

     メモ:本機が接続されているサブネットマスクとは異なるサブネット上にあるコンピューターからアクセスする場合は、IP アドレスが必要になります。
3. Macintosh にプリンタードライバーをインストールします。
   a. 『Printer Driver and Documentations CD』を Macintosh の CD ドライブに挿入します。
   b. デスクトップ上の CD アイコン>[**Drivers**]フォルダー>[**Mac**]フォルダーの順にダブルクリックしてフォルダを開き、以下のファイルをダブルクリックします。
      → Mac OS X v10.3/v10.4:「bizhub_4700PSeries_103104.pkg」をダブルクリック
      → Mac OS X v10.5:[**other**]フォルダー内の「bizhub_4700PSeries_105.pkg」をダブルクリック
      → Mac OS X v10.6/v10.7/v10.8:[**other**]フォルダー内の「bizhub_4700PSeries_106.pkg」をダブルクリック
   c. インストーラーが起動します。

   メモ:

   Mac OS X 10.6/10.7/10.8 では使用する用紙サイズによってドライバー用の言語フォルダーが異なります。お使いの環境に合わせて選んでください。

   - おもにメトリックサイズ(A4 など)で印刷する場合:[**other**]フォルダー

- おもにインチサイズ（Letter、8 1/2 × 11）で印刷する場合：［**english**］フォルダー

メモ：

お使いの Mac OS X のバージョンに合わせて、以下のドライバー用のファイルをダブルクリックしてください。

- 「bizhub_4700PSeries_103104.pkg」（Mac OS X v10.3/v10.4 用）
- 「bizhub_4700PSeries_105.pkg」（Mac OS X v10.5 用）
- 「bizhub_4700PSeries_106.pkg」（Mac OS X v10.6/v10.7/v10.8 用）

4. 以下の操作でプリンターを追加します。
   a. Mac OS X v10.3/v10.4/v10.5/v10.6 の場合：

      アップルメニュー>［**システム環境設定**］>［**プリントとファクス**］>［**+**］または［**プリンタを設定**］

      Mac OS X v10.7/v10.8 の場合：

      アップルメニュー>［**システム環境設定**］>［**プリントとスキャン**］>［**+**］
   b. プリンターを選択します。
   c. ［**追加**］をクリックします。

Linux の場合

プリンター設定（Printer Configuration）ツールを利用してプリンターを追加する

1. 本機をコンピューターまたはネットワークに接続します。
2. 『Printer Driver and Documentations CD』をコンピューターの CD/DVD ドライブに挿入します。
3. ［**システム**］メニューから［**管理**］>［**印刷**］の順にクリックします。
4. ［**新規プリンタ**］をクリックします。
5. ［**プリンタ名**］、［**説明**］、［**場所**］を入力し、［**進む**］をクリックします。
6. 表示されるダイアログボックスの左側の欄で接続するポートを選択します。
7. ［**進む**］をクリックします。
8. ［**PPD ファイルを提供する**］を選択します。
9. フォルダアイコンをクリックします。
10. PPD ファイルを選択します。
11. ［**開く**］>［**進む**］>［**適用**］の順にクリックします。

CUPS Administration Web ページからプリンターを追加する

1. 本機をコンピューターまたはネットワークに接続します。
2. ブラウザを起動します。
3. URL に「http://localhost:631」と入力します。
   CUPS Administration Web ページが表示されます。
4. ［**プリンタの追加**］をクリックします。
5. ［**名前**］、［**場所**］、［**説明**］を入力して［**続ける**］をクリックします。
6. デバイスの一覧からデバイスポートを選択して［**続ける**］をクリックします。
7. USB 接続の場合は、手順 9 に進みます。
   ネットワーク接続の場合は［**デバイス URI**］を入力します。
   入力例：socket://<本機の IP アドレスまたはホスト名>:port
8. ［**続ける**］をクリックします。
9. ［**メーカ**］で［**KONICA MINOLTA**］を選択して［**続ける**］をクリックします。
10. ［**モデル**］で［**KONICA MINOLTA bizhub 4700PSeries PPD (xx)**］を選択して［**プリンタの追加**］をクリックします。
11. ルート権限の［**ユーザ名**］と［**パスワード**］を入力して、［**OK**］をクリックします。

ワイヤレスネットワークに接続する準備

メモ:

- ワイヤレスネットワーク上にセットアップする場合は、オプションのワイヤレスネットワークアダプターが必要です。ワイヤレスネットワークアダプターが取付けられ、正常に動作していることを確認してください。
- アクセスポイント(無線 LAN ルーター)の電源がオンで正常に動作していることを確認してください。

ワイヤレス接続で印刷できるようにセットアップするには、以下の情報が必要です。

- **SSID**(Service Set Identifier)…SSID がネットワーク名になります。
- **無線モード**(または**ネットワークモード**)…インフラストラクチャモードとアドホックモードのいずれかです。
- **チャネル**(**アドホックモード**の場合)…インフラストラクチャモードの場合は、初期設定でチャネルが自動に設定されています。

  一部のアドホックネットワークでも、チャネルを[**自動**]に設定する必要があります。どちらを選択して良いか不明な場合は、システム管理者に問合わせてください。
- **セキュリティの設定**…セキュリティの設定には以下の 3 種類があります。
  - WEP キー

    使用しているネットワークで複数の WEP キーが使用されている場合は、4 つまで登録できます。そのときにネットワークで使用している WEP キーを初期値として選択することで接続設定ができます。
  - WPA/WPA2 事前共有キー/パスフレーズ

    WPA は、セキュリティ用に追加されたレイヤーで暗号化されます。暗号の種類には、AES と TKIP のいずれかを選択できます。接続するときは、ルーターと本機で同じ種類の暗号化を設定してください。種類が異なる場合は、ネットワーク上で通信できません。
  - 802.1X 認証

    802.1X ネットワークでセットアップする場合は、以下の情報が必要です。

    - 認証の種類
    - 内部認証の種類
    - 802.1X ユーザー名とパスワード
    - 証明書
  - セキュリティなし

    ワイヤレスネットワークでセキュリティを設定していない場合は、セキュリティ情報も必要ありません。

    メモ: ワイヤレスネットワークを「セキュリティなし」に設定して使用することは避けてください。任意のユーザーがネットワークへアクセスする可能性があり、セキュリティ上、問題があります。

メモ:

- 接続しているネットワークの SSID が不明の場合は、コンピューターのネットワークアダプター用のユーティリティを起動してネットワーク名を確認してください。SSID またはセキュリティ情報が見つからない場合は、アクセスポイントに付属の説明書を参照するか、システム管理者に問合わせてください。

- ワイヤレスネットワークの WPA/WPA2 事前共有キー/パスフレーズを確認するには、アクセスポイントに付属の説明書や製造元のサイトを参照するか、システム管理者に問合わせてください。

WPS 機能(Wi-Fi Protected Setup)で接続する

ワイヤレスネットワークに接続する前に以下の状況を確認しておいてください。

- アクセスポイント(無線 LAN ルーター)が WPS 機能(Wi-Fi Protected Setup)に対応している、または互換性があることを確認してください。詳しくは、アクセスポイントに付属の説明書をご覧ください。
- 本機にワイヤレスネットワークアダプターが取付けられ、正常に動作していることを確認してください。詳しくは、アダプターに付属の説明書をご覧ください。

プッシュボタン方式を利用する場合

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

   - >[**設定**]> OK >[**ネットワーク/ポート**]> OK >[**ネットワーク [x]**]> OK >[**ネットワーク [x] 設定**] > OK >[**ワイヤレス**]> OK >[**Wi-Fi Protected Setup**]> OK >[**プッシュボタン方式を開始**]> OK

2. 操作パネルのディスプレイに表示される手順に従います。

暗証番号方式(PIN 入力)を利用する場合

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

   - >[**設定**]> OK >[**ネットワーク/ポート**]> OK >[**ネットワーク [x]**]> OK >[**ネットワーク [x] 設定**] > OK >[**ワイヤレス**]> OK >[**Wi-Fi Protected Setup**]> OK >[**PIN 方式を開始**]> OK

2. 8 桁の WPS PIN コードを記録しておきます。

3. ブラウザを起動し、アドレスフィールドにアクセスポイントの IP アドレスを入力して設定ページを開きます。

   メモ:

   - IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。

   - プロキシサーバーを使用している場合は、アクセスポイントの設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

4. WPS 設定画面を開きます。詳しくは、アクセスポイントに付属の説明書をご覧ください。

5. 記録してあった本機の 8 桁の WPS PIN コードを入力し、設定を保存します。

内蔵 Web サーバー機能（Embedded Web Server）でワイヤレスネットワークに接続する

本機を接続する前に以下の状況を確認しておいてください。

- 暫定的に本機をイーサーネットのネットワークに接続しておいてください。
- 本機にワイヤレスネットワークアダプターが取付けられ、正常に動作していることを確認してください。詳しくは、アダプターに付属の説明書をご覧ください。

1. ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

   メモ:

   - 本機の IP アドレスは、[**ネットワーク/ポート**]メニューの[**TCP/IP**]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
   - プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [**設定**]>[**ネットワーク/ポート**]>[**ワイヤレス**]の順にクリックします。
3. アクセスポイント（無線ルーター）の設定と一致するように設定を変更します。

   メモ: 正しい SSID が入力されていることを確認してください。

4. [**送信**]をクリックします。
5. 電源を切り、イーサーネットケーブルを取外します。電源を切った後、5 秒以上待ってから、再び電源を入れます。
6. ネットワークに正常に接続されたかどうかを確認するために、ネットワーク設定ページを印刷します。「ネットワークカード x」項目で状態が「接続中」であるかどうかを確認します。

   詳しくは、『ユーザーズガイド』の「セットアップ状態を確認する」（次項）をご覧ください。

セットアップ状態を確認する

プリンターソフトウェアやハードウェアオプションを追加でセットアップした場合、正しく認識しているかを確認するために次の設定ページを印刷してください。

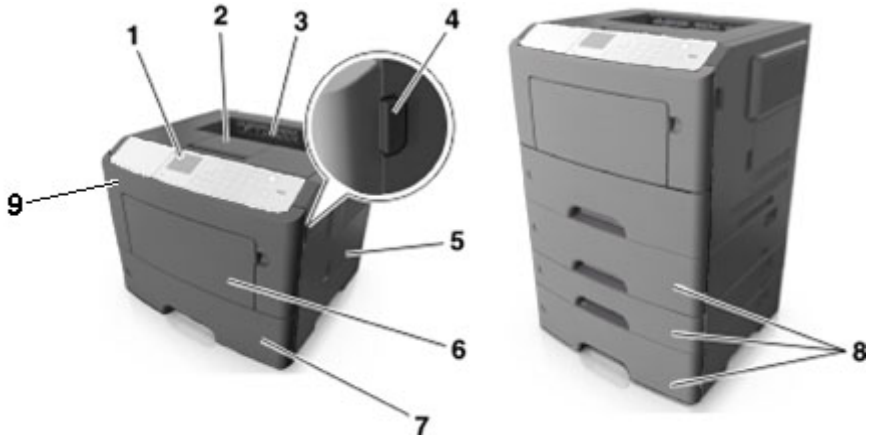
- **メニュー設定ページ**…オプションを取付けたときなど、正しく装着できているか確認できるページです。ページの下部にオプションが印刷されます。装着オプションの一覧に目的のオプションが見当たらない場合は、正しく装着されていない可能性があります。一旦オプションを取外し、取付けなおしてください。
  参照⇒「メニュー設定ページを印刷する」
- **ネットワーク設定ページ**…イーサーネットのネットワークまたはワイヤレスネットのネットに接続した場合は、正しく接続できているかどうかを確認するためにネットワーク設定ページを印刷します。ネットワーク設定ページには、ネットワーク接続に必要な情報が印刷されるので、設定するときに便利です。
  参照⇒「ネットワーク設定ページを印刷する」

4—本機の使用方法

本機について

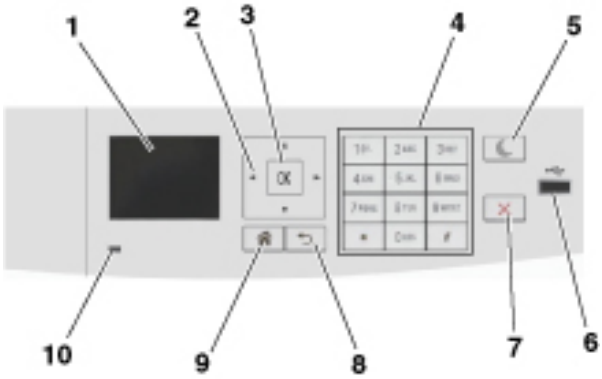
各部の名称

注意—ケガをする可能性があります：機器のバランスが不安定にならないよう、トレイは個別に給紙してください。1 つのトレイに用紙をセットしているうちは、他のトレイはすべて閉じておきます。



1	操作パネル
2	排紙ストッパー
3	標準排紙トレイ
4	前面ドア解除ボタン
5	コントローラーボードのアクセスドア
6	多目的フィーダー（容量 100 枚）
7	標準用紙トレイ（容量 550 枚）
8	オプション用紙トレイ（容量 250 枚/容量 550 枚）
9	前面ドア

操作パネルの使い方



	項目	用途
1	ディスプレイ	本機の状態とメッセージを表示します。 本機のセットアップと操作を行います。
2	▲▼◀▶ボタン	上下左右にスクロールします。
3	[**OK**]ボタン	メニューの設定値を選択します。 設定を保存します。
4	テンキー	数字や文字、記号を入力します。
5	スリープボタン	スリープモードまたはハイバネートモードを有効にします。 以下の操作でスリープモードから復帰します。 • 操作パネルのボタンのどれかを押す • 用紙トレイまたは前面ドアを開ける • コンピューターから印刷ジョブを送信する • 主電源スイッチで電源 ON/OFF リセットを実行する • USB ポートにデバイスを接続する
6	USB ポート	USB フラッシュメモリー内のデータを PC を介さずに直接プリントすることができます。 **メモ**:USB フラッシュメモリーを使用できるのは前面の USB ポートのみです。
7	ストップ/キャンセルボタン	動作や設定を停止します。

	項目	用途
8	戻るボタン	1 つ前の画面に戻ります。
9	ホームボタン	ホーム画面に戻ります。
10	インジケーターランプ	本機の状態を確認します。

インジケーターおよびスリープボタンのランプの色について

操作パネルのインジケーターやスリープボタンのランプの色で本機の状態を確認できます。

インジケーターランプの色と本機の状態

インジケーターランプ	本機の状態
消灯	本機がオフまたはハイバネートモードです。
緑色に点滅	本機がウォーミングアップ中、データ処理中、または印刷中です。
緑色に点灯	本機の電源が入った状態で、アイドル中です。
赤色に点滅	トラブルが発生している状態です。ディスプレイに表示されるメッセージで状態を確認できます。

スリープボタンのランプの色と本機の状態

スリープボタンのランプ	本機の状態
消灯	本機がオフまたは準備完了後のアイドル状態です。
黄色に点灯	本機がスリープモードです。
黄色に点滅	本機がハイバネートモードに移行中かハイバネートモードからの復帰中です。
ゆっくりとした点滅（0.1 秒の点灯と 1.9 秒の消灯）	本機がハイバネートモードです。

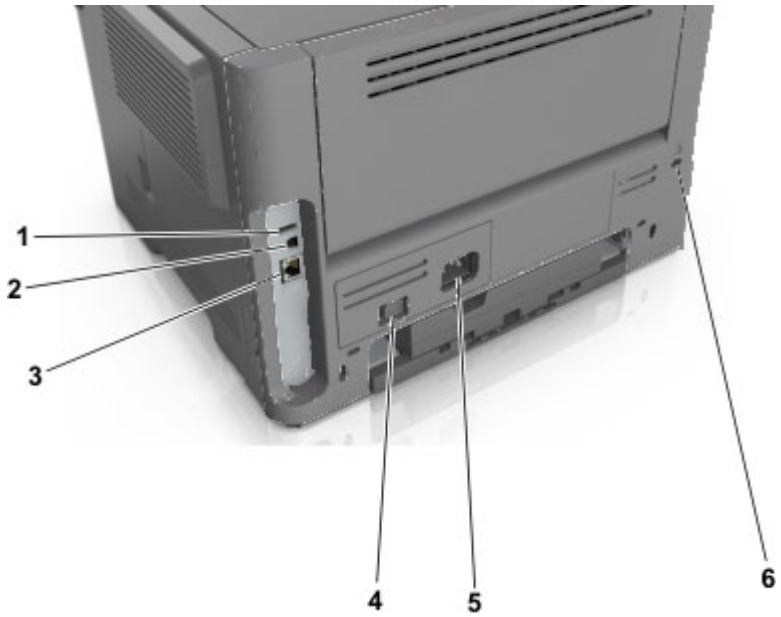
ケーブルの接続

ローカル接続の場合は USB ケーブルでコンピューターに、ネットワーク接続の場合はイーサーネットケーブルでネットワークに接続します。

次のことに注意してください。

- USB ケーブルはケーブルの USB マークと本機の USB マークを合わせて挿入してください。
- イーサーネットポートとそれに対応するイーサーネットケーブルを準備してください。

警告—破損の恐れがあります：印刷中は USB ケーブルやイーサーネットアダプター、本機の以下の部品には触らないでください。データの欠損や誤動作する恐れがあります。

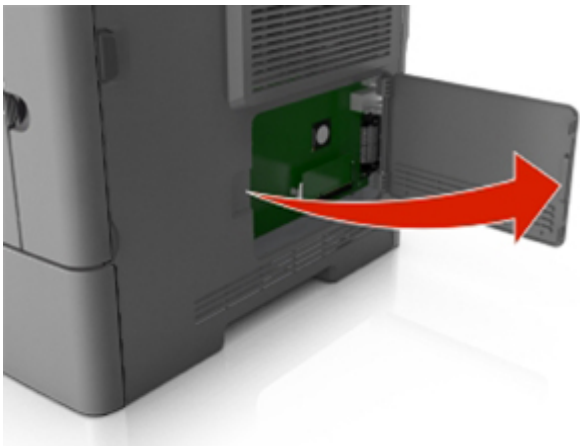


	項目	用途
1	USB ポート	オプションのワイヤレスネットワークアダプターを接続します。
2	USB プリンターポート	コンピューターに接続する USB ケーブルを挿入します。
3	イーサーネットポート	イーサーネットネットワークに接続するイーサーネットケーブルを挿入します。
4	電源スイッチ	電源をオン/オフします。
5	電源インレット	コンセントに接続する電源コードを挿入します。
6	セキュリティスロット	盗難を防止するロックを取付けます。

コントローラーボードにアクセスする

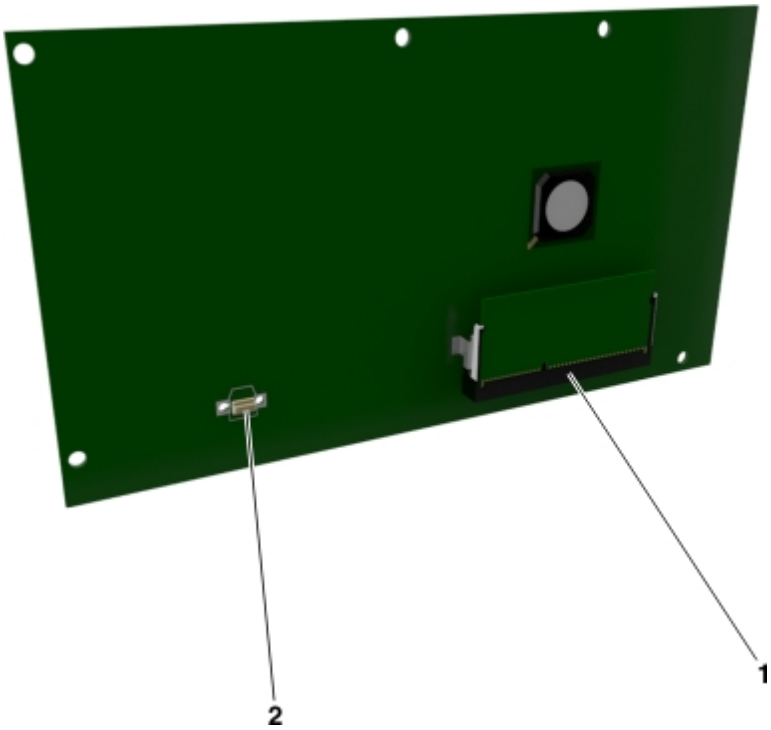
注意—感電の恐れがあります：設置後に内部のコントローラーボードに触れる必要がある場合や、オプションのハードウェアやメモリーデバイスを取付ける場合は、作業を行う前に本機の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。他の機器を接続している場合はそれらの機器の電源も切り、接続しているコードやケーブルを抜いてください。

1. コントローラーボードのアクセスドアを開きます。



2. 以下の図で、それぞれのオプション用のコネクター位置を確認します。

   警告—破損の恐れがあります:コントローラーボードの電子部品は静電気によって破損する恐れがあります。コントローラーボードの電子部品またはコネクターに触れる前に、本機の金属面に触れて、放電してください。



1	メモリーカード用コネクター
2	オプションカード用コネクター

用紙や専用紙をセットする

用紙および専用紙は、印刷品質に影響します。適切な用紙の種類を選択し、正しく取扱ってください。
参照⇒「用紙の保管」、「紙づまりを起こさないためには」

用紙サイズと用紙タイプを設定する

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

   >[**設定**]> OK >[**用紙メニュー**]> OK >[**用紙サイズ/タイプ**]> OK

2. ▲▼ボタンを押して用紙トレイまたは多目的フィーダーを選択し、OKを押します。

3. ▲▼ボタンを押して用紙サイズを選択し、OKを押します。

4. ▲▼ボタンを押して用紙タイプを選択し、OKを押して設定を変更します。

ユニバーサル用紙を設定する

ユニバーサル用紙サイズはユーザー定義の用紙サイズです。あらかじめ本機の設定メニューに登録されている用紙サイズ以外のサイズで印刷したいときに利用します。

メモ:

- ユニバーサル用紙サイズの最小値は 76.2 × 127 mm です。多目的フィーダーからのみ給紙できます。
- ユニバーサル用紙サイズの最大値は 215.9 × 355.6 mm です。すべてのトレイまたは多目的フィーダーから給紙できます。

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

   >[**設定**]> OK >[**用紙メニュー**]> OK >[**ユニバーサル設定**]> OK >[**測定単位**]> OK >単位を選択する > OK

2. [**縦長の幅**]または[**縦長の縦の長さ**]を選択し、OKを押します。

3. ◀▶ボタンを押して設定を変更し、OKを押します。

標準排紙トレイと排紙ストッパーの使用方法

標準排紙トレイは、250 枚までの用紙(坪量 75 g/m^2)を排紙してためておくことができます。標準排紙トレイでは印刷面が下を向くように排紙されます。標準排紙トレイには、たまった用紙がトレイの前方からすべり落ちるのを防ぐために排紙ストッパーが付いています。

排紙ストッパーを使用するときは、持上げて前方に開きます

メモ：移動する場合は、排紙ストッパーを閉じてください。

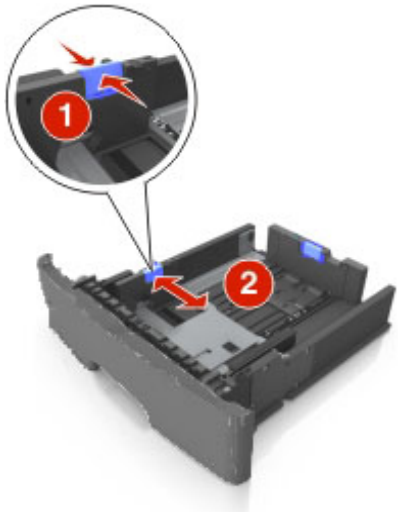
トレイに用紙をセットする

注意—ケガをする可能性があります：機器のバランスが不安定にならないよう、トレイは個別に給紙してください。1 つのトレイに用紙をセットしているうちは、他のトレイはすべて閉じておきます。

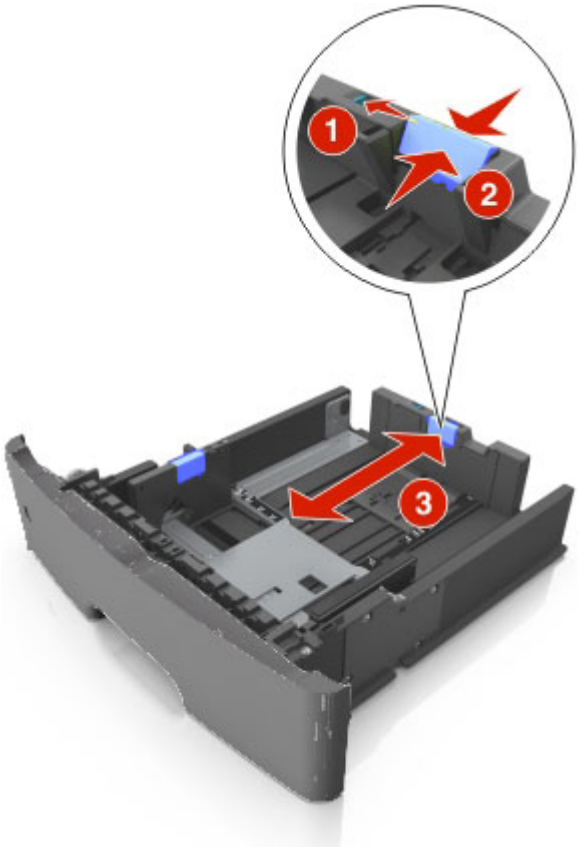
1. トレイを手前に完全に引出します。

   メモ：印刷中または、操作パネルのディスプレイに［**取り込み中**］と表示されているときはトレイを引出さないでください。紙づまりの原因となります。

2. セットする用紙のサイズに合わせて、横のガイドタブをつまんで移動します。



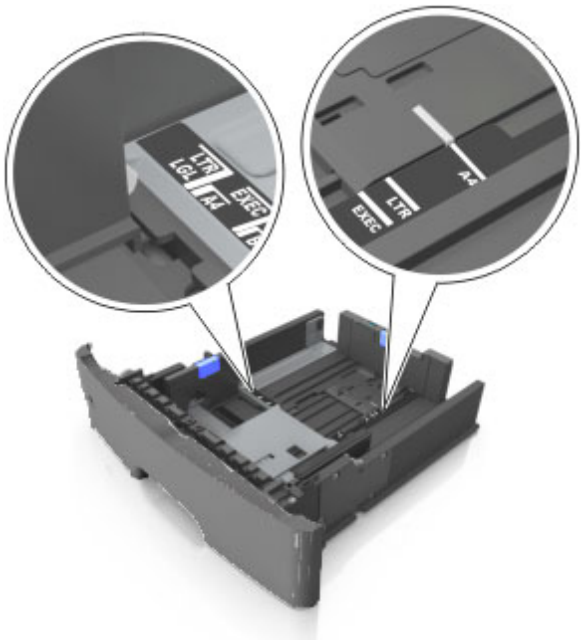
3. 縦のガイドタブのロックを外し、セットする用紙のサイズに合わせて、ガイドタブをつまんで移動します。



メモ:

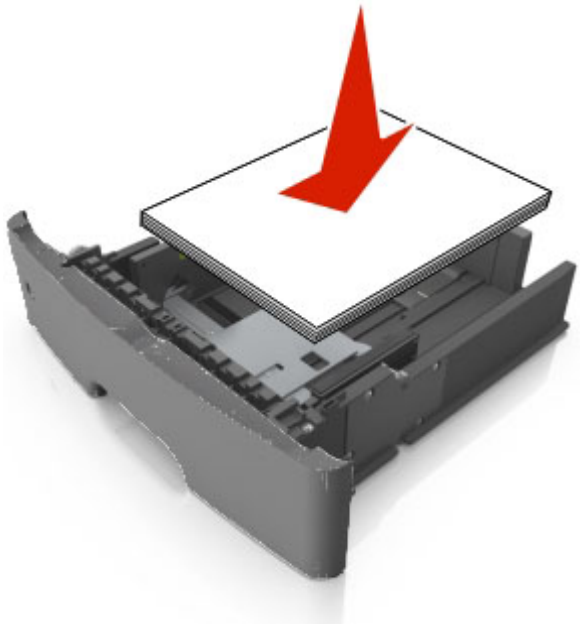
- A4、レターサイズ、またはリーガルサイズなどの長い用紙をセットするときは、縦のガイドタブをつまんで、後方の用紙の長さに合った位置までスライドさせます。

- リーガルサイズの用紙をセットすると、縦のガイドタブがトレイのベースからはみ出るため、用紙にほこりがかかることがあります。ダストカバーを購入して装着すると用紙をほこりから保護できます。
- 標準トレイに A6 サイズの用紙をセットするときは、縦のガイドタブをつまんで、トレイの中央にある A6 サイズの位置までスライドさせます。
- 横のガイドおよび縦のガイドがトレイ底の用紙サイズ指示と一致していることを確認してください。



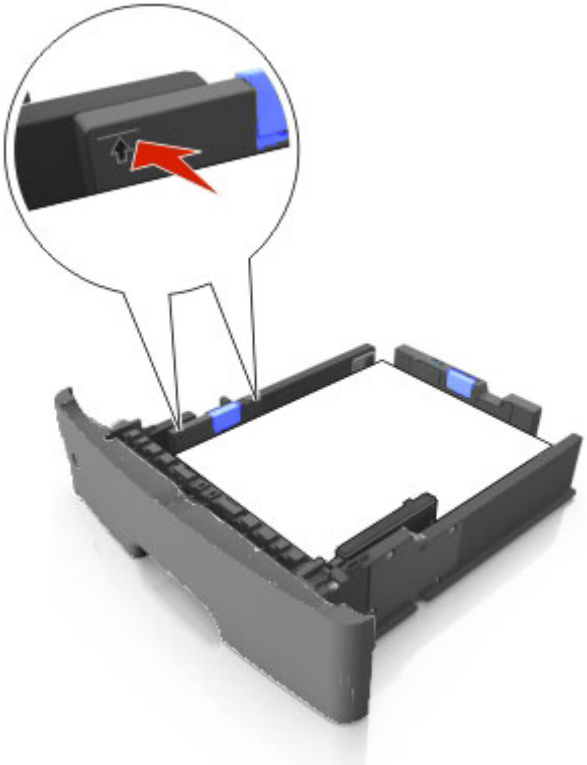
4. 用紙をほぐし、よくさばいてから平らな面で端を揃えます。用紙を折ったり畳んだりしないでください。

5. ほぐした用紙の束をトレイにセットします。



メモ：

- 再生紙またはプレプリント紙を使用する場合は、印刷する面を下にしてセットします。
- 穴開き用紙を使用する場合は、穴の開いている用紙の上端をトレイの前面に向けてセットします。
- レターヘッド紙は、用紙の上端をトレイの前面に向け、レターヘッドのある面を下に向けてセットします。両面印刷する場合は、用紙の下端をトレイの前面に向け、レターヘッドのある面を上に向けてセットします。
- 用紙の枚数が横のガイドの上限マークを超えないようにしてください。



6. トレイを奥まで押してセットします。

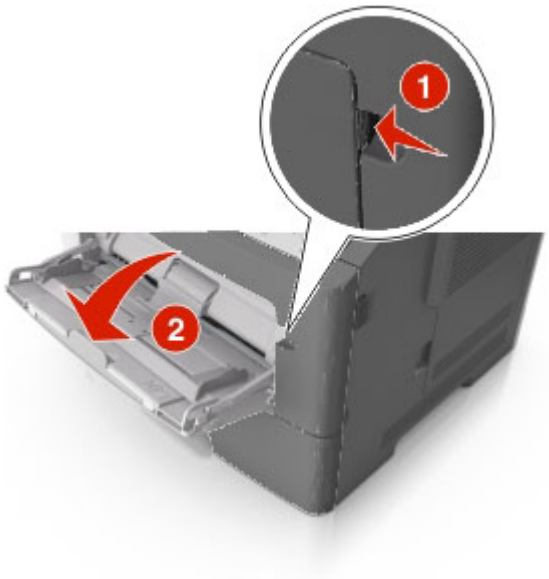
7. 操作パネルで[**用紙メニュー**]の用紙サイズと用紙タイプを、セットした用紙と同じに設定します。

   メモ:紙づまりや印刷品質の問題を起こさないために、正しい用紙サイズと用紙タイプを設定してください。

多目的フィーダーに用紙をセットする

重い厚紙、OHP フィルム、ラベル紙、封筒など通常と異なるサイズや種類の用紙または特殊用紙を印刷するには、多目的フィーダーを使用します。多目的フィーダーは 1 ページだけレターヘッド紙に印刷するときなどにも利用できます。

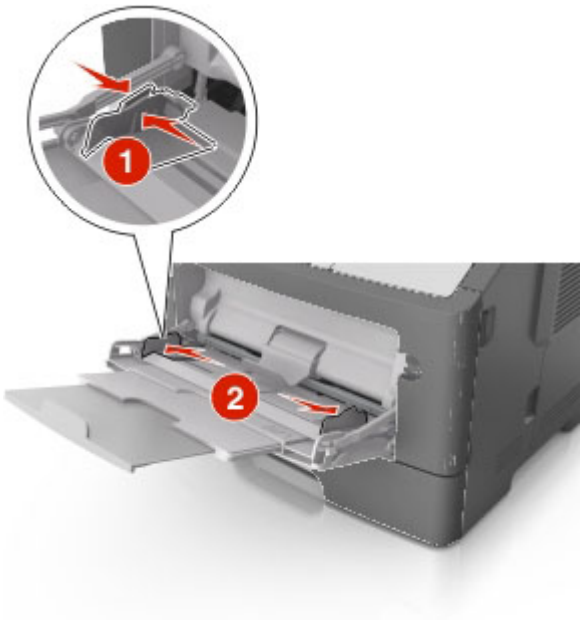
1. 多目的フィーダーを開きます。



a. 多目的フィーダーの延長ガイドを引出します。

b.　延長ガイドをゆっくりといっぱいまで引出して多目的フィーダーを開きます。

2.　左端のガイドのタブをつまんで、セットする用紙の幅に合わせて移動します。



3.　セットする用紙または特殊用紙を準備します。

-　用紙をほぐし、よくさばいてから平らな面で端を揃えます。用紙を折ったり畳んだりしないでください。

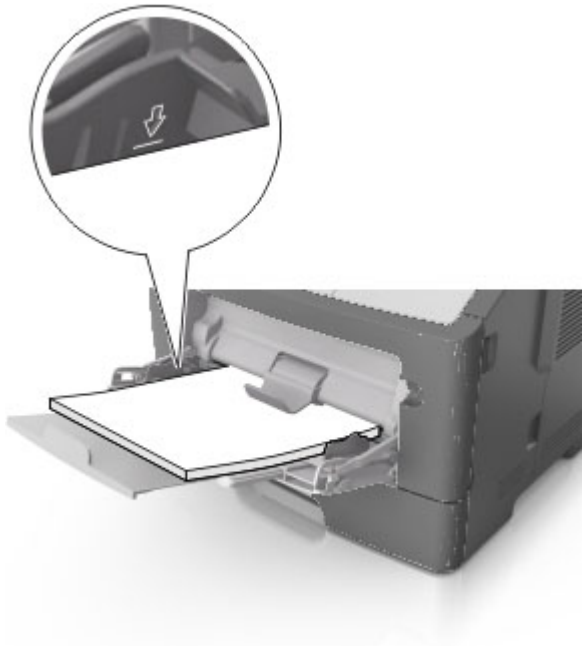
- OHP フィルムの場合は、両端を持って、くっつかないようにほぐします。最後に平らな面で端を揃えます。

  メモ:OHP フィルムの印刷面には触れないようにしてください。また、OHP フィルムに傷を付けないように注意してください。

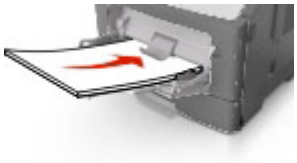
- 封筒の場合も、同様に用紙をほぐしてさばきます。最後に平らな面で端を揃えます。

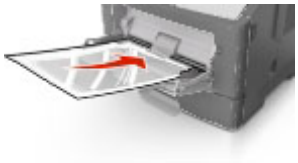
4. 用紙または専用紙をセットします。

   メモ:用紙の枚数が横のガイドの上限マークを超えないようにしてください。用紙が多いと紙づまりの原因になります。



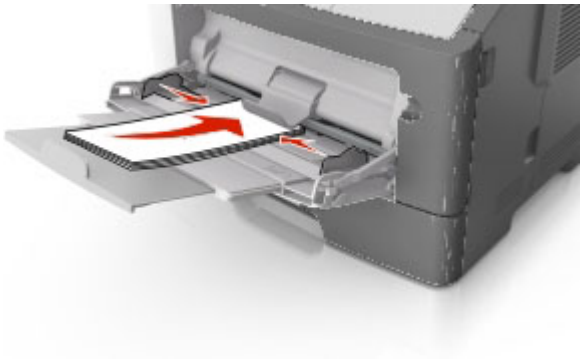
- 用紙、OHP フィルム、または重い厚紙は、印刷面を上向きにして上端から先にセットします。OHP フィルムについて詳しくは、OHP フィルムの包装に記載されている説明をご覧ください。





- レターヘッド紙は、レターヘッドのある面を上向きにして上端から先にセットします。両面印刷する場合は、レターヘッドのある面を下向きにして用紙の下端から先にセットします。

- 封筒は、封印部が左下になるようにセットしてください。



警告—破損の恐れがあります：切手、留め金、スナップのついた封筒や、表面に窓のある封筒、つや出し加工されたもの、口糊の付いた封筒は絶対に使用しないでください。このような封筒を使用すると、本機に深刻な損傷が生じる可能性があります。

5. 操作パネルで［**用紙メニュー**］の用紙サイズと用紙タイプを、多目的フィーダーにセットした用紙と同じに設定します。

各トレイの用紙タイプと用紙サイズの設定/解除

2 つのトレイに同じサイズ、同じ種類の用紙をセットし、トレイの設定を同じに設定すると、この 2 つのトレイは自動的にリンクされます。この設定にしておくと、一方のトレイが空になっても、リンクされているもう一方のトレイを使用して印刷ジョブが続行されます。

1. ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

   メモ：

   - 本機の IP アドレスは、［**ネットワーク/ポート**］メニューの［**TCP/IP**］の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。

   - プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. ［**設定**］>［**用紙メニュー**］の順にクリックします。

3. トレイ構成を設定するトレイの用紙サイズと用紙タイプを設定します。

   - トレイ構成を設定するには、それぞれのトレイの用紙サイズ、用紙タイプの設定を一致させる必要があります。

   - トレイ構成の設定を解除するときは、それぞれのトレイに別の用紙サイズ、用紙タイプを設定します。

4. ［**送信**］をクリックします。

メモ：用紙サイズ、用紙タイプの設定は、操作パネルでも変更できます。
参照⇒「用紙サイズと用紙タイプを設定する」

警告—破損の恐れがあります：トレイにセットされている用紙とプリンターで設定されている用紙のタイプと必ず同じにしてください。フューザーの温度は、印刷する用紙タイプによって異なります。正しく設定されていない場合、印刷に問題が発生することがあります。

ユーザー定義の用紙タイプ名を作成する

内蔵 Web サーバー機能で設定する

1. ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

   メモ：

   - 本機の IP アドレスは、［**ネットワーク/ポート**］メニューの［**TCP/IP**］の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。

   - プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. ［**設定**］>［**用紙メニュー**］>［**カスタム名**］の順にクリックします。

3. 登録/変更するカスタム名を選択し、新しい用紙タイプ名を入力します。

4. ［**送信**］をクリックします。

5. ［**カスタム紙種**］をクリックし、カスタム名が新しい用紙タイプ名に変更されていることを確認します。

操作パネルで設定する

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

   >［**設定**］> OK >［**用紙メニュー**］> OK >［**カスタム名**］

2. 登録/変更するカスタム名を選択し、新しい用紙タイプ名を入力します。

3. OK を押します。

4. ［**カスタム紙タイプ**］を押し、カスタム名が新しい用紙タイプ名に変更されていることを確認します。

作成したカスタム紙タイプを用紙設定に割当てる

内蔵 Web サーバー機能で設定する

1. ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

   メモ:

   - 本機の IP アドレスは、[**ネットワーク/ポート**]メニューの[**TCP/IP**]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
   - プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [**設定**]>[**用紙メニュー**]>[**カスタム紙種**]の順にクリックします。
3. 作成してあるカスタム紙タイプ名を選択し、割当てる用紙タイプを選択します。

   メモ: 出荷時、ユーザー定義できる用紙タイプのカスタム名はすべて[用紙]になっています。

4. [**送信**]をクリックします。

操作パネルで設定する

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

   >[**設定**]> OK >[**用紙メニュー**]> OK >[**カスタム紙タイプ**]> OK

2. 作成してあるカスタム紙タイプ名を選択し、割当てる用紙タイプを選択します。

   メモ: 出荷時、ユーザー定義できる用紙タイプのカスタム名はすべて[用紙]になっています。

3. OK を押します。

印刷する

文書を印刷する

文書を印刷する

1. 操作パネルで[**用紙メニュー**]の用紙サイズと用紙タイプを、セットした用紙と同じに設定します。
2. 印刷ジョブを送信します。

   Windows の場合

   a. アプリケーションで文書を開き、[**ファイル**]>[**印刷**]の順にクリックします。

   b. [**プロパティ**]、[**詳細設定**]、または[**プリンター設定**]をクリックします。

c. 必要に応じてプリンタードライバーの設定を変更します。

d. ［**OK**］>［**印刷**］の順にクリックします。

メモ:

- プリンタードライバーの設定について詳しくは、プリンタードライバーのヘルプをご覧ください。
- PS ドライバーのフォント代替機能を使って日本語フォントカード内のフォントを指定して印刷することはできません。

Macintosh の場合

a. 必要に応じて［**ページ設定**］画面で用紙サイズを設定します。

1. アプリケーションで文書を開き、［**ファイル**］>［**ページ設定**］の順に選択します。
Mac OS X 10.5/10.6/10.7 をお使いの場合は、［**ファイル**］>［**プリント**］を選択して表示する［**プリント**］画面でも同じ設定ができます。
2. 用紙サイズを選択します。セットした用紙が不定形の場合は、用紙に合わせてユーザー定義サイズを作成します。
3. ［**OK**］をクリックします。

b. 必要に応じて［**プリント**］画面で用紙サイズを設定します。

1. ［**ファイル**］>［**プリント**］の順に選択します。

設定項目が表示されていない場合は、▲▼ボタンをクリックして隠れている項目を表示します。

2. 必要に応じて［**プリント**］画面の項目やポップアップメニューでプリンタードライバーの設定を変更します。

メモ: 特殊な用紙に印刷する場合は、セットした用紙に合わせて用紙種類を変更するか、セットしてあるトレイまたは多目的フィーダーを選択してください。

3. ［**プリント**］をクリックします。

トナー濃度の調整

内蔵 Web サーバー機能で設定する

1. ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

メモ:

- 本機の IP アドレスは、［**ネットワーク/ポート**］メニューの［**TCP/IP**］の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. ［**設定**］>［**印刷設定**］>［**印刷品質メニュー**］>［**トナーの濃さ**］の順にクリックします。

3. トナーの濃さを設定し、[**送信**]をクリックします。

操作パネルで設定する

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

   >[**設定**]> OK >[**設定**]> OK >[**印刷設定**]> OK >[**印刷品質メニュー**]> OK >[**トナーの濃さ**]> OK

2. トナーの濃さを設定し、 OK を押します。

USB フラッシュメモリーから印刷する

USB フラッシュメモリーから印刷する

メモ:

- 印刷するファイルが暗号化された PDF ファイルの場合は、パスワードを入力するよう、操作パネルのディスプレイに表示されます。
- 印刷権限がない場合は、暗号化されたファイルを印刷することはできません。

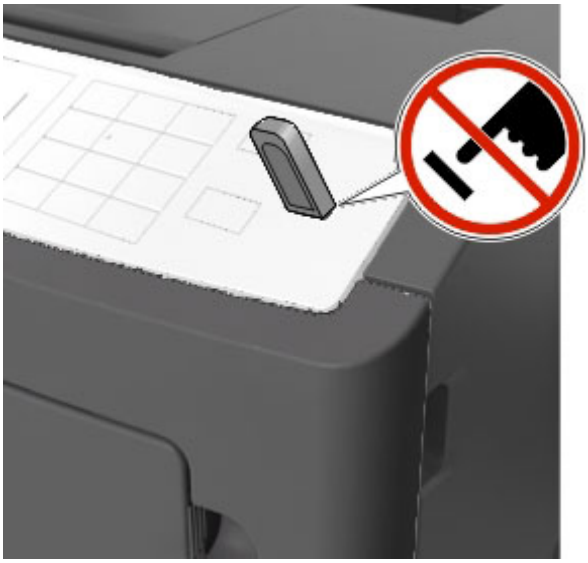
1. USB フラッシュメモリーを前面の USB ポートに挿入します。

   メモ:

   - USB フラッシュメモリーをセットすると、操作パネルと保持されたジョブアイコンに USB フラッシュメモリーのアイコンが表示されます。
   - 紙づまりなどが発生し、対処する必要がある場合は、USB フラッシュメモリーを挿入しても認識しません。

- 印刷ジョブの処理中に USB フラッシュメモリーを挿入すると、[**取り込み中**]と表示されます。この場合、USB フラッシュメモリーのファイルは保持されたジョブになることがあります。この場合は、保持されたジョブリストから USB フラッシュメモリーのファイルを印刷してください。

警告—破損の恐れがあります:USB フラッシュメモリーからの印刷中やデータの読書きを行っているときは本機の以下の部分には触らないでください。データが欠損する恐れがあります。



2. 操作パネルで印刷したい文書ファイルを選択します。

3. ◀▶ボタンを押して印刷する部数を設定し、OK を押します。

メモ:

- 印刷が終了するまで USB フラッシュメモリーを USB ポートから抜かないでください。

- 最初に表示された USB メニュー画面が終了した後に USB フラッシュメモリーから印刷する場合は、操作パネルで保持されたジョブからファイルを指定して印刷します。

対応している USB フラッシュメモリーおよびファイルの種類

USB フラッシュメモリー	ファイルの種類
USB フラッシュメモリーのほとんどはプリンターをはじめとする各種デバイスと接続テストをされており、使用可能です。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。 **メモ**: • ハイスピード USB フラッシュメモリーは、フルスピード規格に対応している必要があります。低速 USB デバイスはサポートされていません。 • USB フラッシュドライブは、FAT（File Allocation Table）システムに対応している必要があります。NTFS（New Technology File System）または他のファイルシステムでフォーマットされたデバイスは使用できません。	文書: • .pdf（バージョン 1.7 以前） • .xps • .html 画像: • .dcx • .gif • .JPEG または.jpg • .bmp • .pcx • .TIFF または.tif • .png

コンフィデンシャルジョブと保持されたジョブの印刷

保存されるジョブの設定について

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

   >[**設定**]> OK >[**セキュリティ**]> OK >[**コンフィデンシャル印刷**]

2. 印刷ジョブの種類を選択します。

項目	用途
無効暗証番号許容回数	コンフィデンシャルジョブを印刷するときに、暗証番号を入力間違いを何回まで許可するかを設定します。 **メモ**:設定した制限回数まで間違えると、そのユーザー名と PIN コードで保存したすべての印刷ジョブが削除されます。

項目	用途
コンフィデンシャルジョブ期限切れ	操作パネルから PIN コード（暗証番号）を入力するまで、コンピューターに印刷ジョブを保持するコンフィデンシャルジョブの有効期限を設定します。 **メモ**：PIN コードは 4 桁の数字（0～9）で、コンピューターで設定します。
繰り返しジョブの期限切れ	プリンターメモリーにジョブを保存し、必要に応じて何度も印刷する繰り返しジョブの有効期限を設定します。
予約ジョブの期限切れ	プリンターに保存しておき、後で印刷する予約ジョブの有効期限を設定します。 **メモ**：保持されたジョブメニューで削除されるまで印刷ジョブは保存されます。
確認ジョブの期限切れ	複数部数を指定した印刷で、1 部のみ先に印刷して残りの部数を印刷せずに保持する確認ジョブの有効期限を設定します。確認ジョブは、印刷された 1 部目の内容を確認後、残りの部数を印刷できます。 **メモ**：保持されたジョブは、設定した全部数を印刷すると削除されます。

メモ：

- 保存されているコンフィデンシャルジョブ、確認ジョブ、予約ジョブおよび繰り返しジョブは、後から指定されたジョブを処理するためにメモリーが足りない場合は削除されることがあります。
- 操作パネルから印刷指示をするまでプリンターメモリーに印刷ジョブを保持するように設定することができます。
- 操作パネルから印刷指示をするこのようなジョブをまとめて「保持されたジョブ」と呼びます。

3. OK を押します。

コンフィデンシャルジョブなどの保持されたジョブの印刷

メモ：コンフィデンシャルジョブや確認ジョブは、印刷後にメモリーから自動的に削除されます。繰り返しジョブおよび予約ジョブは、削除を選択するまでメモリーに保持されます。

Windows の場合

1. アプリケーションで文書を開き、［**ファイル**］>［**印刷**］の順にクリックします。
2. ［**プロパティ**］、［**詳細設定**］、または［**プリンター設定**］をクリックします。
3. ［**基本設定**］タブを表示させます。

4. [**ジョブの印刷/保存**]の項目で印刷ジョブの種類([**機密印刷**]、[**仕上がり確認**]、[**印刷の予約**]および[**印刷繰り返し**])を選択します。[**機密印刷**]の場合は、PIN コード(暗証番号)を入力します。

   メモ:

   - プリンタードライバーでは、コンフィデンシャルジョブを[**機密印刷**]、確認ジョブを[**仕上がり確認**]、予約ジョブを[**印刷の予約**]、繰り返しジョブを[**印刷繰り返し**]として選択します。
   - PIN コード(暗証番号)に指定できる文字は、「0000」から「9999」の数字のみです。

5. [**OK**]>[**印刷**]の順にクリックします。

6. 操作パネルから印刷ジョブを呼出します。

   - コンフィデンシャルジョブの場合は、次の順に操作します。

     [**保持されたジョブ**]>ユーザー名の選択>[**部外秘**]> 暗証番号を入力>ジョブを選択>部数を指定>[**印刷**]

   - 他のジョブの場合は、次の順に操作します。

     [**保持されたジョブ**]>ユーザー名の選択>ジョブを選択>部数を指定>[**印刷**]

Macintosh の場合

1. アプリケーションで文書を開き、[**ファイル**]>[**プリント**]の順に選択します。

   設定項目が表示されていない場合は、▲▼ボタンをクリックして隠れている項目を表示します。

2. 印刷オプションまたはポップアップメニューから[**ジョブの印刷/保存**]メニューを選択します。

3. [**ジョブの印刷/保存**]の項目で印刷ジョブの種類([**機密印刷**]、[**仕上がり確認**]、[**印刷の予約**]および[**印刷繰り返し**])を選択します。[**機密印刷**]の場合は、PIN コード(暗証番号)を入力します。

   メモ:

   - プリンタードライバーでは、コンフィデンシャルジョブを[**機密印刷**]、確認ジョブを[**仕上がり確認**]、予約ジョブを[**印刷の予約**]、繰り返しジョブを[**印刷繰り返し**]として選択します。
   - PIN コード(暗証番号)に指定できる文字は、「0000」から「9999」の数字のみです。

4. [**プリント**]をクリックします。

5. 操作パネルから印刷ジョブを呼出します。

   - コンフィデンシャルジョブの場合は、次の順に操作します。

     [**保持されたジョブ**]>ユーザー名の選択>[**部外秘**]> PIN コード(暗証番号)の入力>ジョブを選択>部数を指定>[**印刷**]

   - 他のジョブの場合は、次の順に操作します。

     [**保持されたジョブ**]>ユーザー名の選択>ジョブを選択>部数を指定>[**印刷**]

情報ページの印刷

フォントのサンプルリストを印刷する

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

   >[**設定**]> OK >[**レポート**]> OK >[**フォント一覧印刷**]> OK

2. ▲▼ボタンを押してフォント設定を選択します。

3. OK を押します。

メモ:フォントは、PPDS モードを有効にしている場合のみ表示されます。

ディレクトリリストを印刷する

操作パネルで、次の順に選択します。

>[**設定**]> OK >[**レポート**]> OK >[**ディレクトリ印刷**]> OK

メモ:[**ディレクトリ印刷**]の項目は、フラッシュメモリーが取付けられている場合のみ表示されます。

印刷ジョブをキャンセルする

操作パネルで印刷ジョブをキャンセルする

操作パネルで、次の順に選択します。

> OK

コンピューターで印刷ジョブをキャンセルする

Windows の場合

1. コントロールパネルを開きます。
   - **Windows 8 の場合**:[**検索**]チャームの[**アプリ**]から[**コントロールパネル**]を選択します。
   - **Windows 7 以前の場合**: または[**スタート**]をクリックして[**コントロールパネル**]を選択します。
2. プリンターウィンドウを開きます。
   - [**デバイスとプリンターの表示**]または[**プリンタ**]、[**プリンタと FAX**]をクリックします。
3. プリンターのアイコンを右クリックし、[**印刷ジョブの表示**]または[**開く**]をクリックします。

4. キャンセルする印刷ジョブを選択します。
5. キーボードの［**Delete**］を押します。

Macintosh の場合

1. アップルメニューから、以下のいずれかの順に選択します。
   - ［**システム環境設定**］>［**プリントとスキャン**］>プリンターを選択>［**プリントキューを開く**］
   - ［**システム環境設定**］>［**プリントとファクス**］>プリンターを選択>［**プリントキューを開く**］
2. キャンセルする印刷ジョブを選択し、［**削除**］をクリックします。

本機の管理について

ネットワーク設定と管理者情報を確認する

この章では、内蔵 Web サーバー機能を使用して基本的な管理を行う機能について説明しています。より高度なシステムの設定については、『Printer Driver and Documentations CD』に収録されている『ネットワークガイド』をご覧ください。

仮想ディスプレイを確認する

1. ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

   メモ:

   - 本機の IP アドレスは、[**ネットワーク/ポート**]メニューの[**TCP/IP**]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。

   - プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. 画面左上に表示される仮想ディスプレイを確認します。

   仮想ディスプレイは、実際の操作パネルのディスプレイと同じように動作します。

内蔵 Web サーバー機能で消耗品通知を設定する

消耗品の残量が残りわずかになったり、なくなったり、寿命に達した場合に通知する方法を設定できます。

メモ:

- 消耗品通知は、トナーカートリッジ、イメージングユニットおよび保守キットに対して設定できます。
- 「残り僅か」、「残り僅か」、「残りごく僅か」の条件については、それぞれの消耗品について設定できますが、消耗品寿命に関する通知すべてを設定できるわけではありません。E メールでの通知方法の場合は、設定可能な通知をすべて設定できます。
- 一部の消耗品は、消耗品の推定残量(%)で通知を出す方法で設定できます。

1. ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

   メモ:

   - 本機の IP アドレスは、[**ネットワーク/ポート**]メニューの[**TCP/IP**]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。

   - プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. ［**設定**］>［**印刷設定**］>［**消耗品通知**］の順にクリックします。

3. 各消耗品のドロップダウンリストで、以下の通知設定の中から選択します。

通知方法	内容
オフ	消耗品について、何も通知せず動作を続けます。
SNMP のみ	消耗品の状態について SNMP で監視します。消耗品の状況は、メニューページおよび状況ページで確認できます。
E メール	設定した条件（「残り僅か」、「残り僅か」、「残りごく僅か」）に達したとき、消耗品の状態を E メールで通知します。消耗品の状況は、メニューページおよび状況ページで確認できます。
警告	設定した条件に達したとき、操作パネルのディスプレイに警告メッセージを表示し、消耗品の状態を E メールで通知します。消耗品の条件に達しても動作は停止しません。
続行可能な停止 [1]	設定した条件に達するとジョブの印刷と処理を停止します。操作パネルのボタン操作で印刷を続行できます。
続行不能な停止 [1,2]	設定した条件に達するとジョブの印刷と処理を停止します。消耗品を交換するまで印刷を続行できません。

[1] 消耗品通知が有効になっている場合、消耗品の状態を E メールで通知します。

[2] 一部の消耗品が空になった場合は、損傷を防ぐために動作を停止します。

4. ［**送信**］をクリックします。

コンフィデンシャル印刷の設定を変更する

メモ：この機能は、ネットワークプリンターまたはプリントサーバーに接続されている場合のみ使用できます。

1. ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

   メモ：

   - 本機の IP アドレスは、［**ネットワーク/ポート**］メニューの［**TCP/IP**］の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。

   - プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. ［**設定**］>［**その他の設定**］タブ>［**セキュリティ**］>［**コンフィデンシャル印刷設定**］の順にクリックします。

3. 設定を変更します。

   - コンフィデンシャルジョブを印刷するときに、PIN コード（暗証番号）の入力間違いを何回まで許可するかを設定します。設定した制限回数まで間違えると、そのユーザー名と PIN コードで保存したすべての印刷ジョブが削除されます。

   - コンフィデンシャルジョブの有効期限を設定します。指定の時間内にジョブを印刷しなかった場合は、そのユーザーが保存したすべてのジョブが削除されます。

4. [**送信**]をクリックします。

他のプリンターに設定をコピーする

メモ：この機能は、ネットワークプリンターの場合のみ使用できます。

1. ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

   メモ：

   - 本機の IP アドレスは、［**ネットワーク/ポート**］メニューの［**TCP/IP**］の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。

   - プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. ［**設定をコピー**］をクリックします。

3. 言語を変更する場合は、ドロップダウンリストから言語を選択して［**Click here to submit language**］をクリックします。

4. ［**Printer Settings**］をクリックします。

5. それぞれの入力フィールドにコピー元のプリンターの IP アドレスと書換えされるプリンターの IP アドレスを入力します。

   メモ：対象プリンターを追加または削除する場合は、［**Add Target IP**］または［**Remove Target IP**］をクリックします。

6. ［**Copy Printer Settings**］をクリックします。

操作パネルにパスワードを設定する

[**パネル暗証の保護**]メニューは、操作パネルから設定メニューを操作できる範囲を制限できます。制限を設定するには、PIN コード(パスワード)を作成し、それぞれのメニューに PIN コードを割当てます。この設定により、PIN コードを知っているユーザーのみが操作できるようになります。

1. ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

   メモ:

   - 本機の IP アドレスは、[**ネットワーク/ポート**]メニューの[**TCP/IP**]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。

   - プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [**設定**]>[**その他の設定**]タブ>[**セキュリティ**]>[**パネル暗証の保護**]の順にクリックします。

3. ユーザーPIN または管理者 PIN のそれぞれ項目に PIN コードを入力します。

   メモ: PIN コードは 16 桁以内で設定してください。

4. [**変更**]をクリックします。

5. PIN コードでの制限範囲を設定します。

   - [**管理メニュー**]、[**管理**]、[**機能アクセス**]のどのメニューでもユーザーPIN で制限するか、管理者 PIN で制限するか、ユーザーPIN と管理者 PIN の両方で制限するかを設定できます。

   メモ: 管理者 PIN は、ユーザーPIN で保護しているメニューにもアクセスできます。

6. [**送信**]をクリックします。

操作パネルで保護されたメニューにアクセスしようとすると、PIN コードの入力が必要になるように設定されます。

メモ: 操作パネルで PIN コードの最後の数字を入力した後は 3 秒以内に OK を押してください。

メニュー設定ページを印刷する

オプションを取付けたときなど、正しく装着できているか確認できるページです。メニュー設定ページを印刷すると、現在のメニュー設定を調べたり、プリンターオプションが正しく取付けられているかどうかを確認することができます。

操作パネルで、次の順に選択します。

>[**設定**]> OK >[**レポート**]> OK >[**メニュー設定ページ**]> OK

メモ: メニューの設定を変更したことがない場合は、[**メニュー設定ページ**]には出荷時設定が印刷されます。メニューの設定を変更して保存すると、出荷時設定がユーザー設定に置換わります。ユーザー設定は、次にメニューを変更するまで有効です。

ネットワーク設定ページを印刷する

ネットワークに接続したときに、正しく接続できているかどうかを確認するために印刷するページです。ネットワーク設定ページには、ネットワーク接続に必要な情報が印刷されるので、設定するときに便利です。

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

   >[**設定**]> OK >[**レポート**]> OK >[**ネットワーク設定ページ**]> OK

2. [**ネットワーク設定ページ**]の最初の項目で、状態が[**接続済み**]になっていることを確認します。

   状態が[**未接続**]になっている場合は、接続が一時的に切断されているか、ネットワークケーブルに問題がある可能性があります。システム管理者に問合わせてください。問題解決後、再度[**ネットワーク設定ページ**]を印刷してください。

消耗品および各部の状態を確認する

消耗品の交換やメンテナンスが必要な場合は、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。

消耗品および各部の状態を操作パネルで確認する

操作パネルで、次の順に選択します。

>[**ステータス/消耗品**]> OK >[**消耗品状況**]> OK

消耗品および各部の状態を内蔵 Web サーバー機能で確認する

メモ: 確認するコンピューターと本機が同じネットワーク上に接続されていることを確認してください。

1. ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

   メモ:

   - 本機の IP アドレスは、[**ネットワーク/ポート**]メニューの[**TCP/IP**]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
   - プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [**デバイス状況**]をクリックします。

節電する

エコモードを使用する

エコモードは環境への影響を低減する対策の 1 つです。

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

>[**設定**]> OK >[**設定**]> OK >[**一般設定**]> OK >[**エコモード**]> OK >設定を選択

項目	用途
オフ	エコモードを無効にし、すべての設定を出荷時設定で使用します。本機の性能を最も発揮できます。
電力	アイドル中などの状態で電力消費を抑えます。 • ジョブを受信後、印刷準備が完了するまで内部のモーターが動作しません。1 ページ目が印刷されるまでの間にわずかな遅延を感じることがあります。 • 使用しない時間が 1 分続いたときにスリープモードになります。
電力/用紙	エコモードの[**電力**]と[**用紙**]の両方の設定を有効な状態にします。
用紙	• 自動両面印刷機能を有効にします。 • ログ印刷機能をオフにします。

2. OK を押します。

動作音を抑える

動作音を抑えるには、静音モードを使用します。

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

>[**設定**]> OK >[**設定**]> OK >[**一般設定**]> OK >[**静音モード**]> OK

2. 設定を選択します。

項目	用途
オン	動作音を抑えます。 **メモ**: • 通常より印刷速度が遅くなります。 • ジョブを受信後、印刷準備が完了するまで内部のモーターが動作しません。1 ページ目が印刷されるまでの間にわずかな遅延を感じることがあります。
オフ	静音モードを無効にします(出荷時設定)。 **メモ**:本機の性能を最も発揮できます。

3. OK を押します。

スリープモードを設定する

節電のため、スリープモードに切換える時間を短く設定できます。時間は 1～120 分の範囲で設定できます。出荷時設定は[**30**]分です。

メモ:スリープモード時でも印刷ジョブは受信できます。

内蔵 Web サーバー機能で設定する

1. ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

   メモ:

   - 本機の IP アドレスは、[**ネットワーク/ポート**]メニューの[**TCP/IP**]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
   - プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. 次の順で設定します。

   [**設定**]>[**一般設定**]>[**時間切れ**]

3. [**スリープモード**]の項目にスリープモードに切換わるまでの待機時間(分)を入力します。

4. [**送信**]をクリックします。

操作パネルで設定する

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

   >[**設定**]> OK >[**設定**]> OK >[**一般設定**]> OK >[**タイムアウト**]> OK >[**スリープモード**]> OK

2. スリープモードに切換えるまでの待機時間(分)を選択します。

3. OK を押します。

ハイバネートモードを使用する

ハイバネートは、消費電力が極めて少ないモードです。ハイバネートモードで動作中は他の機器やシステムの電源を切っても安全です。

メモ:

- 印刷ジョブを送信する前に本機をハイバネートモードから復帰させてください。ハードウェアリセットまたはスリープボタンの長押しでハイバネートモードから復帰します。

- 操作しない時間経過によってハイバネートモードに自動的に切換えるように設定できます。
  参照⇒「電力モードの定期実行を設定する」

- ハイバネートモード中は内蔵 Web サーバー機能が無効になり、アクセスできません。

内蔵 Web サーバー機能で設定する

1. ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

   メモ:

   - 本機の IP アドレスは、[**ネットワーク/ポート**]メニューの[**TCP/IP**]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。

   - プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [**設定**]>[**一般設定**]>[**スリープボタン設定**]の順にクリックします。

3. スリープボタンの動作項目([**[スリープ]ボタンの動作**]/[**[スリープ]ボタンを押し続ける**])のいずれかを[**ハイバネート**]に設定します。

4. [**送信**]をクリックします。

操作パネルで設定する

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

   >[**設定**]> OK >[**設定**]> OK >[**一般設定**]> OK

2. ▲▼ボタンでスリープボタンの動作項目([**[スリープ]ボタンの動作**]/[**[スリープ]ボタンを押し続ける**])のいずれかを表示させ、 OK を押します。

3. ▲▼ボタンで[**ハイバネート**]を選択し、 OK を押します。

メモ:

- [**[スリープ]ボタンの動作**]を[**ハイバネート**]に設定した場合は、スリープボタンを短く押すとハイバネートモードに切換ります。

- [**[スリープ]ボタンを押し続ける**]を[**ハイバネート**]に設定した場合は、スリープボタンを長押しするとハイバネートモードに切換ります。

ハイバネートタイムアウトを設定する

ハイバネートタイムアウトでは、印刷ジョブを完了した後、省電力状態に切換わるまでの時間を設定します。

内蔵 Web サーバー機能で設定する

1. ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

   メモ:

   - 本機の IP アドレスは、[**ネットワーク/ポート**]メニューの[**TCP/IP**]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。
   - プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [**設定**]>[**一般設定**]>[**時間切れ**]の順にクリックします。
3. [**ハイバネートタイムアウト**]メニューで、省電力状態(ハイバネートモード)に切換わるまでの間隔を、時間、日、週、または月の単位で設定します。
4. [**送信**]をクリックします。

操作パネルで設定する

1. 操作パネルで、次の順に選択します。

   >[**設定**]> OK >[**設定**]> OK >[**一般設定**]> OK >[**タイムアウト**]> OK >[**ハイバネートタイムアウト**] > OK

2. 印刷ジョブを完了した後、省電力状態(ハイバネートモード)に切換わるまでの間隔を選択します。
3. OK を押します。

電力モードの定期実行を設定する

電力モードの定期実行では、省電力状態またはレディ状態に切換える条件を設定します。

メモ:この機能は、ネットワークプリンターまたはプリントサーバーに接続されている場合のみ使用できます。

内蔵 Web サーバー機能で設定する

1. ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して内蔵 Web サーバーのページを開きます。

   メモ:

   - 本機の IP アドレスは、[**ネットワーク/ポート**]メニューの[**TCP/IP**]の項目で確認できます。IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。

- プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。設定ページが正常に表示されるよう、プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。

2. [**設定**]>[**一般設定**]>[**電力モードの定期実行**]の順にクリックします。
3. [**アクション**]の項目では、設定したい電力モードを選択します。
4. [**時**]の項目では、設定したい時間を選択します。
5. [**日**]の項目では、設定したい日または曜日を選択します。
6. [**追加**]をクリックします。

出荷時設定に戻す

現在の設定を記録しておきたい場合は、設定を戻す前に**メニュー設定ページ**を印刷します。
参照⇒「メニュー設定ページを印刷する」

すべての設定を出荷時設定に戻す必要がある場合は、[**すべての設定を消去**]を実行します。
参照⇒「不揮発性メモリーの情報を消去する」

警告—破損の恐れがあります:出荷時標準設定を復元すると、ほとんどの設定が出荷時設定に戻りますが、表示言語、カスタム用紙の設定情報、カスタムメッセージ、[**ネットワーク/ポート**]メニュー設定は変更されません。また揮発性メモリー(RAM)に保存されているダウンロードデータはすべて削除されますが、フラッシュメモリーまたはハードディスクに保存されているダウンロードデータには影響しません。

操作パネルで、次の順に選択します。

>[**設定**]> OK >[**設定**]> OK >[**一般設定**]> OK >[**出荷時標準設定**]> OK >[**復元**]> OK

セキュリティに関する機能

セキュリティロックを利用する

本機にはセキュリティスロットがあります。セキュリティスロットは、ノート型パソコンなどについている形状と同じで、図の位置についています。市販のセキュリティロックを取付けて盗難を防止できます。

データの揮発性に関する注意

本機には、各種機能やネットワークの設定、ユーザーデータを保存できるさまざまな種類のメモリーが搭載されています。

メモリーの種類	説明
揮発性メモリー	一般的なランダムアクセスメモリー（RAM）を搭載しています。通常の印刷ジョブでユーザーデータなどの一時的な保存に利用されます。
不揮発性メモリー	EEPROM および NAND（フラッシュメモリー）の 2 種類の不揮発性メモリーを使用しています。どちらのメモリーも、基本プログラム、出荷時設定から変更した機能の設定、ネットワーク情報などを保存するために利用されます。

メモリーの内容は次の場合に消去してください。

- 本機を使用しなくなった場合。
- 使用部署または使用場所を変更する場合。
- 外部の人が本機の点検、保守などを行うようになる場合。
- 保守のため外部へ持ち出す場合。

- 外部へ売却する場合。

揮発性メモリーの情報を消去する

揮発性メモリー（RAM）の情報を保存しておくには電源が必要です。データを消去するには、本機の電源を切ります。

不揮発性メモリーの情報を消去する

以下の手順で、出荷時設定から変更した機能の設定、ネットワークの設定、セキュリティの設定、内蔵ソリューションを消去します。

1. 本機の電源を切ります。
2. テンキーの［**2**］と［**6**］を押しながら本機の電源を入れます。進行状況バーが画面に表示されたら、ボタンを放します。

   電源投入の初期動作後、［**構成設定メニュー**］が表示されます。本機の準備が整うと、操作パネルのディスプレイに機能の一覧が表示されます。
3. ▲▼ボタンを押して［**すべての設定を消去**］を表示させます。

   この操作の間、本機は何度か再起動を繰返します。ディスプレイに表示される手順に従います。

   メモ：［**すべての設定を消去**］を使用すると、出荷時設定から変更した機能の設定、ソリューション、ジョブ、パスワードがメモリーから安全に消去されます。

5—用紙について

特殊紙について

重い厚紙

重い厚紙とは、重さのある 1 層の特殊用紙です。含水率、厚さ、紙目などのさまざまな特性が印刷品質に大きく影響します。重い厚紙を使う場合は、大量購入する前に、少量を入手して試し印刷をしてください。

重い厚紙に印刷する場合は、以下のことに注意してください。

- ［**用紙サイズ/タイプ**］を［**重量紙**］に設定します。
- ［**用紙表面粗さ**］で適切な設定を選択します。
- プレプリント（印刷済み）、ミシン目、折り目は、印刷品質に大きな影響があります。また、紙づまりなどの問題を引起こす可能性があるので、注意します。
- 用紙の製造元に問合わせて、対象の用紙が 240℃までの温度に耐えられること、高温下で危険なガスを発生させないことを確認してください。
- 本機内部に汚れが付くような高温で溶ける薬品などを使用して製造されたプレプリント（印刷済み）用紙は使用しないでください。プレプリントの部分から、半液体または揮発性の成分が発生し本機内部に付着する恐れがあります。
- できるだけ横目の重い厚紙を使用してください。

封筒

封筒を使う場合は、大量購入する前に、少量を入手して試し印刷をしてください。

- レーザープリンター専用の封筒を使用してください。用紙の製造元に問合わせて、対象の封筒が 230℃までの温度に耐えられること、高温下で危険なガスを発生させないこと、高温下でくっついたり、しわ、強いカールが発生しないということを確認してください。
- 90 g/m^2 または 25%コットン紙でできた封筒が最もきれいに印刷できます。重さが 70 g/m^2 を超える 100%コットン紙の封筒は使用しないでください。
- パッケージに傷がついていない新しい封筒のみを使用してください。
- 最良の印刷結果を得るため、また紙づまりを避けるために、以下のような封筒は使用しないでください。
  - カールやねじれが大きい封筒
  - 封筒同士が張付いているものや、傷がついている封筒
  - 窓、穴、ミシン目、切り抜き、またはエンボス加工された封筒
  - 金属製の留め具、留めひも、または折り目のある封筒

- 差込み封デザインになっている封筒
- 切手が貼られている封筒
- 封をしたとき、または閉じたときに折り返し部分の接着剤がはみ出る封筒
- 角が折れ曲がった封筒
- きめの粗い、しわのある、または粗い和紙などの封筒

- 左端のガイドを封筒の幅に合わせてセットしてください。

  メモ:高い湿度(60%以上)と高い印刷温度が組合わさると、封筒にしわがよったり封がくっついたりすることがあります。

ラベル用紙

ラベルを使う場合は、大量購入する前に、少量を入手して試し印刷をしてください。

メモ:台紙が紙のラベルのみを使用してください。ビニール製、化学合成紙、および両面ラベルは使用できません。

ラベルに印刷する場合は、以下のことに注意してください。

- レーザープリンター専用のラベルを使用してください。用紙の製造元に問合わせて、以下の点を確認してください。
  - 対象のラベルが 240℃までの温度に耐えられること、高温下で危険なガスを発生させないこと、高温下でくっついたり、しわ、強いカールが発生しないということを確認してください。
  - ラベルの接着剤、前面シート(印刷する部分)、表面コーティングが、172kPa(25psi)の圧力下でも、はがれたり、端が溶けたり、または危険なガスを発生させないことを確認してください。
- 裏面がつやのあるすべりやすい素材でできているラベルは使用しないでください。
- 使いかけのラベル用紙は使用しないでください。一部使用されたラベル用紙(ラベルのない部分があるもの)を使用すると、印刷中にラベルがはがれ、紙づまりの原因となります。また、その場合に接着剤で本機内部やカートリッジが汚れ、本機やトナーカートリッジが保証対象外となることもあります。
- 接着剤がはみ出ているラベルは使用しないでください。
- ラベルの端やミシン目の端から 1 mm の範囲、およびラベルとラベルの間(台紙部分)には印刷しないでください。
- 粘着性の背面が用紙の端からはみ出ないようにしてください。接着剤のコーティング部分が、端から 1 mm 以上離れているラベルを使用してください。接着剤で本機内部やカートリッジが汚れ、本機やトナーカートリッジが保証対象外となることもあります。
- 接着剤のコーティング部分が端まである場合は、先頭と送り方向の端から 2 mm の細片を取除いてください。このとき、接着剤がにじみ出てこないことを確認してください。
- 特にバーコードを印刷する場合は、ポートレートの方向で印刷することをお勧めします。

レターヘッド紙

- レーザープリンター専用のレターヘッド紙を使用してください。
- レターヘッド紙を使う場合は、大量購入する前に、少量を入手して試し印刷をしてください。
- レターヘッド紙をセットする前に、用紙の束をほぐし、扇形に広げてよくさばいてから揃えてセットします。
- レターヘッド紙に印刷する場合は、用紙の向きが重要です。レターヘッド紙のセット方法については、以下をご覧ください。
  - トレイに用紙をセットする
  - 多目的フィーダーに用紙をセットする

OHP フィルム

- OHP フィルムを使う場合は、大量購入する前に、少量を入手して試し印刷をしてください。
- OHP フィルムは、標準トレイまたは多目的フィーダーから給紙します。
- レーザープリンター専用の OHP フィルムを使用してください。対象のラベルが 185℃までの温度に耐えられること、高温下で危険なガスを発生させないこと、高温下で溶けたり、印刷した色が変わったり、印刷部分がずれたりしないということを確認してください。

  メモ:［**用紙メニュー**］で［**OHPフィルム重さ**］を［**重い**］に設定し、［**OHPフィルム粗さ**］を［**粗い**］に設定すると、OHPフィルムの印刷温度が 195℃まで上がります。
- 印刷不良にならないよう、OHP フィルムに指紋が付着しないようにしてください。
- OHP フィルムをセットする前に、束をほぐし、扇形に広げてよくさばいてから揃えてセットします。

適切な用紙を選択するために

適切な用紙または専用紙を選択することで印刷不良を減らすことができます。最適な印刷品質を得るため、用紙や専用紙を大量購入する前に、少量を入手して試し印刷をしてください。

用紙特性

以下の用紙特性は、印刷の品質と信頼性に影響します。新しい用紙を試す場合は、これらの特性を考慮してください。

重さ

本機のトレイは、重さが 120 g/m^2 までの縦目の用紙を自動給紙できます。オプションのトレイも同様に、重さが 120 g/m^2 までの縦目の用紙を自動給紙できます。多目的フィーダーは、重さが 163 g/m^2 までの縦目の用紙を自動給紙できます。60 g/m^2 より軽い用紙は、柔らかいため正常に給紙できず、紙づまりの原因となります。最適

な印刷を実現するには、75 g/m^2 の縦目の用紙を使用してください。182 × 257 mm より小さい用紙の場合は、90 g/m^2 以上の重さの用紙をお勧めします。

メモ：両面印刷は、60～90 g/m^2 の用紙のみがサポート対象です。

カール

カールとは、用紙の先端が丸まる現象のことです。カールが大きすぎると、用紙を給紙するときに問題が発生することがあります。カールは、高温になっているプリンター内部を用紙が通過した後に発生することがあります。包装されていない用紙を高温、多湿、低温、または乾燥した状態で保管すると、印刷前のトレイ内であっても用紙がカールすることがあり、給紙時の問題となる場合があります。

平滑度

用紙の平滑度は、印刷品質に直接影響します。用紙のきめが粗すぎる場合、トナーが適切に定着しません。用紙がなめらかすぎると、用紙の給紙や印刷品質で問題が起きる場合があります。必ずシェフィールド単位で 100～300 の用紙を使用してください。ただし、最高の印刷品質は 150～250 の平滑度で実現されます。

含水率

用紙に含まれる水分の量は、印刷品質と給紙性能の両方に影響します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れたままにしておいてください。これにより、用紙が湿度の変化にさらされて質が低下することを最小限に抑えることができます。

印刷する 24～48 時間前から、用紙を元の包装に入れたまま本機と同じ環境に保管してください。保管または輸送環境が本機の環境と大きく異なる場合は、上記時間経過後に印刷してください。厚い用紙の場合は、より長時間、環境に慣らす必要があります。

紙目

紙目とは、用紙に含まれる繊維の方向のことです。紙目には、用紙の縦方向に延びる縦目と用紙の横方向に延びる横目があります。

60～90 g/m^2 の用紙の場合は、縦目の用紙をお勧めします。

繊維含有率

最高品質のコピー用紙は、100%の化学処理済みパルプ木材から作られています。この含有率により、用紙の品質が安定するため、給紙不具合が減少し、印刷品質が向上します。コットンなどの繊維を含む用紙は、用紙の処理に悪影響を与える恐れがあります。

使用できない用紙

次の種類の用紙は、使用しないでください。

- ノーカーボン紙、感圧複写紙（CCP）、またはカーボン不要（NCR）紙などの複写タイプの用紙

- 内部を汚す恐れのある化学薬品を使用したプレプリント紙
- フューザの温度の影響を受ける可能性のあるプレプリント紙
- OCR フォームなど、±2.5 mm よりも高い精度で位置合わせする必要があるプレプリント紙

  アプリケーションで位置合わせを調整すると、フォームに正常に印刷できることがあります。
- コーティングされた用紙（イレーザブルボンド紙など）、合成紙、感熱紙
- 縁がぎざぎざな用紙、表面のきめが粗い用紙、ざらつきのある用紙、またはカールした用紙
- EN12281:2002（欧州規格）に準拠していない再生紙
- 重さが 60 g/m^2 未満の用紙
- マルチパート用紙またはドキュメント

用紙を選択する

適切な用紙を使用すると、紙づまりなどの問題が起こさずに印刷を行うことができます。

紙づまりや印刷品質の低下を防ぐには

- 必ず新しく傷のない用紙を使用する。
- 用紙をセットする前に、用紙の推奨印刷可能面を確認してください。通常、用紙のパッケージなどに記載されています。
- 手で切った用紙は使用しないでください。
- 大きさ、種類、重さが異なる用紙を同じトレイに同時にセットしないでください。異なる用紙を混在させると紙づまりが発生します。
- コピー用に設計されていない限り、コーティングされた用紙を使用しないでください。

プレプリント紙とレターヘッド紙を選択する

プレプリント紙とレターヘッド紙を選択する場合は、以下のことに注意してください。

- 60～90 g/m^2 の重さの縦目用紙を使用してください。
- オフセットリトグラフ印刷または写真版印刷処理を使用して印刷されたプレプリント紙およびレターヘッド紙のみ使用してください。
- 表面のきめが粗い用紙やざらつきが大きい用紙は避けてください。

コピー機用に設計された耐熱インクを使用して印刷された用紙を使用してください。このインクであれば、溶解したり有毒ガスを放出したりせずに 230℃までの温度に耐えられます。また、トナーの樹脂に影響されないインクを使用した用紙を選んでください。酸化状態または石油を主成分としたインクは一般にこの条件を満たしています。ラテックス製インクはこれらの条件要件を満たしていない場合があります。判別できない場合は、用紙の製造元に問合わせてください。

レターヘッド紙などのプレプリントされた用紙を使い場合は、230°C までの温度に耐えられること、高温下で危険なガスを発生させないこと、高温下で溶けたりしないということを確認してください。

用紙の保管

紙づまりを防いで印刷品質を安定させるため、用紙の保管に関する以下のことに注意してください。

- 最良の印刷結果を得るため、温度 21℃、相対湿度 40%の場所に用紙を保管してください。ラベルの場合は、多くが温度 18～24℃、相対湿度 40～60%で印刷することを推奨しています。
- 用紙をダンボール箱に入れ、台の上か棚など、床より高い場所で保管してください。
- 梱包された用紙は平らに置いて保管してください。
- 梱包された用紙の上には何も置かないでください。
- 印刷する準備ができたときに、用紙をダンボール箱または包装から取出します。ダンボール箱と包装に入れておくことで、用紙を清潔で乾燥した曲らない状態で保管できます。

サポートされる用紙の大きさ、種類、重さ

サポートされる用紙サイズ

メモ: 表に記載されていないサイズの用紙については、1 つ大きいサイズの用紙を選択してください。

用紙サイズ	標準トレイ	オプション 250 枚トレイ/550 枚トレイ	多目的フィーダー	両面印刷
A4 210 × 297 mm	✓	✓	✓	✓
A5 148 × 210 mm	✓	✓[3]	✓	**X**
A6 105 × 148 mm	✓	✓	✓	**X**
JIS B5 182 × 257 mm	✓	✓	✓	**X**
レター 216 × 279 mm	✓	✓	✓	✓

用紙サイズ	標準トレイ	オプション 250 枚トレイ/550 枚トレイ	多目的フィーダー	両面印刷
リーガル 216 × 356 mm	✓	✓	✓	✓
エグゼクティブ 184 × 267 mm	✓	✓	✓	X
Oficio（メキシコ）[1] 216 × 340 mm	✓	✓	✓	✓
フォリオ 216 × 330 mm	✓	✓	✓	✓
ステートメント 140 × 216 mm	✓	✓	✓	X
ユニバーサル[2] 76.2 × 127 mm～ 216 × 356 mm	✓	✓	✓	✓
7 3/4封筒（Monarch） 98 × 191 mm	X	X	✓	X
9封筒 98 × 225 mm	X	X	✓	X
10封筒 105 × 241 mm	X	X	✓	X
DL封筒 110 × 220 mm	X	X	✓	X
C5封筒 162 × 229 mm	X	X	✓	X

用紙サイズ	標準トレイ	オプション 250 枚トレイ/550 枚トレイ	多目的フィーダー	両面印刷
B5封筒 176 × 250 mm	X	X	✓	X
その他の封筒 229 × 356 mm	X	X	✓	X

[1] 用紙のサイズがソフトウェアアプリケーションで指定されていない限り、用紙を 216 × 356 mm に書式設定します。

[2] ユニバーサルサイズは、用紙サイズの最小値が 105 × 148 mm の場合に、標準トレイでのみサポートされます。ユニバーサルサイズは、用紙サイズの最小値が 148 × 210 mm の場合に、オプションの 550 枚トレイまたは 250 枚トレイでのみサポートされます。ユニバーサルサイズは、用紙の最小幅が 210 mm、最小長が 279 mm の場合に、両面印刷モードでのみサポートされます。ユニバーサルサイズの最小値は多目的フィーダーでのみサポートされます。

[3] 縦方向の給紙はサポートされません。

サポートされる用紙の種類と重さ

標準トレイは、重さが 60～120 g/m^2 の用紙に対応しています。オプショントレイは、重さが 60～120 g/m^2 の用紙に対応しています。多目的フィーダーは、重さが 60～163 g/m^2 の用紙に対応しています。

用紙タイプ	250 枚トレイ/550 枚トレイ	多目的フィーダー	両面印刷
普通紙	✓	✓	✓
重い厚紙	X	✓	X
OHPフィルム	✓	✓	X
再生紙	✓	✓	✓
光沢紙	X	X	X
ラベル紙用紙 [1]	✓	✓	✓
ビニールラベル	X	X	X
ボンド紙 [2]	✓	✓	✓
封筒	X	✓	X

用紙タイプ	250 枚トレイ/550 枚トレイ	多目的フィーダー	両面印刷
粗い封筒	X	✓	X
レターヘッド紙	✓	✓	✓
プレプリント紙用紙	✓	✓	✓
カラー用紙	✓	✓	✓
軽量紙	✓	✓	✓
重量紙 [2]	✓	✓	✓
ざら紙/コットン紙	X	X	X

[1] レーザープリンター専用の片面のラベル用紙は、少量であれば使用できます。印刷する枚数は、月 20 ページ以下を推奨します。ビニール、薬剤、および両面ラベルはサポートされません。

[2] 両面印刷モードでは、最大 90 g/m^2 の重さのボンド紙および重量紙がサポートされています。

6—設定メニューについて

メニュー一覧

用紙メニュー	レポート	ネットワーク/ポート
標準給紙トレイ	メニュー設定ページ	アクティブ NIC
用紙サイズ/タイプ	デバイス統計	標準ネットワーク [2]
多目的フィーダー設定	ネットワーク設定ページ [1]	AppleTalk
代替サイズ	フォント一覧印刷	標準 USB
用紙表面粗さ	ディレクトリ印刷	SMTP 設定
用紙の重さ	資産レポート	
用紙セット方法		
カスタム紙タイプ		
ユニバーサル設定		

セキュリティ	設定
コンフィデンシャル印刷	一般設定
セキュリティ監査ログ	フラッシュドライブメニュー
日付/時刻を設定	印刷設定

[1] 本機の状態によって、このメニュー項目は[**ネットワーク設定ページ**]と表示されます。

[2] 本機の状態によって、このメニュー項目は[**標準ネットワーク**]と表示されます。

[用紙メニュー]

[標準給紙トレイ]メニュー

項目	用途
標準給紙トレイ トレイ x MPフィーダー 手差し用紙 手差し封筒	すべての印刷ジョブで使用する給紙装置の初期設定を指定します。 **メモ:** • 出荷時設定は[**トレイ1**](標準トレイ)です。 • メニューに[**MPフィーダー**](多目的フィーダー)を表示するには、[**用紙メニュー**]で[**多目的フィーダー設定**]を[**トレイ**]に設定します。 • 2 つのトレイに同じサイズ、同じ種類の用紙をセットし、トレイの設定を同じに設定すると、この 2 つのトレイは自動的にリンクされます(トレイリンク)。この設定にしておくと、一方のトレイが空になっても、リンクされているもう一方のトレイを使用して印刷ジョブが続行されます。

[用紙サイズ/タイプ]メニュー

項目	用途
トレイ x 用紙サイズ A4 A5 A6 JIS B5 レター リーガル エグゼクティブ Oficio（メキシコ） フォリオ ステートメント ユニバーサル	各トレイにセットした用紙のサイズを指定します。 **メモ：** • 出荷時設定は[**A4**]です。 • 2 つのトレイに同じサイズ、同じ種類の用紙をセットし、トレイの設定を同じに設定すると、この 2 つのトレイは自動的にリンクされます（トレイリンク）。この設定にしておくと、一方のトレイが空になっても、リンクされているもう一方のトレイを使用して印刷ジョブが続行されます。 • A6サイズの用紙はトレイ1および多目的フィーダーでのみサポートされます。
トレイ x 用紙タイプ 普通紙 OHPフィルム 再生紙 ラベル紙用紙 ボンド紙 レターヘッド紙 プレプリント紙用紙 カラー用紙 軽量紙 重量紙 ざら紙/コットン紙 カスタム用紙タイプ x	各トレイにセットした用紙の種類を指定します。 **メモ：** • トレイ 1 の出荷時設定の用紙タイプは[**普通紙**]です。その他のすべてのトレイの出荷時設定の用紙タイプは[**カスタム用紙タイプ x**]です。 • ユーザーが定義した名前がある場合は、[**カスタム用紙タイプ x**]の代わりにその名前が表示されます。 • このメニューを使用して、トレイの関連付け（トレイリンク）を設定します。

項目	用途
多目的フィーダーサイズ A4 A5 A6 JIS B5 レター リーガル エグゼクティブ Oficio（メキシコ） フォリオ ステートメント ユニバーサル 7 3/4封筒 9封筒 10封筒 DL封筒 C5封筒 B5封筒 その他の封筒	多目的フィーダーにセットした用紙のサイズを指定します。 **メモ：** • 出荷時設定は［**A4**］です。 • メニューに［**多目的フィーダーサイズ**］を表示するには、［**用紙メニュー**］で［**多目的フィーダー設定**］を［**トレイ**］に設定します。 • 多目的フィーダーは、用紙のサイズが自動で検知されません。用紙サイズの値を必ず設定してください。
多目的フィーダータイプ 普通紙 重い厚紙 OHPフィルム 再生紙 ラベル紙用紙 ボンド紙 封筒 粗い封筒 レターヘッド紙 プレプリント紙用紙 カラー用紙 軽量紙 重量紙 ざら紙/コットン紙 カスタム用紙タイプ x	多目的フィーダーにセットした用紙の種類を指定します。 **メモ：** • 出荷時設定の用紙タイプは［**普通紙**］です。 • メニューに［**多目的フィーダータイプ**］を表示するには、［**用紙メニュー**］で［**多目的フィーダー設定**］を［**トレイ**］に設定します。

項目	用途
手差し用紙サイズ A4 A5 A6 JIS B5 レター リーガル エグゼクティブ Oficio（メキシコ） フォリオ ステートメント ユニバーサル	手差しでセットする用紙のサイズを指定します。 **メモ**：出荷時設定は［**A4**］です。
手差し用紙タイプ 普通紙 重い厚紙 OHPフィルム 再生紙 ラベル紙用紙 ボンド紙 レターヘッド紙 プレプリント紙用紙 カラー用紙 軽量紙 重量紙 ざら紙/コットン紙 カスタム用紙タイプ x	手差しでセットする用紙の種類を指定します。 **メモ**： • 出荷時設定の用紙タイプは［**普通紙**］です。 • メニューに［**手差し用紙タイプ**］を表示するには、［**用紙メニュー**］で［**多目的フィーダー設定**］を［**手動**］に設定します。
手差し封筒サイズ 7 3/4封筒 9封筒 10封筒 DL封筒 C5封筒 B5封筒 その他の封筒	手差しでセットする封筒のサイズを指定します。 **メモ**：出荷時設定は［**DL封筒**］です。

項目	用途
手差し封筒タイプ 封筒 粗い封筒 カスタム用紙タイプ x	手差しでセットする封筒の種類を指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**封筒**]です。
メモ:このメニューには、装着しているトレイとフィーダーのみ表示されます。	

[多目的フィーダー設定]メニュー

項目	用途
多目的フィーダー設定 トレイ 手動 第一候補	多目的フィーダーが給紙元として選択される条件を設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**トレイ**]です。[**トレイ**]にすると、多目的フィーダーが自動給紙装置として設定されます。 • [**手動**]にすると、多目的フィーダーが手差し給紙用の装置として設定されます。 • [**第一候補**]にすると、多目的フィーダーが標準の給紙装元として設定されます。

[代替サイズ]メニュー

項目	用途
代替サイズ オフ ステートメント/A5 レター/A4 一覧の全て	印刷ジョブで指定されているサイズの用紙を使用できない場合に代替で使用する用紙のサイズを指定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**一覧の全て**]です。使用可能な代替設定([**ステートメント/A5**]と[**レター/A4**])がすべて有効になります。 • [**オフ**]に設定した場合は、代替サイズでは印刷されません。 • サイズの代替を設定すると、[**用紙を変更**]を表示せずに印刷ジョブが継続します。

[用紙表面粗さ]メニュー

項目	用途
普通紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[**標準紙**]の粗さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。
重い厚紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[**重い厚紙**]の粗さを指定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**標準**]です。 • この項目は、[**重い厚紙**]がサポートされている場合のみ表示されます。
OHPフィルムの粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[**OHPフィルム**]の粗さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。
再生紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[**再生紙**]の粗さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。
ラベル紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[**ラベル紙用紙**]の粗さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。
ボンド紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[**ボンド紙**]の粗さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**粗い**]です。
封筒の粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[**封筒**]の粗さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。

項目	用途
表面の粗い封筒の粗さ 粗い	セットした[**粗い封筒**]の粗さを指定します。
レターヘッド紙粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[**レターヘッド紙**]の粗さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。
プレプリント紙粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[**プレプリント紙用紙**]の粗さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。
カラーペーパーの粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[**カラー用紙**]の粗さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。
軽量紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[**軽量紙**]の粗さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。
重量紙の粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[**重量紙**]の粗さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。
ラフ紙/コットン紙の粗さ 粗い	セットした[**ざら紙/コットン紙**]の粗さを指定します。
カスタム x 粗さ 滑らか 標準 粗い	セットした[**カスタム用紙タイプ x**]の粗さを指定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**標準**]です。 • この項目は、[**カスタム用紙タイプ**]がサポートされている場合のみ表示されます。

[用紙の重さ]メニュー

項目	用途
普通紙の重さ 軽い 標準 重い	セットした[**標準紙**]の重さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。
重い厚紙の重さ 軽い 標準 重い	セットした[**重い厚紙**]の重さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。
OHPフィルム重さ 軽い 標準 重い	セットした[**OHPフィルム**]の重さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。
再生紙の重さ 軽い 標準 重い	セットした[**再生紙**]の重さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。
ラベル紙の重さ 軽い 標準 重い	セットした[**ラベル紙用紙**]の重さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。
ボンド紙の重さ 軽い 標準 重い	セットした[**ボンド紙**]の重さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。
封筒の重さ 軽い 標準 重い	セットした[**封筒**]の重さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。

項目	用途
表面の粗い封筒の重さ 軽い 標準 重い	セットした[**粗い封筒**]の重さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**重い**]です。
レターヘッド紙重さ 軽い 標準 重い	セットした[**レターヘッド紙**]の重さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。
プレプリント紙重さ 軽い 標準 重い	セットした[**プレプリント紙用紙**]の重さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。
カラーペーパーの重さ 軽い 標準 重い	セットした[**カラー用紙**]の重さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**標準**]です。
軽量紙の重さ 軽い	セットした[**軽量紙**]の重さを指定します。
重量紙の重さ 重い	セットした[**重量紙**]の重さを指定します。
ラフ紙/コットン紙の重さ 軽い 標準 重い	セットした[**ざら紙/コットン紙**]の重さを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**重い**]です。
カスタム x 重さ 軽い 標準 重い	セットした[**カスタム用紙タイプ x**]の重さを指定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**標準**]です。 • この項目は、[**カスタム用紙タイプ**]がサポートされている場合のみ表示されます。

［用紙セット方法］メニュー

項目	用途
再生紙セット中 両面印刷 オフ	用紙タイプに［**再生紙**］が指定されているすべての印刷ジョブを両面印刷で印刷します。
ボンド紙セット中 両面印刷 オフ	用紙タイプに［**ボンド紙**］が指定されているすべての印刷ジョブを両面印刷で印刷します。
レターヘッド紙セット中 両面印刷 オフ	用紙タイプに［**レターヘッド紙**］が指定されているすべての印刷ジョブを両面印刷で印刷します。
プレプリント紙セット中 両面印刷 オフ	用紙タイプに［**プレプリント紙用紙**］が指定されているすべての印刷ジョブを両面印刷で印刷します。
色付き紙セット中 両面印刷 オフ	用紙タイプに［**カラー用紙**］が指定されているすべての印刷ジョブを両面印刷で印刷します。
軽量紙セット中 両面印刷 オフ	用紙タイプに［**軽量紙**］が指定されているすべての印刷ジョブを両面印刷で印刷します。
重量紙セット中 両面印刷 オフ	用紙タイプに［**重量紙**］が指定されているすべての印刷ジョブを両面印刷で印刷します。

項目	用途
カスタム x トレイ 両面印刷 オフ	用紙タイプに[**カスタム用紙タイプ x**]が指定されているすべての印刷ジョブを両面印刷で印刷します。 **メモ**:この項目は、[**カスタム用紙タイプ**]がサポートされている場合のみ表示されます。
メモ: • [**両面印刷**]に設定すると、プリンタードライバーの[**印刷設定**]または[**プリント**]ダイアログで片面印刷を選択したジョブ以外は、すべて両面印刷が初期設定になります。 • [**両面印刷**]に設定すると、すべての印刷ジョブ(片面印刷も含む)が両面印刷ユニットに送られます。 • すべてのメニューで、出荷時設定は[**オフ**]です。	

[カスタム紙タイプ]メニュー

項目	用途
カスタム用紙タイプ x 用紙 重い厚紙 OHPフィルム ざら紙/コットン紙 ラベル紙用紙 封筒	用紙または専用紙の種類を、出荷時の名前[**カスタム用紙タイプ x**]または内蔵 Web サーバー機能で作成された[**カスタム名**](ユーザー定義名)と関連付けます。 **メモ**: • [**カスタム用紙タイプ x**]の出荷時設定は[**用紙**]です。 • 選択したトレイやフィーダーから印刷する場合、カスタムタイプの用紙がその給紙装置でサポートされている必要があります。
再生紙 用紙 重い厚紙 OHPフィルム ざら紙/コットン紙 ラベル紙用紙 封筒	[**再生紙**]に対する用紙の種類を指定します。他のメニューで[**再生紙**]が指定されると設定した用紙タイプに設定されます。 **メモ**: • 出荷時設定は[**用紙**]です。 • 選択したトレイやフィーダーから印刷する場合は、再生紙の種類がその給紙装置でサポートされている必要があります。

[ユニバーサル設定]メニュー

項目	用途
測定単位 インチ mm	測定単位を指定します。 **メモ:** • 出荷時設定は[**mm**]です。
縦長の幅 3～14.17 インチ 76～360 mm	縦長置き(ポートレート)の横の長さを設定します。 **メモ:** • この長さが上限を超える場合は、本機で使用可能な最大長が使用されます。 • 出荷時設定は[**216 mm**]です。1 mm 単位で増減できます。
縦長の縦の長さ 3～14.17 インチ 76～360 mm	縦長置き(ポートレート)の縦の長さを設定します。 **メモ:** • この長さが上限を超える場合は、本機で使用可能な最大長が使用されます。 • 出荷時設定は[**356 mm**]です。1 mm 単位で増減できます。

[レポート]メニュー

[レポート]メニュー

項目	用途
メニュー設定ページ	トレイにセットされている用紙、搭載メモリー、総ページカウント、アラートの状態、時間切れの状態、操作パネルの言語、TCP/IP アドレス、消耗品の状況、ネットワーク接続の状況などの各種情報のレポートを印刷します。
デバイス統計	本機の統計情報（消耗品情報や印刷したページの詳細など）に関するレポートを印刷します。
ネットワーク設定ページ	本機のネットワーク設定（TCP/IP アドレス情報など）に関するレポートを印刷します。 **メモ**：この機能は、ネットワークプリンターまたはプリントサーバーに接続されている場合のみ使用できます。
フォント一覧印刷 PCL フォント PostScript フォント	プリンター言語で使用できるフォントに関するレポートを印刷します。 **メモ**：PCL エミュレーションの一覧と PostScript エミュレーションの一覧をそれぞれ印刷できます。
ディレクトリ印刷	フラッシュメモリーまたはハードディスクに保存されているすべてのリソースのリストを印刷します。 **メモ**： • 実行するときはバッファーサイズが 100%になっていることを確認してください。 • フラッシュメモリーが正しく装着されていることを確認してください。
資産レポート	シリアル番号や機種名などの情報を含むレポートを印刷します。

[ネットワーク/ポート]メニュー

[アクティブNIC]メニュー

項目	用途
[アクティブNIC] 自動 (使用可能なネットワークカードのリスト)	**メモ:** • 出荷時設定は[**自動**]です。 • このメニュー項目は、オプションのネットワークカードが取付けられている場合のみ表示されます。

[標準ネットワーク]メニュー

メモ:このメニューにはアクティブなポートのみが表示され、アクティブでないポートはすべて省略されます。

項目	用途
PCL SmartSwitch オン オフ	印刷ジョブが PCL エミュレーションのときに、自動的に PCL エミュレーションに切換わるように設定します。 **メモ:** • 出荷時設定は[**オン**]です。 • [**PCL SmartSwitch**]が[**オフ**]の場合は受信データを検査しません。このとき[**PS SmartSwitch**]が[**オン**]に設定してあれば PostScript エミュレーションを使用します。[**PCL SmartSwitch**]/[**PS SmartSwitch**]とも[**オフ**]の場合は[**印刷設定**]メニューで指定されているプリンター言語を使用します。
PS SmartSwitch オン オフ	印刷ジョブが PS エミュレーションのときに、自動的に PS エミュレーションに切換わるように設定します。 **メモ:** • 出荷時設定は[**オン**]です。 • [**PS SmartSwitch**]が[**オフ**]の場合は受信データを検査しません。このとき[**PCL SmartSwitch**]が[**オン**]に設定してあれば PCL エミュレーションを使用します。[**PCL SmartSwitch**]/[**PS SmartSwitch**]とも[**オフ**]の場合は[**印刷設定**]メニューで指定されているプリンター言語を使用します。

項目	用途
NPAモード オフ 自動	NPA プロトコルで定義されている規則に従って、双方向通信を実行するように設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**自動**]です。[**自動**]にすると、データから形式を特定し、それに従ってデータを処理します。 • この設定を変更してメニューを終了すると、本機は再起動されます。再起動後に設定が有効になります。
ネットワークバッファー 自動 3KB～(可能な最大サイズまで)	ネットワークの入力バッファーのサイズを設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**自動**]です。 • 1KB 単位で変更できます。 • 設定可能な最大サイズはメモリー容量、他のリンクバッファーのサイズ、[**リソース保存**]の設定によって異なります。 • [**ネットワークバッファー**]の最大サイズを増加させるには、[**USBバッファ**]を無効にするかサイズを小さくします。 • この設定を変更してメニューを終了すると、本機は再起動されます。再起動後に設定が有効になります。
Mac Binary PS オン オフ 自動	Macintosh バイナリ形式の PostScript 印刷ジョブを処理するかどうかを設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**自動**]です。 • [**オフ**]に設定すると、標準プロトコルを使用します。 • [**オン**]に設定すると、RAW バイナリ(Macintosh バイナリ形式)の PostScript 印刷ジョブを処理できます。
標準ネット設定 レポート ネットワーク カード TCP/IP IPv6 ワイヤレス AppleTalk	ネットワーク設定を表示、設定します。 **メモ**:[**ワイヤレス**]メニューはワイヤレスネットワークに接続されている場合のみ表示します。

[レポート]メニュー

次の順に選択します。

- [**ネットワーク/ポート**]>[**標準ネットワーク**]>[**標準ネット設定**]>[**レポート**]

項目	用途
設定ページを印刷	ネットワーク設定(TCP/IP アドレスなど)に関するレポートを印刷します。

[ネットワークカード]メニュー

次の順に選択します。

- [**ネットワーク/ポート**]>[**標準ネットワーク**]>[**標準ネット設定**]>[**ネットワーク カード**]

項目	用途
カード状況を表示 接続済み 未接続	ネットワークカードの接続状況を表示します。
カード速度を表示	ネットワークカードの速度を表示します。
UN-TR	
ネットワークアドレス UAA LAA	ネットワークアドレスが表示されます。
ジョブタイムアウト 0～255 秒	ネットワークの印刷ジョブが時間切れになるまでの時間(秒)を設定します。 **メモ:** • 出荷時設定は[**90**]秒です。 • 設定が[**0**]の場合、タイムアウトしません。 • [**1**]～[**9**]の値を選択した場合は、[**10**]が設定として保存されます。

項目	用途
バナーページ オン オフ	ジョブの所有者情報を含むバナーページを印刷するかどうかを設定します。 **メモ**:出荷時設定は[**オフ**]です。

[TCP/IP]メニュー

次の順に選択します。

- [**ネットワーク/ポート**]>[**標準ネットワーク**]>[**標準ネット設定**]>[**TCP/IP**]

メモ:この機能は、ネットワークプリンターまたはプリントサーバーに接続されている場合のみ使用できます。

項目	用途
ホスト名を設定	ホスト名を設定します。
IP アドレス	TCP/IP アドレスを表示、変更します。 **メモ**:IP アドレスを手動で変更すると、[**DHCP を有効化**]および[**AutoIP を有効化**]設定が無効に変更されます。また、BOOTP および RARP をサポートする環境では BOOTP および RARP の機能も無効になります。
ネットマスク	TCP/IP ネットマスクを表示、変更します。
ゲートウェイ	TCP/IP ゲートウェイを表示、変更します。
DHCP を有効化 オン オフ	DHCP 機能の有効/無効を切換えます。 **メモ**:出荷時設定は[**オン**]です。
RARP を有効化 オン オフ	RARP によるアドレス割当て機能の有効/無効を切換えます。 **メモ**:出荷時設定は[**オン**]です。
BOOTP を有効化 オン オフ	BOOTP によるアドレス割当て機能の有効/無効を切換えます。 **メモ**:出荷時設定は[**オン**]です。

項目	用途
AutoIP を有効化 はい いいえ	自動 IP 機能の有効/無効を切換えます。DHCP が使用できないなどのゼロ構成ネットワークで利用できます。 **メモ**:出荷時設定は[**はい**]です。
FTP/TFTP を有効化 はい いいえ	FTP/TFTP 機能の有効/無効を切換えます。ファイル転送プロトコルを使用してファイルを本機に送信できるようにします。 **メモ**:出荷時設定は[**はい**]です。
HTTP サーバー有効化 はい いいえ	内蔵 Web サーバー機能の有効/無効を切換えます。有効にすると、Web ブラウザを使用して接続しているコンピューターからリモートで本機を監視および管理できます。 **メモ**:出荷時設定は[**はい**]です。
WINS サーバー アドレス	WINS サーバーアドレスを表示、変更します。
DDNS を有効化 はい いいえ	DDNS 設定を表示、変更します。 **メモ**:出荷時設定は[**はい**]です。
mDNS を有効化 はい いいえ	mDNS 設定を表示、変更します。 **メモ**:出荷時設定は[**はい**]です。
DNS サーバー アドレス	DNS サーバーアドレスを表示、変更します。
バックアップ DNS サーバー アドレス	バックアップ DNS サーバーアドレスを表示、変更します。
バックアップ DNS サーバー アドレス 2	
バックアップ DNS サーバー アドレス 3	
HTTPS 有効 はい いいえ	HTTPS 設定を表示、変更します。 **メモ**:出荷時設定は[**はい**]です。

[IPv6]メニュー

次の順に選択します。

- [**ネットワーク/ポート**]>[**標準ネットワーク**]>[**標準ネット設定**]>[**IPv6**]

メモ:この機能は、ネットワークプリンターまたはプリントサーバーに接続されている場合のみ使用できます。

項目	用途
IPv6 を有効化 オン オフ	IPv6(Internet Protocol Version 6)の有効/無効を切換えます。 IPv6 は、より多くの文字で IP アドレスを表記します。 **メモ**:出荷時設定は[**オン**]です。
自動構成設定 オン オフ	ルーターから送信される自動 IPv6 アドレス構成の問合わせを許可するかどうかを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**オン**]です。
ホスト名を設定*	ホスト名を設定します。
アドレスを表示*	IPv6 アドレスを表示します。
ルーターアドレスを表示*	ルーターアドレスを表示します。
DHCPv6 を有効にする オン オフ	DHCPv6 機能の有効/無効を切換えます。 **メモ**:出荷時設定は[**オン**]です。
*これらの設定は、内蔵 Web サーバー機能でのみ変更できます。	

[ワイヤレス]メニュー

メモ:この機能は、ワイヤレスネットワークに接続されている場合のみ使用できます。

次の順に選択します。

- [**ネットワーク/ポート**]>[**ネットワーク [x]**]>[**ネットワーク [x] 設定**]>[**ワイヤレス**]

項目	用途
WPS (Wi-Fi Protected Setup) プッシュボタン方式を開始 PIN 方式を開始	ネットワークのセキュリティを有効にした状態でワイヤレスネットワークとの接続を確立します。 **メモ**: • [**プッシュボタン方式を開始**]は、本機とアクセスポイント(無線ルーター)の両方のボタンを一定時間内に押すことで、ワイヤレスネットワークに接続する方法です。 • [**PIN 方式を開始**]は、本機の PIN コード(暗証番号)をアクセスポイントのワイヤレス設定へ入力することで、ワイヤレスネットワークに接続する方法です。
WPS 自動検出の有効/無効を切り替える 有効 無効	アクセスポイントが対応している WPS 機能の接続方法([**プッシュボタン方式を開始**]/[**PIN 方式を開始**])を自動的に検出するかどうかを設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**無効**]です。
ネットワークモード インフラストラクチャ アドホック	ワイヤレスのネットワークモードを指定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**アドホック**]です。このモードでは、本機とコンピューター間で直接、ワイヤレスネットワークが設定されます。 • [**インフラストラクチャ**]は、アクセスポイント経由でワイヤレスネットワークに接続します。
互換性 802.11b/g 802.11b/g/n	ワイヤレスネットワークの規格を指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**802.11b/g/n**]です。

項目	用途
ネットワークを選択	使用可能なネットワークを選択します。
信号品質を表示	ワイヤレスネットワークの強さを表示します。
セキュリティモードを表示	ワイヤレスネットワークの暗号化方式を表示します。

［AppleTalk］メニュー

メモ：このメニュー項目は、イーサーネットネットワークに接続されている、またはオプションのネットワークカードが取付けられている場合のみ表示されます。

次の順に選択します。

- ［**ネットワーク/ポート**］>［**標準ネットワーク**］>［**標準ネット設定**］>［**AppleTalk**］

項目	用途
有効化 はい いいえ	AppleTalk 機能の有効/無効を切換えます。 **メモ**：出荷時設定は［**はい**］です。
名前を表示	AppleTalk 名を表示します。 **メモ**：名前は内蔵 Web サーバー機能で変更できます。
アドレスを表示	AppleTalk アドレスを表示します。 **メモ**：アドレスは内蔵 Web サーバー機能で変更できます。
ゾーンを設定 （使用可能なゾーンの一覧）	ネットワーク上の使用可能な AppleTalk ゾーンを一覧から指定します。 **メモ**：一覧にアスタリスク（*）がついたゾーンが初期値です。出荷時設定は、ネットワーク側のデフォルトゾーンが設定されます。

[標準 USB]メニュー

項目	用途
PCL SmartSwitch オン オフ	USB ポートからの印刷ジョブが PCL エミュレーションのときに、自動的に PCL エミュレーションに切換わるように設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**オン**]です。 • [**PCL SmartSwitch**]が[**オフ**]の場合は受信データを検査しません。このとき[**PS SmartSwitch**]が[**オン**]に設定してあれば PostScript エミュレーションを使用します。[**PCL SmartSwitch**]/[**PS SmartSwitch**]とも[**オフ**]の場合は[**印刷設定**]メニューで指定されているプリンター言語を使用します。
PS SmartSwitch オン オフ	USB ポートからの印刷ジョブが PS エミュレーションのときに、自動的に PS エミュレーションに切換わるように設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**オン**]です。 • [**PS SmartSwitch**]が[**オフ**]の場合は受信データを検査しません。このとき[**PCL SmartSwitch**]が[**オン**]に設定してあれば PCL エミュレーションを使用します。[**PCL SmartSwitch**]/[**PS SmartSwitch**]とも[**オフ**]の場合は[**印刷設定**]メニューで指定されているプリンター言語を使用します。
NPA モード オン オフ 自動	NPA プロトコルで定義されている規則に従って、双方向通信を実行するように設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**自動**]です。[**自動**]にすると、データから形式を特定し、それに従ってデータを処理します。 • この設定を変更してメニューを終了すると、本機は再起動されます。再起動後に設定が有効になります。

項目	用途
USBバッファ 無効 自動 3KB～（可能な最大サイズまで）	USB の入力バッファーのサイズを設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は［**自動**］です。 • 1KB 単位で変更できます。 • 設定可能な最大サイズはメモリー容量、他のリンクバッファーのサイズ、［**リソース保存**］の設定によって異なります。 • ［**USBバッファ**］の最大サイズを増加させるには、［**ネットワークバッファー**］を無効にするかサイズを小さくします。 • この設定を変更してメニューを終了すると、本機は再起動されます。再起動後に設定が有効になります。
Mac Binary PS オン オフ 自動	Macintosh バイナリ形式の PostScript 印刷ジョブを処理するかどうかを設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は［**自動**］です。 • ［**オン**］に設定すると、RAW バイナリ（Macintosh バイナリ形式）の PostScript 印刷ジョブを処理できます。 • ［**オフ**］に設定すると、標準プロトコルを使用します。
ENA アドレス yyy.yyy.yyy.yyy	外付けプリントサーバーのネットワークアドレス情報を設定します。 **メモ**:この機能は、本機が USB ポート経由で外付けプリントサーバーに接続されている場合のみ使用できます。
ENA ネットマスク yyy.yyy.yyy.yyy	外付けプリントサーバーのネットマスク情報を設定します。 **メモ**:この機能は、本機が USB ポート経由で外付けプリントサーバーに接続されている場合のみ使用できます。
ENA ゲートウェイ yyy.yyy.yyy.yyy	外付けプリントサーバーのゲートウェイ情報を設定します。 **メモ**:この機能は、本機が USB ポート経由で外付けプリントサーバーに接続されている場合のみ使用できます。

[SMTP設定]メニュー

項目	用途
一次 SMTP ゲートウェイ	SMTP サーバーゲートウェイとポートの情報を指定します。 **メモ**:SMTP ゲートウェイポートの初期値は「25」です。
一次 SMTP ゲートウェイ ポート	
二次 SMTP ゲートウェイ	
二次 SMTP ゲートウェイ ポート	
SMTPタイムアウト 5～30	SMTP サーバーが E メールの送信を停止するまでの時間(秒)を指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**30**]秒です。
返信アドレス	送信される E メールの返信アドレスを、最大 128 文字で指定します。
SSL使用 無効 ネゴシエーション 必須	セキュリティを高めるために SMTP サーバーとの接続に SSL を使用するかどうかを設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**無効**]です。 • [**ネゴシエーション**]に設定すると、SSL を使用するかどうかは SMTP サーバー側で決定します。
SMTPサーバー認証 認証 不要 ログイン／普通紙 CRAM-MD5 Digest-MD5 NTLM Kerberos 5	印刷するときのユーザー認証の種類を指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**認証 不要**]です。

項目	用途
デバイスから送信されるEメール なし デバイスにSMTP認証を使用	SMTPサーバーへの接続時に使用する資格証明書を指定します。 SMTPサーバーによっては、Eメールを送信するのに資格証明書が必要となる場合があります。 **メモ**: • 出荷時設定はありません。 • [**デバイスユーザー ID**]と[**デバイスパスワード**]は、[**デバイスにSMTP認証を使用**]が設定されている場合にSMTPサーバーへログインするときに使用します。
デバイスユーザー ID	
デバイスパスワード	

[セキュリティ]メニュー

[コンフィデンシャル印刷]メニュー

項目	用途
無効暗証番号許容回数 オフ 2～10	PIN コード(暗証番号)の入力間違いを何回まで許可するかを設定します。 **メモ**:設定した制限回数まで間違えると、そのユーザー名と PIN コードで保存したすべての印刷ジョブが削除されます。
コンフィデンシャルジョブ期限切れ オフ 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	ジョブの有効期限を設定します。この期限を過ぎるとジョブが削除されます。 **メモ**: • コンフィデンシャルジョブが保存されている状態で[**コンフィデンシャルジョブ期限切れ**]が変更された場合でも、すでに保存されている。コンフィデンシャルジョブの期限は変更されません。 • 本機の電源をオフにすると、メモリー(RAM)に保存されているコンフィデンシャルジョブは削除されます。
繰り返しジョブの期限切れ オフ 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	ジョブの有効期限を設定します。この期限を過ぎるとジョブが削除されます。
確認ジョブの期限切れ オフ 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	ジョブの有効期限を設定します。この期限を過ぎるとジョブが削除されます。

項目	用途
予約ジョブの期限切れ オフ 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	ジョブの有効期限を設定します。この期限を過ぎるとジョブが削除されます。
メモ:出荷時設定は[**オフ**]です。	

［セキュリティ監査ログ］メニュー

項目	用途
エスポートログ	許可されたユーザーが監査ログをエクスポートします。 **メモ**: • 操作パネルから監査ログをエクスポートするには、USB フラッシュメモリーを接続する必要があります。 • 内蔵 Web サーバー機能で監査ログをダウンロードして、コンピューターに保存することもできます。
ログの削除 はい いいえ	監査ログを削除するかどうかを指定します。 **メモ**: 出荷時設定は［**はい**］です。
ログの構成 監査の有効化 １＝はい ２＝いいえ リモートSyslogの有効化 １＝はい ２＝いいえ リモートSyslogの機能 0～23 ログ記録するイベントの重大度 0～7	監査ログを作成するかどうかと作成する場合の方法を設定します。 **メモ**: • ［**監査の有効化**］では、イベントをセキュリティ監査ログおよびリモート Syslog に記録するかどうかを指定します。出荷時標準設定は［**いいえ**］です。 • ［**リモートSyslogの有効化**］では、ログをリモートサーバーに送信するかどうかを指定します。出荷時標準設定は［**いいえ**］です。 • ［**リモートSyslogの機能**］では、リモートSyslogサーバーにログを送信するために使用する値を指定します。出荷時設定は［**4**］です。 • セキュリティ監査ログを有効にすると、各イベントの重要度の値が記録されます。出荷時設定は［**4**］です。

［日付/時刻を設定］メニュー

項目	用途
現在の日付/時刻	現在の日時設定を表示します。
日付/時刻の手動設定 （日時を入力）	日時を入力します。 **メモ**: • 日時を手動で設定すると、［**NTPの有効化**］は［**オフ**］に設定されます。 • 日時はウィザードを使用して MM-DD-YYYY の形式で設定できます。
タイムゾーン （タイムゾーンリスト）	タイムゾーンを選択します。
DST 自動遵守 オン オフ	該当する夏時間（DST）の開始時期と終了時期を自動的に切換えるように設定します。 **メモ**: 出荷時設定は［**オン**］です。
NTPの有効化 オン オフ	NTP サーバー（ネットワーク上で時間合わせを行うサーバー）と時計を同期する、ネットワークタイムプロトコルの有効/無効を設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は［**オン**］です。 • 日時を手動で設定すると、［**NTPの有効化**］は［**オフ**］に設定されます。

[設定]メニュー

[一般設定]

[一般設定]メニュー

項目	用途
表示言語 English(英語) Francais(フランス語) Deutsch(ドイツ語) Italiano(イタリア語) Espanol(スペイン語) Dansk(デンマーク語) Norsk(ノルウェー語) Nederlands(オランダ語) Svenska(スウェーデン語) Portuguese(ポルトガル語) Suomi(フィンランド語) Russian(ロシア語) Polski(ポーランド語) Greek(ギリシャ語) Magyar(マジャール語) Turkce(トルコ語) Cesky(チェコ語) Simplified Chinese(簡体字中国語) Traditional Chinese(繁体字中国語) Korean(韓国語) Japanese(日本語)	操作パネルのディスプレイに表示されるテキストの言語を設定します。 **メモ**:機種によっては選択できない言語があります。
消耗品の寿命切れ表示 寿命切れの非表示 寿命切れの表示	操作パネル、内蔵 Web サーバー機能、メニュー設定、デバイス統計レポートに消耗品の寿命を表示します。

項目	用途
エコモード オフ 電力 電力/用紙 用紙	エコモードを設定します。 **メモ**: 出荷時設定は[**オフ**]です。
静音モード オン オフ	静音モードを設定します. **メモ**: 出荷時設定は[**オフ**]です。
初期設定の実行 いいえ はい	初回のセットアップ時に設定ウィザードを実行します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**はい**]です。 • 設定ウィザードを完了した後は[**いいえ**]になります。
用紙サイズ 米国 メトリック	用紙サイズの基準単位を指定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**メトリック**]です。 • 初期設定は、初期設定ウィザードで選択した国または地域によって決まります。
ホーム画面のカスタマイズ 言語設定 保持ジョブの検索 保持されたジョブ USB ドライブ プロファイルとソリューション ブックマーク ユーザー別ジョブ	ホーム画面に表示するアイコンやボタンを変更します。 各アイコンやボタンについて、以下の設定を選んで決定します。 表示 非表示 **メモ**: • [**保持ジョブの検索**]、[**保持されたジョブ**]、[**USB ドライブ**]の出荷時設定は[**表示**]です。 • [**言語設定**]、[**プロファイルとソリューション**]、[**ブックマーク**]、[**ユーザー別ジョブ**]の出荷時設定は[**非表示**]です。 • [**ブックマーク**]はネットワークに接続されており、[**ブックマークを表示**]が[**有効**]に設定されている場合のみ[**保持されたジョブ**]内に表示されます。

項目	用途
タイムアウト スリープモード 無効 1～120 分	ジョブの印刷後にスリープモードになるまでの待機時間を設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**30**]分です。 • 本機の節電設定によっては機種によっては[**無効**]が選択できない場合があります。 • 設定を短くすると消費電力を節約できますが、ウォームアップ時間が長くなる場合があります。 • 使用する頻度が高い場合は、長く設定します。スリープモードになっていない状態であれば短いウォームアップ時間で印刷できるようになります。
画面オフで印刷	操作パネルのディスプレイをオフのまま印刷するかどうかを設定します。
タイムアウト ハイバネートタイムアウト 無効 1 時間 2 時間 3 時間 6 時間 1 日 2 日 3 日 1 週間 2 週間 1 か月	ハイバネートモード(より省電力の状態)になるまでの待機時間を設定します。 **メモ**:出荷時設定は[**無効**]です。
タイムアウト 画面タイムアウト 15～300 秒	「レディ(準備完了)」状態に戻るまでの待機時間(秒)を設定します。 **メモ**:出荷時設定は[**30**]秒です。

項目	用途
タイムアウト 印刷タイムアウト 無効 1～255 秒	ジョブ終了コマンドの受信を待つ時間を設定します。設定した時間が過ぎてもジョブ終了のコマンドが送られてこない場合は、印刷ジョブをキャンセルします。 **メモ**: • 出荷時設定は[**90**]秒です。 • 時間切れになった場合、処理済みのページがあれば残りを印刷します。 • この設定は、PCL エミュレーションを使用している場合のみ設定できます。PostScript エミュレーションの印刷ジョブには影響しません。
タイムアウト 待機タイムアウト 無効 15～65535 秒	ジョブの追加データを待つ時間を設定します。設定した時間が過ぎても追加データが送られてこない場合は、印刷ジョブをキャンセルします。 **メモ**: • 出荷時設定は[**40**]秒です。 • この設定は、PCL エミュレーションの印刷ジョブには影響しません。
エラー回復 自動再起動 アイドル中再起動 常に再起動 再起動しない	エラー回復の動作を設定します。 **メモ**:出荷時設定は[**常に再起動**]です。
エラー回復 最大自動再起動 1～20	エラー回復時に自動再起動をする場合の上限回数を設定します。 **メモ**: • 設定した回数の自動再起動を実行した後は、エラー回復で再起動をせず、操作パネルのディスプレイに該当するエラーメッセージを表示します。 • 出荷時設定は[**2**]です。
印刷回復 自動続行 無効 5～255 秒	回復可能なエラーの場合に印刷を自動継続するまでの待ち時間を設定します。設定した時間内にユーザーがエラー解除などの操作をしない場合に、印刷を自動継続します。 **メモ**:出荷時設定は[**無効**]です。

項目	用途
印刷回復 紙づまり後の処理 オン オフ 自動	紙づまりが発生したページを再印刷するかどうかを指定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**自動**]です。[**自動**]の設定では、紙づまりしたページは、通常、再印刷されます。メモリーが他の印刷タスクに使用され、メモリーが足りない場合は印刷されません。 • [**オン**]に設定すると、紙づまりしたページは常に再印刷されます。 • [**オフ**]に設定すると、紙づまりしたページは再印刷されません。
印刷回復 紙づまりのアシスト オフ オン	**メモ**: • 出荷時設定は[**オン**]です。[**オン**]の設定では、紙づまりの原因のページを取除いた後、自動で他の場所に残った用紙を標準排紙トレイに排出します。 • [**オフ**]に設定すると、紙づまりの原因のページだけでなく、本機内に残っているすべての用紙を手動で取除く必要があります。
印刷回復 ページ保護 オフ オン	何らかの理由で印刷されなかった可能性があるページを印刷します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**オフ**]です。[**オフ**]の設定では、メモリーが十分でないときにはページの一部を印刷します。 • [**オン**]に設定すると、ページ全体を印刷するよう処理します。
接続時のハイバネートタイムアウト ハイバネート ハイバネートにしない	イーサーネット接続がアクティブになっている状態でもハイバネートモードに切換えるかどうかを設定します。 **メモ**:出荷時設定は[**ハイバネートにしない**]です。
[スリープ]ボタンの動作 何もしない スリープ ハイバネート	アイドル状態でスリープボタンを短く押したときの動作を設定します。 **メモ**:出荷時設定は[**スリープ**]です。

項目	用途
[スリープ]ボタンを押し続ける 何もしない スリープ ハイバネート	アイドル状態でスリープボタンを長く押したときの動作を設定します。 **メモ**:出荷時設定は[**何もしない**]です。
出荷時標準設定 復元しない 復元	出荷時標準設定に戻します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**復元しない**]です。[**復元しない**]では、ユーザーが設定した状態で使用できます。 • [**復元**]を選択すると、出荷時設定に戻ります。RAM に保存されているダウンロードデータはすべて削除されます。フラッシュメモリーに保存されているダウンロードデータは影響を受けません。
カスタムホームメッセージ オフ IPアドレス ホスト名 担当者名 デバイスロケーション ゼロ構成名 カスタムテキスト 1	本機の状態に表示される別名を設定します。 **メモ**:出荷時設定は[**オフ**]です。
構成パッケージのエクスポート	**メモ**:エクスポートするときは USB ドライブが必要です。

フラッシュドライブ

フラッシュドライブメニュー

項目	用途
枚数 1～999	すべての印刷ジョブで初期設定となる部数を指定します。 **メモ:** 出荷時設定は[**1**]部です。
給紙源 トレイ x MPフィーダー 手差し用紙 手差し封筒	すべての印刷ジョブで使用する給紙源の初期設定を指定します。 **メモ:** 出荷時設定は[**トレイ 1**](標準トレイ)です。
丁合 (1,1,1)(2,2,2) (1,2,3)(1,2,3)	複数部数の印刷でのページの排出順序の初期設定を指定します。複数部を印刷する場合に、ページごと枚数分を印刷するか、全ページを 1 部印刷してから 2 部目を印刷するかを設定します。 **メモ:** 出荷時設定は[**(1,2,3)(1,2,3)**]です。
両面 片面 両面	すべての印刷ジョブの初期設定として両面印刷を使用するかどうかを指定します。 **メモ:** 出荷時設定は[**片面**]です。
両面印刷の綴じ方 長辺 短辺	両面印刷ページの綴じ方と印刷方法を定義します。 **メモ:** • 出荷時設定は[**長辺**]です。[**長辺**]に設定した場合は、長い辺を綴じる(縦置きで左側綴じのレイアウト、横置きで上側綴じのレイアウトになる)ように両面印刷を行います。 • [**短辺**]に設定した場合は、短い辺を綴じる(縦置きで上側綴じのレイアウト、横置きで左綴じのレイアウトになる)ように両面印刷を行います。
N アップの向き 自動 横長 縦長	[**用紙の節約**]で複数ページの割付けをするときの配列を設定します。 **メモ:** 出荷時設定は[**自動**]です。他の機能で指定されている設定(または初期設定)に従います。

項目	用途
用紙の節約 オフ 2 アップ 3 アップ 4 アップ 6 アップ 9 アップ 12 アップ 16 アップ	1 枚の用紙の片面に複数ページを割付けて印刷する設定をします。 **メモ**: • 出荷時設定は[**オフ**]です。 • 数字が 1 面に印刷するページ数になります。この設定後、[**N アップの配列**]、[**N アップ方向**]、[**N アップの枠**]で順番やレイアウトを設定します。
N アップの枠 なし ソリッド	[**用紙の節約**]で複数ページの割付けをするときに、ページ区切りに線を入れるかどうかを設定します。 **メモ**:出荷時設定は[**なし**]です。
N アップの配列 横方向(左から) 横方向(右から) 縦方向(右から) 縦方向(左から)	[**用紙の節約**]で複数ページの割付けをするときの配列を設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**横方向(左から)**]です。 • 1 面に割付けるページ数と向きによってレイアウト結果が異なります。
セパレータ用紙 オフ 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	区切り部分にセパレータ紙を挿入するかどうかを設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**オフ**]です。セパレータ紙は挿入されません。 • [**各部の間**]に設定すると、[**丁合**]が[**(1,2,3)(1,2,3)**]のときは全ページを 1 部印刷するごとに白紙を挿入します。[**丁合**]が[**(1,1,1)(2,2,2)**]の場合は、各ページを指定部数印刷後、次のページを印刷する前に白紙を挿入します。 • [**各ジョブの間**]に設定すると、ジョブごとに白紙を挿入します。 • [**各ページの間**]に設定すると、ページごとに白紙を挿入します。この設定は OHP フィルムを印刷するときやページ間にメモ用のページを入れたいときに便利です。

項目	用途
セパレータ給紙源 トレイ x MP フィーダー	[**セパレータ用紙**]を設定したときに、挿入する用紙をどの給紙装置から給紙するかを設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**トレイ1**](標準トレイ)です。 • メニューに[**MP フィーダー**]を表示するには、[**用紙メニュー**]で[**多目的フィーダー設定**]を[**トレイ**]に設定します。
空白ページ 印刷しない 印刷	印刷ジョブ内に空白ページがあった場合に印刷するかどうかを設定します。 **メモ**:出荷時設定は[**印刷しない**]です。

［印刷設定］

セットアップメニュー

項目	用途
プリンタ言語 PCL PS	プリンタ言語の初期設定を指定します。 **メモ**: • 出荷時設定は［**PCL**］です。 • PostScript エミュレーションでは、印刷ジョブの処理に PostScript インタープリタを使用します。 • PCL エミュレーションでは、印刷ジョブの処理に PCL インタープリタを使用します。 • この設定は初期設定であり、ソフトウェアプログラムから別のプリンタ言語を使用する印刷ジョブを送信できます。
印刷領域 標準 用紙全体	印刷可能領域を設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は［**標準**］です。印刷領域外のデータは印刷されません。 • ［**用紙全体**］に設定する［**標準**］の印刷領域より広い領域に印刷できます。この設定は、PCL 5e インタープリタを使用して印刷する場合のみ効果があります。PCL XL または PostScript インタープリタを使用して印刷する場合は、有効になりません。
ダウンロード先 RAM フラッシュ	ダウンロードデータの保存先を設定します。 **メモ**: • フラッシュメモリーは不揮発性メモリーのため、保存したダウンロードデータは恒久的に記憶されます。本機の電源を切っても、データはフラッシュメモリーに残りますので機密性の高いデータなどはご注意ください。 • このメニュー項目は、オプションの USB フラッシュメモリーが取付けられている場合のみ表示されます。

項目	用途
リソース保存 オン オフ	使用可能なメモリー容量を超える処理が必要な印刷ジョブを受信した場合に、RAM に保存されているフォントやマクロなどの一時的なダウンロードデータを削除するかどうかを指定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**オフ**]です。[**オフ**]の設定にすると、メモリーが十分でないときにはダウンロードデータを削除してメモリーを開放します。 • [**オン**]の設定にすると、ダウンロードデータを削除しません。メモリーが十分でないときには「メモリーフル [38]」が表示されます。この場合もダウンロードデータは保持されます。

仕上げメニュー

項目	用途
両面 片面 両面	すべての印刷ジョブの初期設定として両面印刷を使用するかどうかを指定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**片面**]です。 • ソフトウェアプログラムから両面印刷を設定するには、次の手順に従います。 Windows の場合: 1. [**ファイル**]>[**印刷**]の順にクリックします。 2. [**プロパティ**]、[**詳細設定**]、または[**プリンター設定**]をクリックします。 Macintosh の場合: 1. [**ファイル**]>[**プリント**]の順に選択します。 2. [**プリント**]画面の項目やポップアップメニューでプリンタードライバーの設定を変更します。
両面印刷の綴じ方 長辺 短辺	両面印刷ページの綴じ方と印刷方法を設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**長辺**]です。[**長辺**]に設定した場合は、長い辺を綴じる(縦置きで左側綴じのレイアウト、横置きで上側綴じのレイアウトになる)ように両面印刷を行います。 • [**短辺**]に設定した場合は、短い辺を綴じる(縦置きで上側綴じのレイアウト、横置きで左綴じのレイアウトになる)ように両面印刷を行います。

項目	用途
枚数 1～999	すべての印刷ジョブで初期設定となる部数を指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**1**]部です。
空白ページ 印刷しない 印刷	印刷ジョブ内に空白ページがあった場合に印刷するかどうかを設定します。 **メモ**:出荷時設定は[**印刷しない**]です。
丁合 (1,1,1)(2,2,2) (1,2,3)(1,2,3)	複数部数の印刷でのページの排出順序の初期設定を指定します。複数部を印刷する場合に、ページごと枚数分を印刷するか、全ページを 1 部印刷してから 2 部目を印刷するかを設定します。 **メモ**:出荷時設定は[**(1,2,3) (1,2,3)**]です。
セパレータ用紙 オフ 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	区切り部分にセパレータ紙を挿入するかどうかを設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**オフ**]です。セパレータ紙は挿入されません。 • [**各部の間**]に設定すると、[**丁合**]が[**(1,2,3) (1,2,3)**]のときは全ページを 1 部印刷するごとに白紙を挿入します。[**丁合**]が[**(1,1,1) (2,2,2)**]の場合は、各ページを指定部数印刷後、次のページを印刷する前に白紙を挿入します。 • [**各ジョブの間**]に設定すると、ジョブごとに白紙を挿入します。 • [**各ページの間**]に設定すると、ページごとに白紙を挿入します。この設定は OHP フィルムを印刷するときやページ間にメモ用のページを入れたいときに便利です。
セパレータ給紙源 トレイ x MP フィーダー	[**セパレータ用紙**]を設定したときに、挿入する用紙をどの給紙装置から給紙するかを設定します。 **メモ**:出荷時設定は[**トレイ1**](標準トレイ)です。
用紙の節約 オフ 2 アップ 3 アップ 4 アップ 6 アップ 9 アップ 12 アップ 16 アップ	1 枚の用紙の片面に複数ページを割付けて印刷する設定をします。 **メモ**: • 出荷時設定は[**オフ**]です。 • 数字が 1 面に印刷するページ数になります。この設定後、[**N アップの配列**]、[**N アップの向き**]、[**N アップの枠**]で順番やレイアウトを設定します。

項目	用途
N アップの配列 横方向（左から） 横方向（右から） 縦方向（右から） 縦方向（左から）	［**用紙の節約**］で複数ページの割付けをするときの配列を設定します。 **メモ**： • 出荷時設定は［**横方向（左から）**］です。 • 1 面に割付けるページ数と向きによってレイアウト結果が異なります。
N アップの向き 自動 横長 縦長	［**用紙の節約**］で複数ページの割付けをするときの配列を設定します。 **メモ**：出荷時設定は［**自動**］です。他の機能で指定されている設定（または初期設定）に従います。
N アップの枠 なし ソリッド	［**用紙の節約**］で複数ページの割付けをするときに、ページ区切りに線を入れるかどうかを設定します。 **メモ**：出荷時設定は［**なし**］です。

印刷品質メニュー

項目	用途
印刷解像度 300 dpi 600 dpi 1200 dpi 1200 イメージ品質 2400 イメージ品質	印刷結果の解像度を 1 インチ当りのドット数（dpi）で指定します。 **メモ**：出荷時設定は［**600 dpi**］です。
ピクセルブースト オフ フォント 横方向 縦方向 双方向	指定した条件部分のピクセル数を増やして鮮明度を高めます。画像を縦または横方向に拡大したり、フォントを見やすくしたりできます。 **メモ**：出荷時設定は［**オフ**］です。

項目	用途
トナーの濃さ 1～10	印刷の濃淡を調整します。 **メモ:** • 出荷時設定は[**8**]です。 • 小さい数に設定すると、トナーを節約できます。
細かい線を強調 オン オフ	細かな絵、地図、電気回路図、フローチャートなどのデータに適した印刷モードを有効にします。 **メモ:** • 出荷時設定は[**オフ**]です。 • この機能は内蔵 Web サーバー機能で設定できます。内蔵 Web サーバー機能は、ブラウザのアドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力して起動します。
グレー補正 自動 オフ	コントラスト補正を自動的に調整します。 **メモ:** 出荷時設定は[**自動**]です。
明るさ -6～6	明暗を調整します。印刷結果を明るくするほど、トナーを節約できます。 **メモ:** 出荷時設定は[**0**]です。
コントラスト 0～5	コントラストを調整します。 **メモ:** 出荷時設定は[**0**]です。

ジョブアカウントメニュー

メモ:

- このメニュー項目は、オプションのアップグレードキット(ユーザーフラッシュメモリー/各フォントカード)が装着されているときのみ表示されます。
- PageScope Account Manager を利用するとジョブアカウントの統計情報を管理できます。管理する場合は、PageScope Account Manager をインストールする必要があります。また、本機を、管理対象のデバイスとして指定する必要があります。
- ジョブアカウントメニューを利用する場合は、内蔵 Web サーバー機能にパスワードを設定することをお勧めします。

項目	用途
ジョブアカウントのログ オン オフ	印刷ジョブをログとして記録するかどうかを指定します。 **メモ:** 出荷時設定は[**オフ**]です。
ジョブアカウントのログ回数 毎日 毎週 毎月	ログファイルを更新する期間を設定します。 **メモ:** • 出荷時設定は[**毎月**]です。 • 週は月曜日の 12:00 AM から日曜日の 11:59 PM までの期間になります。 • 月は 1 日の 12:00 AM から最終日の 11:59 PM までの期間になります。
最後に行うログ操作 なし 現在のログをEメールで送信 現在のログをEメールで送信して削除 現在のログをポスト 現在のログをポストして削除	ログファイルの更新が完了したときの処理動作を指定します。 **メモ:** 出荷時設定は[**なし**]です。
ログがほとんど満杯レベル オフ 1～49	ログ記録領域の上限を設定します。 **メモ:** 記録領域の上限は 50MB です。

項目	用途
ログ操作がほとんど満杯レベル なし 現在のログをEメールで送信 現在のログをEメールで送信して削除 最も古いログをEメールで送信し削除 現在のログをポスト 現在のログをポストして削除 最も古いログをポストして削除 現在のログを削除 最も古いログを削除 現在のログ以外すべて削除 すべてのログを削除	ログ記録領域が上限に近くなっている場合の対処方法を指定します。 **メモ:**出荷時設定は[**なし**]です。
ログ操作が満杯 なし 現在のログを E メールで送信して削除 最も古いログを E メールで送信して削除 現在のログをポストして削除 最も古いログをポストして削除 現在のログを削除 最も古いログを削除 現在のログ以外すべて削除 すべてのログを削除	ログ記録領域が上限に達した場合の対処方法を指定します。 **メモ:**出荷時設定は[**なし**]です。
ログ記録 URL （入力内容）	ログを保存するフォルダを指定します。 **メモ:**このメニュー項目は、[**ログ操作がほとんど満杯レベル**]/[**ログ操作が満杯**]のどちらかの項目が[**現在のログをポスト**]、[**現在のログをポストして削除**]または[**最も古いログをポストして削除**]のどれかに設定されているときに設定できます。

項目	用途
E メールログ （入力内容）	ログを送信する E メールアドレスを指定します。 **メモ:**このメニュー項目は、[**ログ操作がほとんど満杯レベル**]/[**ログ操作が満杯**]のどちらかの項目が[**現在のログを E メールで送信**]、[**現在のログを E メールで送信して削除**]または[**最も古いログを E メールで送信して削除**]のどれかに設定されているときに設定できます。
ログファイルプレフィックス （入力内容）	ログファイルのプレフィックスを変更します。 **メモ:** • ログファイルは、2 種類の名前で保存されます。 進行中のログファイルは、以下の名前です。 「jal_[プレフィックスの設定内容]_current.csv」 過去のログファイルは、以下の名前です。 「jal_[プレフィックスの設定内容]_[ログの最初の日のタイムスタンプ].csv」 • 出荷時設定は[**TCP/IP**]メニューで設定したホスト名になります。
ログを削除 すべて選択 すべて選択解除 削除	表示されたリストから目的のログファイルを選択して削除します。 **メモ:**このメニュー項目は、[**ジョブアカウントのログ**]が[**オン**]になっているときに設定できます。
ログを印刷/エクスポート 印刷 詳細 ユーザーID サマリ アカウントコードサマリ エクスポート	ログファイルの処理方法を指定します。 **メモ:** • このメニュー項目は、[**ジョブアカウントのログ**]が[**オン**]になっているときに設定できます。 • USB フラッシュドライブにログをエクスポートすると、フラッシュドライブのアクセスランプの点滅で書込み状況が分かります。アクセスランプがついていない場合は、フラッシュドライブを取外す前に、ログをエクスポートした後、約 90 秒待ってから外してください。

ユーティリティメニュー

項目	用途
フラッシュ初期化 はい いいえ	フラッシュメモリーを初期化（フォーマット）します。 **警告—破損の恐れがあります**：フラッシュメモリーの初期化中は、本機の電源を切らないでください。 **メモ**： • ［**はい**］を選択するとフラッシュメモリーに保存されているデータはすべて削除されます。 • ［**いいえ**］を選択すると初期化はキャンセルされます。 • フラッシュメモリーとは、本機に取付けられたフラッシュメモリーカードのことです。 • フラッシュメモリーカードは、絶対に読取り/書込み保護または書込み保護に設定しないでください。 • このメニュー項目は、正常なフラッシュメモリーカードが取付けられている場合に表示されます。
16進トレースの有効化	印刷で発生した問題の原因を特定するために印刷します。 **メモ**： • 有効にすると、以降に送信されたすべてのデータが、16 進数と文字表現で印刷されます。制御コードは実行されません。 • 16進トレースモードを終了または無効化するときは、本機の電源を切るかリセットします。
印刷比率の推定 オフ オン	1 ページに使用されるトナーの着色面率の推定値を計算します。推定値は、各印刷ジョブの最後に別のページで印刷されます。 **メモ**：出荷時設定は［**オフ**］です。

XPS メニュー

項目	用途
エラーページ印刷 オフ オン	XML マークアップエラーを含め、エラーに関する情報ページを印刷します。 **メモ**：出荷時設定は［**オフ**］です。

PDF メニュー

項目	用途
用紙にあわせて印刷 はい いいえ	選択した用紙サイズに合わせてページの内容を拡大/縮小します。 **メモ**:出荷時設定は[**いいえ**]です。
注釈 印刷しない 印刷する	PDF 内の注釈を印刷します。 **メモ**:出荷時設定は[**印刷しない**]です。

PostScript メニュー

項目	用途
PSエラー印刷 オン オフ	PostScript エラーを含むページを印刷します。 **メモ**:出荷時設定は[**オフ**]です。
PSスタートアップモード オン オフ	SysStart ファイルを無効化します。 **メモ**:出荷時設定は[**オフ**]です。
フォントの優先順位 常駐 フラッシュ	フォントの検索順序を設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**常駐**]です。 • このメニュー項目は、フォーマット済みフラッシュメモリーカードが本機に取付けられ、正しく機能している場合に表示されます。 • フラッシュメモリーカードは、絶対に読取り/書込み保護または書込み保護に設定しないでください。 • 各ポートのバッファーサイズを上限値に設定しないでください。

PCL メニュー

項目	用途
フォント ソース 常駐 ダウンロード フラッシュ すべて	[**フォント名**]で使用されるフォントセットを指定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**常駐**]です。RAM にダウンロードされた出荷時の標準フォントセットが表示されます。 • [**ダウンロード**]は RAM にダウンロードされたすべてのフォントが表示されます。 • [**フラッシュ**]はオプションのフラッシュメモリーカードに内蔵されているすべてのフォントが表示されます。RAM にダウンロードされたすべてのフォントが表示されます。オプションのフラッシュメモリーカードは適切にフォーマットする必要があります。また、読取り/書込み保護、書込み保護、パスワード保護には設定しないでください • [**すべて**]は各オプションで使用できるフォントがすべて表示されます。
フォント名 R0 Courier	[**フォント ソース**]で選択されているフォントとその保存先を表示します。 **メモ**:出荷時設定は[**R0 Courier**]です。[**R0 Courier**]の表記は、フォント名、フォント ID、保存先を示しています。保存先の略称は、「R」が常駐フォント、「F」がフラッシュメモリーに保存されているフォント、「D」がダウンロードしたフォントを示します。
シンボルセット 12U PC-850	各フォント名のシンボルセットを指定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**12U PC-850**]です。 • シンボルセットは、英数字、句読点、特殊記号のセットです。シンボルセットにより、さまざまな言語や科学文献で使用される数学記号などの特殊なコンテンツの文字を印刷できます。使用可能なシンボルセットのみ表示されます。 • シンボルセットは、[(フォント ID)(フォント名)]の組合せで表記されます(例:12U PC-850)。

項目	用途
PCL 設定 ピッチ 0.08～100	スケーラブル等幅フォントのフォントピッチを指定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**10**]です。 • ピッチとは、文字間の固定スペースで、1 インチ当りの数値で表します（cpi）。 • ピッチは 0.01 cpi 単位で増減できます。 • スケーラブルでない等幅フォントの場合、ピッチが画面に表示されますが、変更できません。
PCL 設定 用紙の向き 縦長 横長	ページ上のテキストおよびグラフィックスの向きを指定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**縦長**]です。[**縦長**]では、ページの短辺に平行な方向にテキストとグラフィックスが印刷されます。 • [**横長**]では、ページの長辺に平行な方向にテキストとグラフィックスが印刷されます。
PCL 設定 1 ページ当りの行数 1～255	1 ページに印刷する行数を指定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**64**]です。 • [**PCL 設定**]では、[**1 ページ当りの行数**]、[**A4 サイズの幅**]、[**用紙の向き**]の設定に基づいて、行間のスペースを決定します。[**A4 サイズの幅**]、[**用紙の向き**]を選択してから、[**1 ページ当りの行数**]を設定してください。
PCL 設定 A4 サイズの幅 198 mm 203 mm	A4 サイズの用紙の印刷条件を設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**198 mm**]です。 • [**203 mm**]に設定すると、10 ピッチの文字を 80 個印刷できるページ幅になります。
PCL 設定 LF 後自動 CR オン オフ	ラインフィード（LF）制御コマンドの後にキャリッジリターン（CR）を自動的に実行するかどうかを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**オフ**]です。

項目	用途
PCL 設定 CR 後自動 LF オン オフ	キャリッジリターン（CR）の後にラインフィード（LF）制御コマンドを自動的に実行するかどうかを指定します。 **メモ**：出荷時設定は［**オフ**］です。
トレイ番号変更 多目的フィーダー割当て オフ なし 0～199 トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3 x 割当て オフ なし 0～199 手差し用紙割当て オフ なし 0～199 手差し封筒割当 オフ なし 0～199	トレイとフィーダーの給紙装置の割当てが異なるプリンターソフトウェアまたはプログラムで動作するようにトレイの割当てを変更できます。 **メモ**： • 出荷時設定は［**オフ**］です。 • ［**なし**］は選択できません。PCL 5 インタープリタで選択されている場合にこの項目が表示されますが、コマンドが無視されます。 • 0～199 の数値に、ユーザー定義の設定を割当てられます。
トレイ番号変更 出荷時標準設定の表示 MPF標準設定 = 8 T1標準設定 = 1 T2標準設定 = 4 T3標準設定 = 5 T4標準設定 = 20 T5標準設定 = 21 封筒標準設定 = 6 手差し標準設定 = 2 手差封筒標準 = 3	各トレイまたはフィーダーに割当てられている出荷時設定を表示します。

項目	用途
トレイ番号変更 標準設定に復元 はい いいえ	トレイとフィーダーのすべての割当てを出荷時標準設定に戻します。

HTML メニュー

項目		用途
フォント名 Albertus MT Antique Olive Apple Chancery Arial MT Avant Garde Bodoni Bookman Chicago Clarendon Cooper Black Copperplate Coronet Courier Eurostile Garamond Geneva Gill Sans Goudy Helvetica Hoefler Text Intl CG Times Intl Courier Intl Univers	Joanna MT Letter Gothic Lubalin Graph Marigold MonaLisa Recut Monaco New CenturySbk New York Optima Oxford Palatino StempelGaramond Taffy Times TimesNewRoman Univers Zapf Chancery NewSansMTCS NewSansMTCT New SansMTJA NewSansMTKO	HTML ドキュメントの標準フォントを設定します。 **メモ**:フォントが指定されていない HTML ドキュメントには、Times フォントを使用します。

項目	用途
フォントサイズ 1～255 pt	HTML ドキュメントの標準フォントサイズを設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**12 pt**]です。 • フォントサイズは、1 ポイント単位で増減できます。
拡大縮小 1～400%	HTML ドキュメントの標準フォントを拡大/縮小します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**100%**]です。 • 拡大/縮小率は、1%単位で増減できます。
用紙の向き 縦長 横長	HTML ドキュメントのページの用紙の向きを設定します。 **メモ**:出荷時設定は[**縦長**]です。
余白 8～255 mm	HTML ドキュメントのページ余白を設定します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**19 mm**]です。 • 余白は、1 mm 単位で増減できます。
背景 印刷しない 印刷	HTML ドキュメントの背景を印刷するかどうかを指定します。 **メモ**:出荷時設定は[**印刷**]です。

イメージメニュー

項目	用途
自動調整 オン オフ	最適な用紙サイズ、拡大/縮小率、向きを選択します。 **メモ**: 出荷時設定は[**オン**]です。この設定にすると、一部のイメージの拡大/縮小率および用紙の向きの設定を変更します。
反転 オン オフ	モノクロのイメージを反転します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**オフ**]です。 • この設定は、GIF または JPEG イメージには適用されません。
倍率変更 左上隅の固定 最適なフォント選択 中央の固定 高さ/幅の調整 高さの調整 幅の調整	選択した用紙サイズに合わせてイメージを拡大/縮小します。 **メモ**: • 出荷時設定は[**最適なフォント選択**]です。 • [**自動調整**]を[**オン**]に設定すると、[**倍率変更**]は自動的に[**最適なフォント選択**]に設定されます。
用紙の向き 縦長 横長 縦長反転 横長反転	イメージの印刷方向を設定します。 **メモ**: 出荷時設定は[**縦長**]です。

7—環境保護のために

用紙とトナーの節約

プリンターの二酸化炭素排出量の 80%ほどが用紙の使用状況に関連している、ということが複数の調査で示されています。再生紙を使用したり、両面印刷や用紙の片面に複数ページを印刷したりするなどの方法で二酸化炭素排出量を大幅に減少することができます。

再生紙を使用する

当社は環境問題意識を持つ企業として、レーザープリンター向けに特別に生産された事務用再生紙の使用を推奨しています。

消耗品を節約する

印刷時に使用する用紙やトナーの量を減らす以下のような方法があります。

用紙の両面に印刷

お使いの機種が両面印刷に対応している場合、プリンタードライバーで[**両面印刷**]を選択することによって、両面印刷にするかどうかを制御できます。

1 枚の用紙に複数ページを印刷

プリンタードライバーで[ページ割付](N アップ)で設定を選択することによって、1 枚の用紙の片面に、最大で 16 ページの連続したドキュメントを印刷できます。

紙づまりを防ぐ

紙づまりを防ぐには、正しい種類とサイズの用紙をセットします。
参照⇒「紙づまりを起こさないためには」

8—メンテナンス

警告—破損の恐れがあります：部品や消耗品の交換を指示されたときに行わないと、損傷したり、適切に動作しなくなったりする恐れがあります。

外側を清掃する

外側を清掃する

メモ：この作業は数か月ごとを目安に実施してください。

警告—破損の恐れがあります：不適切な取扱いによる損傷は保証の対象外です。

1. 電源をオフにし、電源コードをコンセントから抜いたことを確認します。

   注意—感電の恐れがあります：感電の危険を避けるため、本機の外側の掃除を始める前に電源コードをコンセントから抜き、接続されているすべてのコードやケーブルを外します。

2. 排紙トレイと多目的フィーダーから用紙を取除いてください。

3. 柔らかいブラシまたは掃除機を使用して、周囲のほこり、糸くず、紙片を除去します。

4. 清潔で糸くずの出ない布を水で湿らせ、表面を拭きます。

   警告—破損の恐れがあります：家庭用の洗剤や溶剤を使わないでください。外装に傷が付くことがあります。

5. 新しい印刷ジョブを送信する前に、すべての部分が乾いていることを確認してください。

消耗品や交換部品の注文について

コニカミノルタ指定の純正消耗品や交換部品をお使いください

コニカミノルタプリンターは、コニカミノルタ指定の純正消耗品や交換部品をご使用いただくことで最良の画像品質・製品性能が得られるように設計されています。コニカミノルタ指定の純正消耗品以外をご使用の場合には製品性能が得られない場合がありますのでご注意ください。また、コニカミノルタ指定の純正消耗品以外をご使用になられたことによる品質トラブル等につきましては、製品保証対象外となります。

コニカミノルタ純正品以外のリサイクルトナーカートリッジは使用しないでください。リサイクルトナーカートリッジを使用したことによる故障や印刷品質の問題については、保証の対象にはなりません。また、技術的なサポートの対象にもなりません。

トナーカートリッジの注文

メモ:

- トナーカートリッジの寿命は、ISO/IEC 19752 標準に準拠しています。
- 長期間にわたって使用頻度が低い場合は寿命に影響することがあります。

名称	製品番号
アフター用トナーカートリッジ 20K	A63T01E

イメージングユニットの注文

長期間にわたって使用頻度が低い場合は、イメージングユニットおよびトナーカートリッジ寿命に影響することがあります。

イメージングユニットの交換については、イメージングユニット付属の説明シートをご覧ください。

名称	製品番号
アフター用イメージングユニット 60K	A63X03W

推定残りページについて

残りのトナー残量で印刷できるおよそのページ数は、最新の印刷履歴から計算されます。その精度は、実際の印刷内容、印刷品質の設定、およびその他の設定など、多数の要素によって大きく変わります。

実際のトナー消費量が以前よりも多くなるようなことがあると、印刷できるページ数は少なくなります。印刷できるページ数はおよその目安です。この数値を参考に消耗品を購入する予定の場合は、この数値が変動することを考慮してください。消費量は、国際標準化機構* のテスト方法およびページ内容に基づいて予測します。

*ブラックカートリッジで連続印刷した場合の平均値です。公表値は ISO/IEC 19752 に準拠しています。

消耗品の保管

消耗品は、清潔で涼しい場所に保管する必要があります。また、使用するまでは梱包から出さずに正しい面を上にして保管してください。

以下の環境は避けてください。

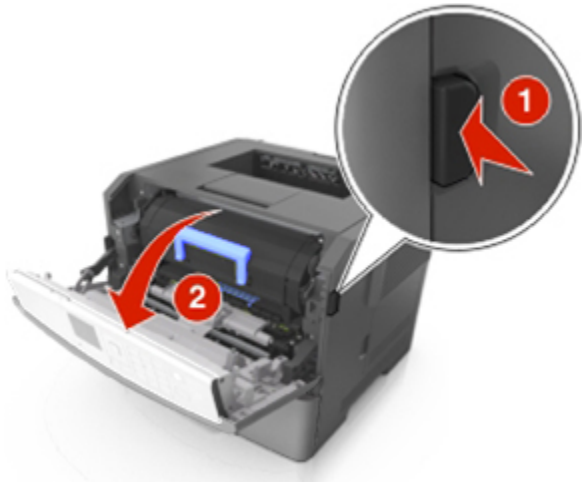
- 直射日光の当たる場所
- 気温が 35℃以上の場所
- 湿度が 80%以上の場所

- 潮風の当たる場所
- 有害ガスが当たる場所
- ほこりの多い場所

消耗品を交換する

トナーカートリッジを交換する

1. 右側面にあるボタンを押して前面ドアを開きます。



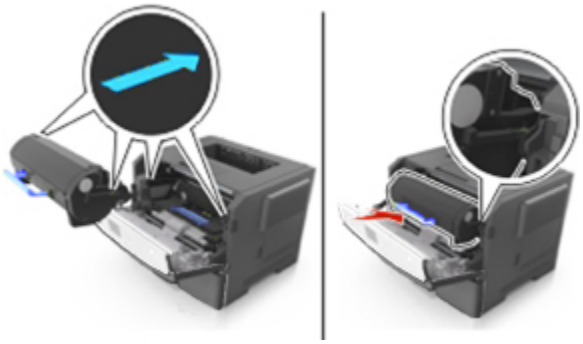
2. 取っ手を持ってトナーカートリッジを引出します。

3. 新しいトナーカットリッジを梱包袋から取出し、梱包材をすべて取除きます。

4. 新しいカートリッジを振ってトナーの偏りをなくします。

5. トナーカートリッジのサイドレールの矢印を本機内側のサイドレールの矢印に合わせ、トナーカートリッジを奥に挿入します。

   警告—破損の恐れがあります:イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。



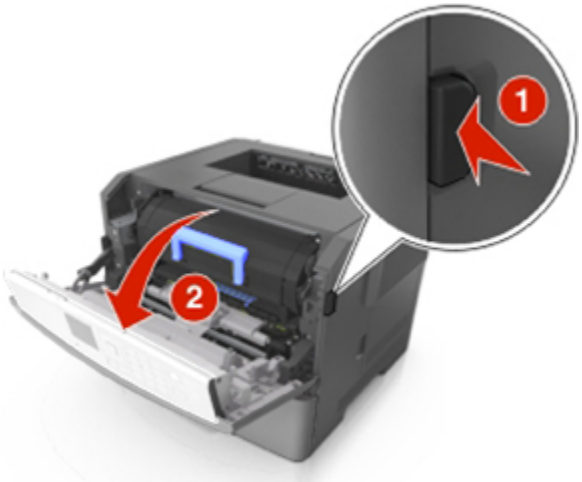
   メモ:使用済みトナーカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。トナーカートリッジは火気のあるところに廃棄したり燃やしたりしないでください。

   注意:トナーカートリッジを交換するときは、トナーがこぼれないように注意してください。もしトナーがこぼれた場合は、すみやかにやわらかい乾いた布で拭き取ってください。トナーが目に入った場合、直ちに流水で 15 分以上洗い流し、医師の診察を受けてください。

6. 前面ドアを閉じます。

イメージングユニットを交換する

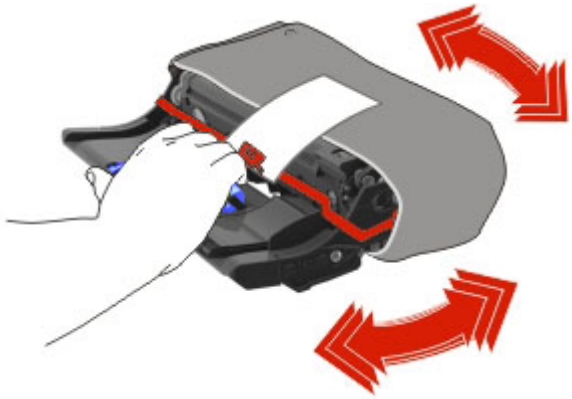
1. 右側面にあるボタンを押して前面ドアを開きます。



2. 取っ手を持ってトナーカートリッジを引出します。

3. 青色の取っ手を持上げ、イメージングユニットを引出します。

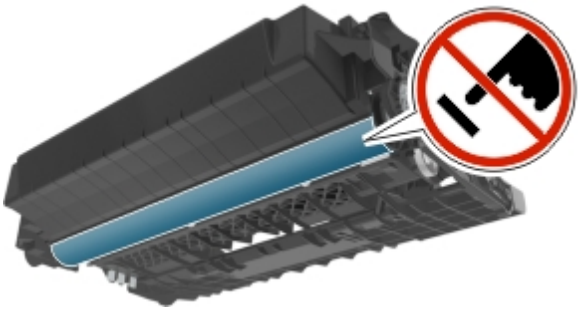
4. 新しいイメージングユニットを梱包袋から取出して振ります。



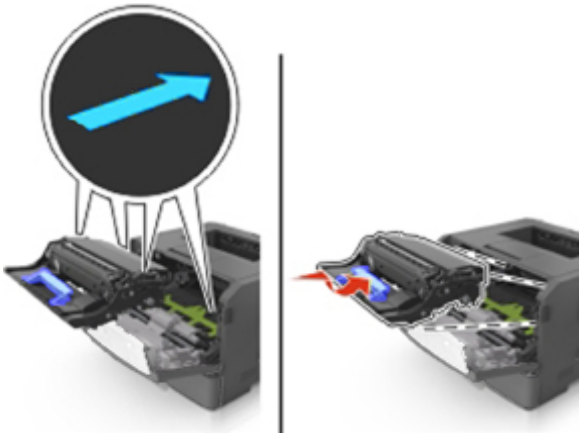
5. 梱包材をすべて取除きます。

   警告—破損の恐れがあります:イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。

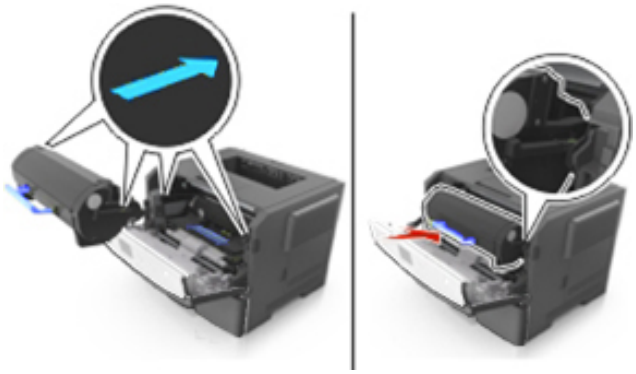
   警告—破損の恐れがあります:イメージングユニットの下の光沢のある青いフォトコンダクタードラムには触れないでください。触れると、印刷品質に影響を与えることがあります。



6. イメージングユニットのサイドレールの矢印を本機内側のサイドレールの矢印に合わせ、イメージングユニットを奥に挿入します。



7. トナーカートリッジのサイドレールの矢印を本機内側のサイドレールの矢印に合わせ、トナーカートリッジを奥に挿入します。



8. 前面ドアを閉じます。

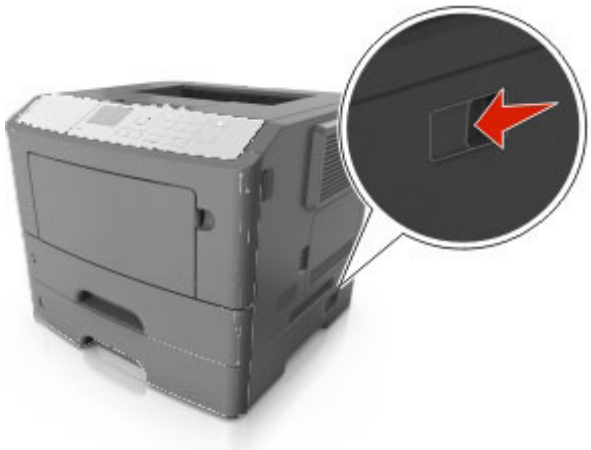
メモ：使用済みイメージングユニットは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。イメージングユニットは火気のあるところに廃棄したり燃やしたりしないでください。

本機を移動する

移動する前に

注意—ケガをする可能性があります：本機を移動する際は、ケガや本機の破損を避けるため、以下のことに注意してください。

- 電源スイッチで本機の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。
- 本機を移動する前に、コードやケーブル類をすべて外してください。
- オプションのトレイが取付けられている場合、本機からトレイを取外します。オプションのトレイを取外すには、トレイの右側面のラッチをトレイの正面に向けてカチッと音がするまでスライドさせます。



- 本機を持ち上げるときは、本機の両側面にある持ち手を使用します。
- 本機を床などに置くときは指が本機の下に挟まれないように注意してください。
- 本機を設置する前に、本機の周囲に操作するために十分なスペースがあることを確認してください。

本製品に付属する、または製造元が代替品として認可した電源コードのみを使用してください。

警告—破損の恐れがあります：不適切な移動による本機への損傷は保証の対象外です。

別の場所に移動する

本機やハードウェアオプションを別の場所に安全に移動するため、次の点に注意してください。

- 移動には、底がはみ出さない大きさの台車を使用してください。
- ハードウェアオプションの移動に台車を使用する場合は、ハードウェアオプション全体を載せられる台車を使用してください。
- 本機は直立状態に保ってください。
- 急激な動きは避けてください。

輸送するときは

本機を輸送するときは、元の梱包材を使用してください。

9—紙づまりの処理

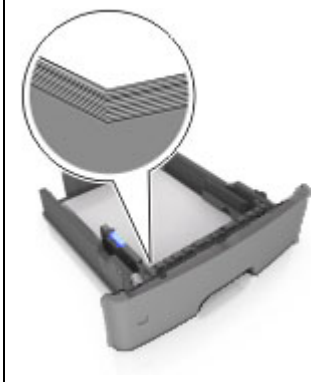
適切な用紙および専用紙を選択して正しくセットすれば、ほとんどの紙づまりを防ぐことができます。紙づまりが発生した場合は、この章に示されている手順に従ってください。

警告—破損の恐れがあります：紙づまりを処理するときには道具を使わないでください。道具を使用することによってフューザに損傷を与える可能性があります。

紙づまりを起こさないためには

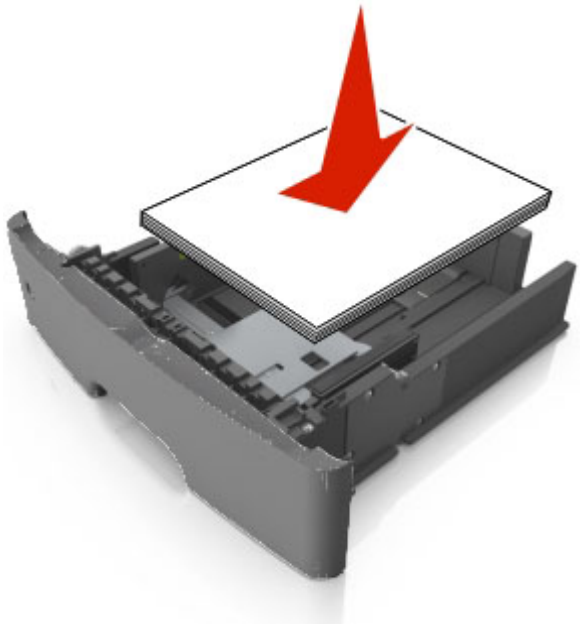
用紙を正しくセットする

- 用紙はトレイに平らにセットしてください。

適切な用紙のセット方法	不適切な用紙のセット方法
	

- 印刷中はトレイを引抜かないでください。
- 印刷中はトレイに用紙をセットしないでください。印刷前にセットするか、セットするよう指示が表示されるまで待ってください。
- セットする用紙の量が多すぎないようにしてください。用紙の高さが給紙上限マークを超えないようにしてください。

- 用紙をトレイに横からすべり込ませて追加しないようにしてください。図のように、上から用紙を確実にセットしてください。



- トレイまたは多目的フィーダーのガイドが正しい位置にあり、用紙または封筒をきつく固定していないことを確認してください。
- 用紙をセットしたらトレイを本機にしっかりと押込んでください。

推奨された用紙を使用する

- 推奨用紙または専用紙のみを使用してください。
- しわ、折り目のある用紙、湿っている用紙、曲がっている用紙はセットしないでください。
- 用紙の束をほぐし、よくさばいてから揃えてセットします。

- 手で切った用紙は使用しないでください。
- 大きさ、種類、重さが異なる用紙を同じトレイに同時にセットしないでください。
- 操作パネル、内蔵 Web サーバー機能で、用紙の大きさとタイプが正しく設定されていることを確認してください。

  メモ：[**用紙メニュー**]の設定項目を確認してください。

- 製造元が推奨する方法で用紙を保管してください。

紙づまりのメッセージと発生箇所について

紙づまりが発生すると、つまった場所とつまりの処理方法を示すメッセージが操作パネルの画面に表示されます。紙づまりを取除くには、画面に示されたドア、カバー、トレイを開きます。

メモ:

- [**紙づまりのアシスト**]が[**オン**]に設定されている場合、紙づまりの原因のページが取除かれた後、自動で空白ページまたは一部印刷されたページを標準排紙トレイに排出します。印刷されたページの中に破棄されたページがあるかどうかチェックしてください。
- [**紙づまり後の処理**]が[**オン**]または[**自動**]に設定されている場合、紙づまりしたページは再度印刷されます。ただし、[**自動**]の設定の場合は、つまったページが必ず印刷されるわけではありません。

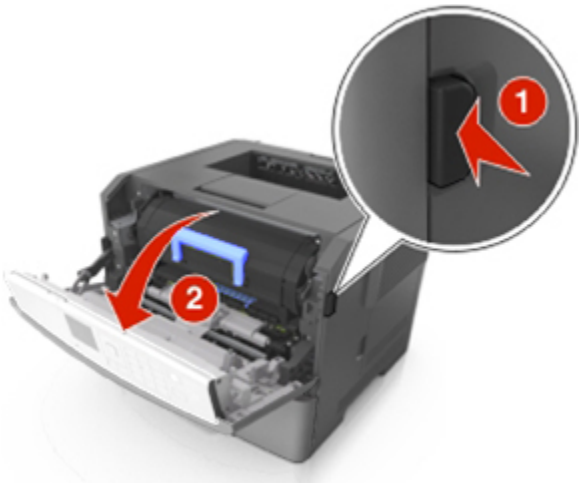
	場所	操作パネルのメッセージ	対処
1	標準排紙トレイ	[x]-ページ紙づまり、標準排紙トレイのつまりを取り除きます。[20y.xx]	つまった用紙を取除きます。
2	背面ドア	[x]-ページ紙づまり、背面ドアを開きます。[20y.xx]	背面ドアを開き、つまった用紙を取除きます。
3	トレイ 1	[x]-ページ紙づまり、トレイ 1 を取り外し、両面印刷ユニットのつまりを除去します。[23y.xx]	トレイ 1 を完全に引出し、前面の両面印刷部の蓋を押下げて、つまった用紙を取除きます。 **メモ**:23y.xx の紙づまりを処理するには、背面ドアを開ける必要がある場合があります。
4	トレイ x	[x]-ページ紙づまり、トレイ[x]を取り外します。[24y.xx]	指定されたトレイを引出し、つまった用紙をまっすぐに取除きます。
5	多目的フィーダー	[x]-ページ紙づまり、手差しフィーダーのつまりを取り除きます。[250.xx]	多目的フィーダーの用紙をすべて取出し、つまった紙を取除きます。

	場所	操作パネルのメッセージ	対処
6	前面ドア	[x]-ページ紙づまり、前面ドアを開きます。[20y.xx]	前面ドアを開き、トナーカートリッジ、イメージングユニットを取外し、つまった用紙を取除きます。

[x]-ページ紙づまり、前面ドアを開きます。[20y.xx]

注意—表面が高温になっています：本機の内部が高温になっている場合があります。高温になった部品で火傷などを負わないように、表面が冷えてから処理してください。

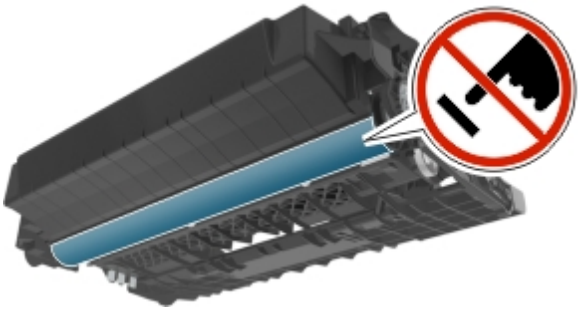
1. 右側面にあるボタンを押して前面ドアを開きます。



2. 取っ手を持ってトナーカートリッジを引出します。

3. 青色の取っ手を持上げ、イメージングユニットを引出します。

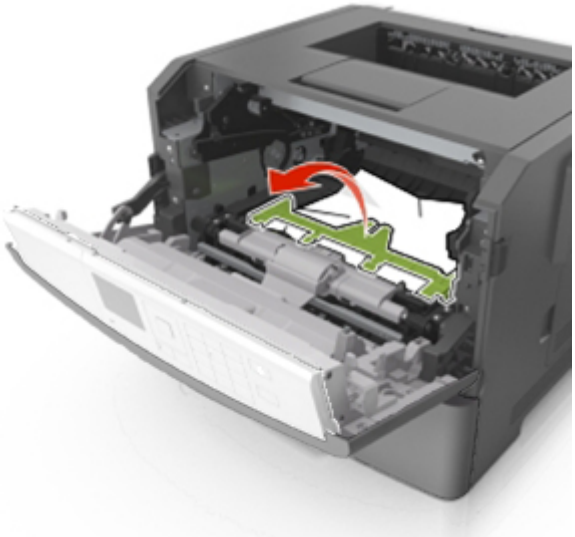
警告—破損の恐れがあります：イメージングユニットの下の光沢のある青いフォトコンダクタードラムには触れないでください。触れると、印刷品質に影響を与えることがあります。



4. イメージングユニットを平らな場所に置きます。

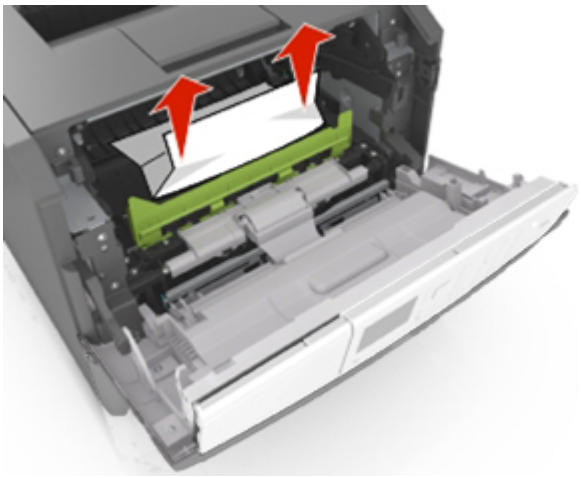
警告—破損の恐れがあります：イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。

5. 内部手前にある緑色のフラップを持上げます。

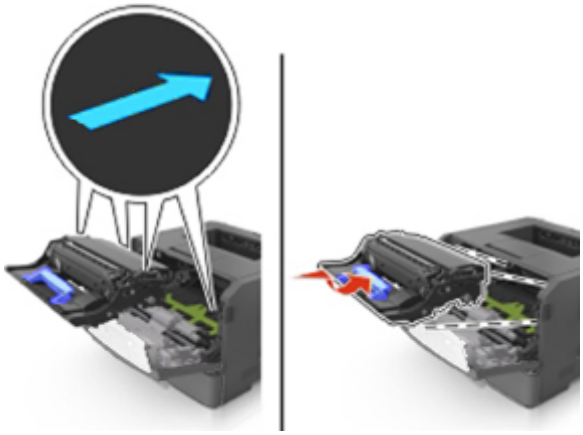


6. つまった用紙の両側をしっかり持って、ゆっくり引出します。

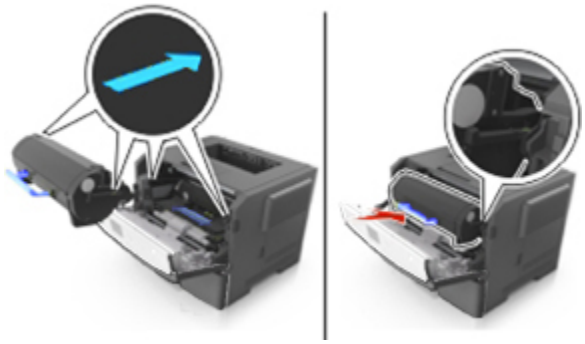
   メモ：紙片が残らないように取除いてください。



7. イメージングユニットのサイドレールの矢印を本機内側のサイドレールの矢印に合わせ、イメージングユニットを奥に挿入します。



8. トナーカートリッジのサイドレールの矢印を本機内側のサイドレールの矢印に合わせ、トナーカートリッジを奥に挿入します。



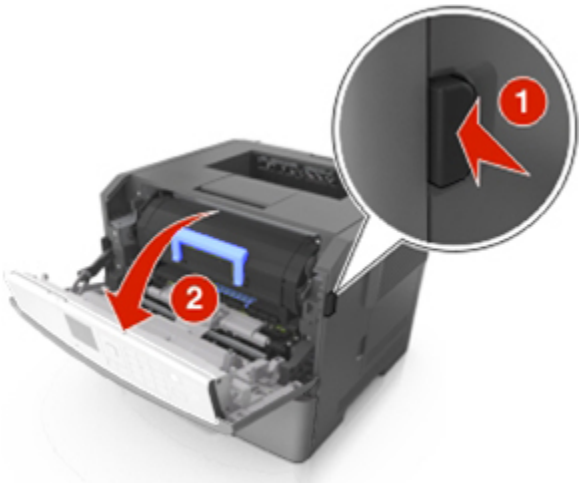
9. 前面ドアを閉じます。

10. メッセージを消去して印刷を続行するには、操作パネルで、次の順に選択します。

    [**次へ**]> OK >**つまっているものを取り除き、[OK]を押します**> OK 。

[x]-ページ紙づまり、背面ドアを開きます。[20y.xx]

1. 右側面にあるボタンを押して前面ドアを開きます。



2. 背面ドアをゆっくりと引下げます。

   注意—表面が高温になっています:本機の内部が高温になっている場合があります。高温になった部品で火傷などを負わないように、表面が冷えてから処理してください。

3. つまった用紙の両側をしっかり持って、ゆっくり引出します。

   メモ：紙片が残らないように取除いてください。

4. 背面ドアを閉じます。
5. 前面ドアを閉じます。
6. メッセージを消去して印刷を続行するには、操作パネルで、次の順に選択します。

   [**次へ**]> OK >**つまっているものを取り除き、[OK]を押します**> OK 。

[x]-ページ紙づまり、標準排紙トレイのつまりを取り除きます。[20y.xx]

1. つまった用紙の両側をしっかり持って、ゆっくり引出します。

   メモ：紙片が残らないように取除いてください。

2. メッセージを消去して印刷を続行するには、操作パネルで、次の順に選択します。

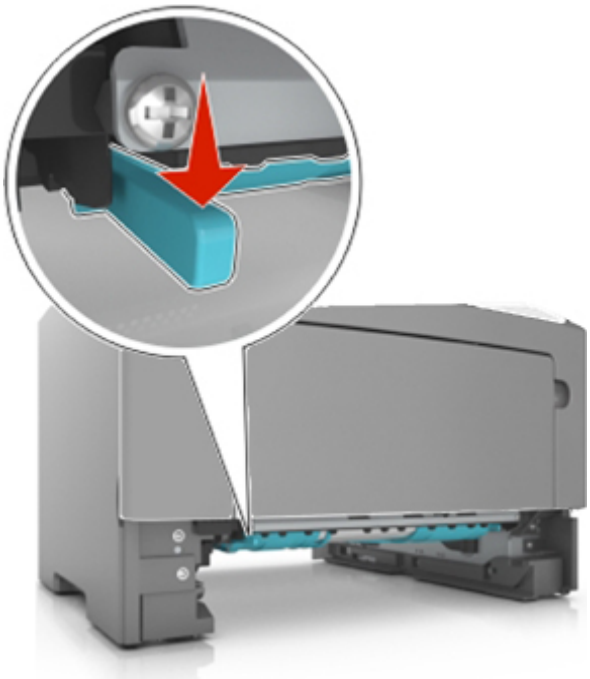
   [**次へ**]> OK >**つまっているものを取り除き、[OK]を押します**> OK 。

[x]-紙づまり、トレイ 1 を取り外し、両面印刷ユニットのつまりを除去します。[23y.xx]

注意—表面が高温になっています：本機の内部が高温になっている場合があります。高温になった部品で火傷などを負わないように、表面が冷えてから処理してください。

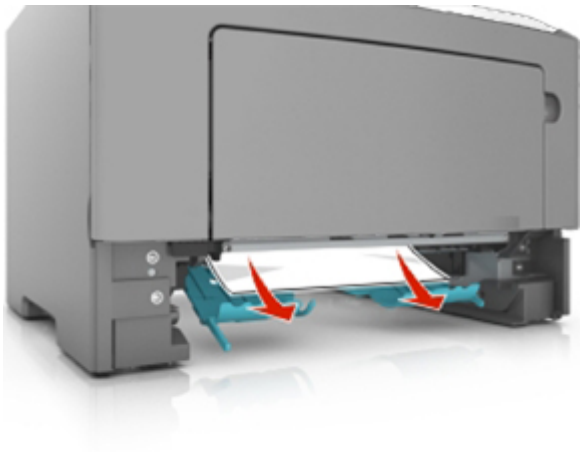
1. トレイを手前に完全に引出します。

2. 青いレバーの位置を確認して引下げ、つまった用紙を引出せるようにします。



3. つまった用紙の両側をしっかり持って、ゆっくり引出します。

   メモ：紙片が残らないように取除いてください。



4. トレイをセットします。奥まで押して確実にセットします。
5. メッセージを消去して印刷を続行するには、操作パネルで、次の順に選択します。

   [**次へ**]> OK >**つまっているものを取り除き、[OK]を押します**> OK 。

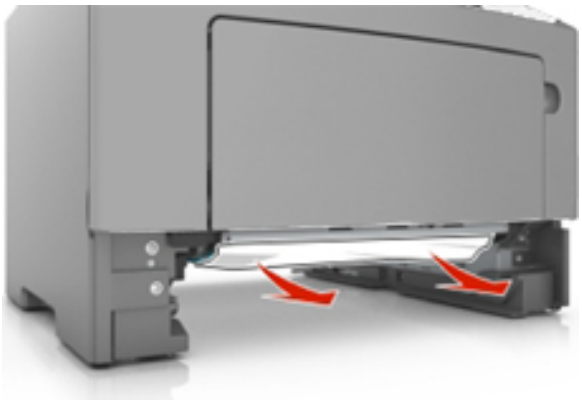
[x]-紙づまり、トレイ[x]を開きます。[24y.xx]

1. トレイを手前に完全に引出します。

   メモ：用紙がつまっているトレイはディスプレイのメッセージで確認できます。対象のトレイを引出してください。

2. つまった用紙の両側をしっかり持って、ゆっくり引出します。

   メモ：紙片が残らないように取除いてください。



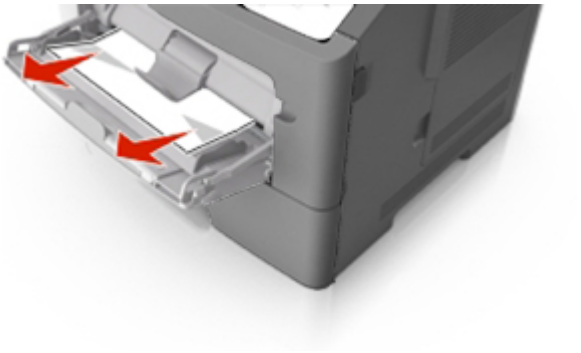
3. トレイをセットします。奥まで押して確実にセットします。
4. メッセージを消去して印刷を続行するには、操作パネルで、次の順に選択します。

   [**次へ**]> OK >**つまっているものを取り除き、[OK]を押します**> OK 。

[x]-紙づまり、手差しフィーダーのつまりを取り除きます。[25y.xx]

1. 多目的フィーダーでつまった用紙の両側をしっかり持って、ゆっくり引出します。

   メモ：紙片が残らないように取除いてください。



2. 用紙をほぐし、よくさばいてから平らな面で端を揃えます。用紙を折ったり畳んだりしないでください。

3. 多目的フィーダーに用紙を再度セットします。

メモ：左端のガイドが用紙の端に軽く触れる位置にあることを確認します。

4. メッセージを消去して印刷を続行するには、操作パネルで、次の順に選択します。

   ［**次へ**］> OK >**つまっているものを取り除き、［OK］を押します**> OK 。

10—トラブルシューティング

表示されるメッセージについて

カートリッジ、イメージングユニットが不一致[41.xy]

1. トナーカートリッジとイメージユニットが両方とも純正消耗品であることを確認します。

   メモ:消耗品の一覧については、以下の項目をご覧ください。
   参照⇒「消耗品や交換部品の注文について」

2. 純正のトナーカートリッジとイメージユニットに交換します。

カートリッジ残り僅か[88.xy]

トナーカートリッジを準備してください。印刷を続けるときは、操作パネルで[**続行**]を選択してメッセージを解除し、印刷を続行できます。最後に確認の OK を押します。

トナーカートリッジ残僅か

印刷を続けるときは、操作パネルで[**続行**]を選択してメッセージを解除し、印刷を続行できます。最後に確認の OK を押します。

[x] カートリッジ極少、残り約 n ページ[88.xy]

トナーカートリッジをただちに交換する必要があります。交換方法について、詳しくは、以下の項目をご覧ください。
参照⇒「トナーカートリッジを交換する」

印刷を続けるときは、操作パネルで[**続行**]を選択してメッセージを解除し、印刷を続行できます。最後に確認の OK を押します。

[給紙源]を[ユーザ定義タイプ名]に変更して[用紙の向き]をセット

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙をトレイまたは多目的フィーダーにセットします。操作パネルで[**用紙メニュー**]から[**用紙サイズ/タイプ**]の設定を確認して、[**用紙の変更が完了しました**]と表示されたら OK を押します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源]を[ユーザー定義文字列]に変更して[用紙の向き]にセットしてください

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙をトレイまたは多目的フィーダーにセットします。操作パネルで[**用紙メニュー**]から[**用紙サイズ/タイプ**]の設定を確認して、[**用紙の変更が完了しました**]と表示されたら OK を押します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源]を[用紙サイズ]に変更して[用紙の向き]をセット

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙をトレイまたは多目的フィーダーにセットします。操作パネルで[**用紙メニュー**]から[**用紙サイズ/タイプ**]の設定を確認して、[**用紙の変更が完了しました**]と表示されたら OK を押します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源名]を[用紙タイプ][用紙サイズ]に変更　[用紙の向き]にセット

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙をトレイまたは多目的フィーダーにセットします。操作パネルで[**用紙メニュー**]から[**用紙サイズ/タイプ**]の設定を確認して、[**用紙の変更が完了しました**]と表示されたら OK を押します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

前面ドアを閉じる

前面ドアを閉じます。

複雑なページ、一部のデータが印刷されていない可能性があります[39]

以下のいずれかの方法を行います。

- 印刷を続ける場合は、操作パネルで[**続行**]を選択し、確認の OK を押します。メッセージを終了して印刷を継続できます。
- 印刷をキャンセルする場合は、そのまま確認の OK を押します。
- メモリーを増設します。

構成設定変更。保持されたジョブが幾つか復元されません[57]

以下のいずれかの理由で保持されたジョブが無効になっています。

- 本機のファームウェアが更新されました。
- 印刷ジョブで指定しているトレイが外されました。
- 印刷ジョブが保存されている USB フラッシュメモリーが外されました。

操作パネルで[**続行**]を選択し、確認の OK を押します。メッセージを終了します。

フラッシュメモリ不良[51]

以下のいずれかの方法を行います。

- 不具合のあるフラッシュメモリーカードを交換します。
- 印刷を続ける場合は、操作パネルで[**続行**]を選択し、確認の OK を押します。メッセージを終了して印刷を開始します。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

USB ドライブの読み取りエラーです。USB を外してください。

サポートされていない USB デバイスが取付けられています。USB デバイスを取外し、サポートされているデバイスを取付けてください。

USB ハブ読み取りエラー。ハブを外してください。

サポートされていない USB ハブが取付けられています。USB ハブを取外し、サポートされているハブを取付けてください。

イメージングユニット残り僅か[84.xy]

イメージングユニットを準備してください。操作パネルで[**続行**]を選択するとメッセージを終了して印刷を継続できます。確認の OK を押します。

イメージングユニット残りほぼ僅か[84.xy]

操作パネルで[**続行**]を選択するとメッセージを終了して印刷を継続できます。確認の OK を押します。

イメージングユニット残りごく僅か、推定残りページ[x][84.xy]

イメージングユニットをただちに交換する必要があります。詳しくは、以下の項目をご覧ください。
参照⇒「イメージングユニットを交換する」

操作パネルで[**続行**]を選択するとメッセージを終了して印刷を継続できます。確認の OK を押します。

誤った用紙サイズ、開く: [給紙源] [34]

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙をトレイまたは多目的フィーダーにセットします。
- 操作パネルで[**続行**]を選択し、確認の OK を押すと、メッセージを終了して別のトレイから給紙します。
- トレイ内の縦横それぞれの用紙ガイドがセットした用紙のサイズに合った正しい位置になっているかどうかを確認します。
- [**印刷設定**]または[**プリント**]ダイアログを開いて、用紙サイズと用紙タイプを確認します。
- 操作パネルで[**用紙メニュー**]の[**用紙サイズ/タイプ**]の設定を確認します。
- 用紙サイズが正しく設定されているか確認します。たとえば、[**多目的フィーダーサイズ**]が[**ユニバーサル**]に設定されている場合、印刷するデータに対して用紙のサイズが十分であることを確認してください。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

トレイ[x]をセット中

指定されたトレイを挿入します。

リソース保存機能を使うにはメモリ不足です[35]

メモリーを増設するか、印刷を続ける場合は、操作パネルで[**続行**]を選択し、確認の OK を押します。メッセージを終了して印刷を継続できます。リソース保存機能は無効になります。

丁合印刷にはメモリ不足です[37]

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで[**続行**]を選択すると、すでに保存されているジョブの一部を印刷した後、残りの部分のジョブを丁合で印刷します。確認の OK を押します。
- ジョブをキャンセルします。

フラッシュメモリのデフラグを行うにはメモリが不足しています[37]

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで[**続行**]を選択すると、デフラグを停止し、メッセージを終了して印刷を継続できます。確認の OK を押します。
- メモリーに保存されているフォントやマクロなどのデータを削除します。
- メモリーを増設します。

メモリ不足、保持されたジョブが幾つか削除されました[37]

現在のジョブを処理するため保持されたジョブ（コンフィデンシャルジョブ、確認ジョブ、予約ジョブおよび繰り返しジョブなど）の一部が削除されました。

確認の OK を押します。

メモリ不足、いくつかの保持されたジョブの復元不可[37]

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで確認の OK を押します。
- 空きメモリーを増やすため、他の保持されたジョブも削除します。

[給紙源]に[ユーザー定義文字列][用紙の向き]の用紙をセットしてください

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙をトレイまたは多目的フィーダーにセットします。
- 適切な用紙をセットしたときは、操作パネルで[**用紙のセットが完了しました**]を選択し、確認の OK を押します。

  メモ：適切なサイズおよび種類の用紙がセットされたトレイが見つかると、そのトレイから印刷されます。適切なサイズおよび種類の用紙がセットされたトレイが見つからない場合は、初期設定のトレイから印刷されます。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源]に[ユーザー定義タイプ名][用紙の向き]の用紙をセットしてください

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙をトレイまたは多目的フィーダーにセットします。
- 適切な用紙をセットしたときは、操作パネルで[**用紙のセットが完了しました**]を選択し、確認の OK を押します。

  メモ:適切なサイズおよび種類の用紙がセットされたトレイが見つかると、そのトレイから印刷されます。適切なサイズおよび種類の用紙がセットされたトレイが見つからない場合は、初期設定のトレイから印刷されます。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源]に[用紙の種類][用紙の向き]の用紙をセットしてください

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙をトレイまたは多目的フィーダーにセットします。
- 適切な用紙をセットしたときは、操作パネルで[**用紙のセットが完了しました**]を選択し、確認の OK を押します。

  メモ:適切なサイズおよび種類の用紙がセットされたトレイが見つかると、そのトレイから印刷されます。適切なサイズおよび種類の用紙がセットされたトレイが見つからない場合は、初期設定のトレイから印刷されます。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

[給紙源名]に[用紙タイプ][用紙サイズ][用紙の向き]にセットをセット中

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙をトレイまたは多目的フィーダーにセットします。
- 適切な用紙をセットしたときは、操作パネルで[**用紙のセットが完了しました**]を選択し、確認の OK を押します。

  メモ:適切なサイズおよび種類の用紙がセットされたトレイが見つかると、そのトレイから印刷されます。適切なサイズおよび種類の用紙がセットされたトレイが見つからない場合は、初期設定のトレイから印刷されます。
- 印刷ジョブをキャンセルします。

多目的フィーダに[カスタムタイプ名][用紙の向き]をセット中

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙を手差しフィーダー(多目的フィーダー)にセットします。

- OK を押すとメッセージを終了して印刷を継続します。

  メモ：手差しフィーダーに用紙がセットされていない場合に[**続行**]を選択または OK を押すと、他のトレイを自動で選択して印刷を続行します。

- 印刷ジョブをキャンセルします。

手差しフィーダーに下記をセット中[カスタム文字列][用紙の向き]

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙を手差しフィーダー（多目的フィーダー）にセットします。
- OK を押すとメッセージを終了して印刷を継続します。

  メモ：手差しフィーダーに用紙がセットされていない場合に[**続行**]を選択または OK を押すと、他のトレイを自動で選択して印刷を続行します。

- 印刷ジョブをキャンセルします。

手差しフィーダーに下記をセット中[用紙サイズ][用紙の向き]

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙を手差しフィーダー（多目的フィーダー）にセットします。
- OK を押すとメッセージを終了して印刷を継続します。

  メモ：手差しフィーダーに用紙がセットされていない場合に[**続行**]を選択または OK を押すと、他のトレイを自動で選択して印刷を続行します。

- 印刷ジョブをキャンセルします。

MP フィーダに[用紙タイプ][用紙サイズ][用紙の向き]にセットをセット中

以下のいずれかの方法を行います。

- 適切なサイズおよび種類の用紙を手差しフィーダー（多目的フィーダー）にセットします。
- OK を押すとメッセージを終了して印刷を継続します。

  メモ：手差しフィーダーに用紙がセットされていない場合に[**続行**]を選択または OK を押すと、他のトレイを自動で選択して印刷を続行します。

- 印刷ジョブをキャンセルします。

メンテナンスキットが低下しています[80.xy]

保守キットを準備してください。操作パネルで[**続行**]を選択するとメッセージを終了して印刷を継続できます。確認の OK を押します。

メンテナンスキットがほぼ低下しています[80.xy]

操作パネルで[**続行**]を選択するとメッセージを終了して印刷を継続できます。確認の OK を押します。

メンテナンスキットが非常に低下しています、推定残りページ[x][80.xy]

保守キットをただちに交換する必要があります。

操作パネルで[**続行**]を選択するとメッセージを終了して印刷を継続できます。確認の OK を押します。

メモリ満杯[38]

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで[**ジョブをキャンセル**]を選択するとメッセージを終了します。確認の OK を押します。
- メモリーを増設します。

ネットワーク[x]ソフトウェアエラー [54]

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで[**続行**]を選択するとメッセージを終了して印刷を継続できます。確認の OK を押します。
- 本機の電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。
- 本機またはプリントサーバーのネットワークファームウェアを更新します。

プリンタメーカー以外の[消耗品タイプ]です。ユーザーガイドを参照してください[33.xy]

メモ：消耗品タイプは、トナーカートリッジまたはイメージングユニットなどです。

他社製の消耗品または部品が取付けられています。

本機は、純正の消耗品および部品を使用して最適に動作するように設計されています。サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、パフォーマンス、信頼性、本機の寿命およびイメージングコンポーネントに影響する場合があります。

消耗品の寿命センサーは、純正の消耗品および部品を使用して機能するように設計されており、サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、予期せぬ結果になることがあります。想定された寿命を超えてイメージングコンポーネントを使用すると、本機や関連するコンポーネントが損傷する可能性があります。

警告—破損の恐れがあります：サードパーティ製の消耗品や部品の使用は、保証の対象に影響します。サードパーティ製の消耗品や部品の使用による損傷は、保証の対象外となる可能性があります。

これらのリスクをすべてご理解いただいた上で、純正でない消耗品や部品の使用を続行する場合は：

操作パネルで OK と ボタンを同時に 15 秒間押し続けます。メッセージを消去して印刷を続行できます。

リスクを回避していただくには、サードパーティ製の消耗品や部品を本機から取外し、純正の消耗品や部品を取付けてください。

メモ：消耗品の一覧について詳しくは、以下の項目をご覧ください。
参照⇒「消耗品や交換部品の注文について」

リソースのためのフラッシュメモリの空き領域が不足[52]

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで[**続行**]を選択するとメッセージを終了して印刷を継続できます。確認の OK を押します。
- メモリーに保存されているフォントやマクロなどのデータを削除します。
- より容量の大きなフラッシュメモリーカードに交換します。

  メモ：フラッシュメモリーに保存されていないダウンロード済みのフォントおよびマクロは削除されます。

プリンタは再起動されました。最後のジョブは完了していない可能性があります。

操作パネルで確認の OK を押します。

なくなっているまたは呼び出ししないカートリッジを取り付けなおしてください[31.xy]

以下のいずれかの方法を行います。

- トナーカートリッジがなくなっていないかを確認します。なくなっている場合は、トナーカートリッジを取付けます。

  カートリッジの取付け方法について詳しくは、以下の項目をご覧ください。
  参照⇒「トナーカートリッジを交換する」
- トナーカートリッジが取付けられている場合は、応答しないトナーカートリッジを取外してから、取付けなおします。

  メモ：カートリッジの再取付け後にメッセージが表示された場合、そのカートリッジは不良です。新しいトナーカートリッジに交換してください。

なくなっているまたは呼び出ししないイメージングユニットを取り付けなおしてください[31.xy]

以下のいずれかの方法を行います。

- イメージングユニットがなくなっていないかを確認します。なくなっている場合は、イメージングユニットを取付けます。

  イメージングユニット取付け方法について詳しくは、以下の項目をご覧ください。
  参照⇒「イメージングユニットを交換する」

- イメージングユニットが取付けられている場合は、応答しないイメージングユニットを取外してから、取付けなおします。

  メモ:イメージングユニットの再取付け後にメッセージが表示された場合、そのイメージングユニットは不良です。新しいイメージングユニットに交換してください。

標準排紙トレイから用紙を取除く

標準排紙トレイにためられている用紙を取除きます。取除いたことは自動的に認識され、印刷が再開されます。

用紙を取除いてもメッセージが終了しないときは、OKを押してください。

カートリッジを交換、推定残りページ 0[88.xy]

カートリッジ交換が必要です。カートリッジを交換するまでメッセージを終了して印刷を再開することができません。
交換方法について、詳しくは、以下の項目をご覧ください。
参照⇒「トナーカートリッジを交換する」

メモ:交換用のカートリッジがない場合は、以下の項目をご覧ください。
参照⇒「消耗品や交換部品の注文について」

カートリッジを交換、プリンタの地域設定が不一致

地域番号が一致するトナーカートリッジを取付けます。x が本機の地域番号を、y がカートリッジの地域番号を示します。地域番号の一覧は以下の通りです。

地域番号一覧

地域番号	地域
1	米国、ラテンアメリカ(120V 地域)、台湾
2	ヨーロッパ
3	太平洋アジア地域(日本)

メモ:

- x と y は、エラーコードに含まれる変数を示します。
- 印刷を続けるには、x と y の値が一致する必要があります。

イメージユニットを交換、推定残りページ 0[84.xy]

イメージングユニットの交換が必要です。イメージングユニットを交換するまでメッセージを終了して印刷を再開することができません。交換方法について、詳しくは、以下の項目をご覧ください。
参照⇒「イメージングユニットを交換する」

メモ:交換用のイメージングユニットがない場合は、以下の項目をご覧ください。
参照⇒「消耗品や交換部品の注文について」

メンテナンスキットを交換してください、推定残りページ 0[80.xy]

本機のメンテナンスが必要です。サービス実施店にご相談ください。
参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」

サポートされていないカートリッジを交換[32.xy]

対応しているカートリッジへの交換が必要です。カートリッジを交換するまでメッセージを終了して印刷を再開することができません。交換方法について、詳しくは、以下の項目をご覧ください。
参照⇒「トナーカートリッジを交換する」

メモ:交換用のカートリッジがない場合は、以下の項目をご覧ください。
参照⇒「消耗品や交換部品の注文について」

サポートされていないイメージングユニットを交換[32.xy]

対応しているイメージングユニットへの交換が必要です。イメージングユニットを交換するまでメッセージを終了して印刷を再開することができません。交換方法について、詳しくは、以下の項目をご覧ください。
参照⇒「イメージングユニットを交換する」

メモ:交換用のイメージングユニットがない場合は、以下の項目をご覧ください。
参照⇒「消耗品や交換部品の注文について」

SMTP サーバーが設定されていません。システム管理者に連絡してください。

操作パネルで[**続行**]を選択するとメッセージを終了します。確認の OK を押します。

メモ:メッセージが再び表示される場合は、システム管理者に問合わせてください。

標準ネットワークソフトウェアエラー[54]

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで[**続行**]を選択するとメッセージを終了して印刷を継続できます。確認の OK を押します。
- 電源を切ってから、再度入れます。
- 本機またはプリントサーバーのネットワークファームウェアを更新します。

標準 USB ポートが無効です[56]

操作パネルで[**続行**]を選択するとメッセージを終了します。確認の OK を押します。

メモ:

- USB ポートから受信したデータは破棄されます。
- 操作パネルで[**標準USB**]メニューの[**USBバッファ**]の設定を[**無効**]以外に設定してください。

フラッシュオプションが多過ぎます[58]

1. 電源を切ります。
2. コンセントから電源コードを抜きます。
3. 不要なフラッシュメモリーを取外します。
4. 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
5. 電源を入れます。

取り付けられたトレイが多過ぎます[58]

1. 電源を切ります。
2. コンセントから電源コードを抜きます。
3. 不要なトレイを取外します。
4. 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
5. 電源を入れます。

未フォーマットのフラッシュメモリ[53]

以下のいずれかの方法を行います。

- 操作パネルで[**続行**]を選択すると、デフラグを停止し、メッセージを終了して印刷を継続できます。確認の OK を押します。
- フラッシュメモリーをフォーマットします。

  メモ:エラーメッセージが表示され続ける場合は、フラッシュメモリーが不良のため、交換が必要な可能性があります。

スロット[x]に非サポートのオプション[55]

1. 電源を切ります。
2. コンセントから電源コードを抜きます。
3. コントローラーボードから、対応していないカードを取外し、サポートされているオプションのカードに交換します。
4. 電源コードを正しく接地されたコンセントに接続します。
5. 電源を入れます。

ハードウェアに関する問題を解決する

- 基本的な問題
- オプションの問題
- 給紙の問題

基本的な問題

本機が応答しない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 本機の電源が入っていることを確認します。 本機の電源は入っていますか？	手順 2 へ進みます。	電源を入れます。
手順 2 スリープモードまたはハイバネートモードになっていないか確認します。 スリープモードまたはハイバネートモードになっていませんか？	操作パネルのスリープボタンを押して、スリープモードまたはハイバネートモードから復帰します。	手順 3 へ進みます。
手順 3 電源コードの一方が本機に接続されており、もう一方が正しく接地され正常に動作しているコンセントに接続されていることを確認します。 電源コードは本機および正しくアースしたコンセントに接続されていますか？	手順 4 へ進みます。	電源コードの一方を本機に、もう一方を正しく接地され正常に動作しているコンセントに接続します。
手順 4 コンセントに接続されている他の電気製品を確認します。 他の電気製品は動作していますか？	他の電気製品をコンセントから抜き、本機の電源をオンにします。本機が動作しない場合は、他の電気製品をコンセントに接続しなおします。	手順 5 へ進みます。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 5 本機とコンピューターをつないでいるケーブルが正しいポートに接続されていることを確認します。 ケーブルは正しいポートに差込まれていますか？	手順 6 へ進みます。	以下が一致するようにしてください。 • ケーブルの USB マークと本機の USB マーク • ポートとそれに対応するイーサーネットケーブル
手順 6 コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていないことを確認します。 コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていませんか？	スイッチをオンにするか、ブレーカーをリセットします。	手順 7 へ進みます。
手順 7 サージプロテクタ、無停電電源装置、または延長コードに接続されていないかどうか確認します。 サージプロテクタ、無停電電源装置、または延長コードに接続されていませんか？	本機の電源コードを正しく接地されたコンセントに直接接続します。	手順 8 へ進みます。
手順 8 プリンターケーブルの一方が本機のポートに、もう一方がコンピューター、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスに接続されていることを確認します。 プリンターケーブルの一方が本機に、もう一方がコンピューター、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスにしっかりと接続されていますか？	手順 9 へ進みます。	プリンターケーブルを本機およびコンピューター、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスにしっかりと接続します。
手順 9 すべてのハードウェアオプションが正しく装着され、梱包材がすべて取除かれていることを確認してください。 すべてのハードウェアオプションが正しく装着され、梱包材がすべて取除かれていますか？	手順 10 へ進みます。	本機の電源をオフにし、すべての梱包材を取除いてハードウェアオプションを再度装着してから、電源を入れます。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 10 プリンタードライバーで正しいポート設定が選択されていることを確認します。 ポート設定は間違っていませんか？	手順 11 へ進みます。	正しいプリンタードライバー設定を使用します。
手順 11 インストールされているプリンタードライバーを確認します。 正しいプリンタードライバーがインストールされていますか？	手順 12 へ進みます。	正しいプリンタードライバーをインストールします。
手順 12 本機の電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 本機は動作していますか？	問題は解決しました。	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」

操作パネルのディスプレイに何も表示されない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 操作パネルのスリープボタンを押します。 ディスプレイに[**レディ**]（準備完了）と表示されていますか？	問題は解決しました。	手順 2 へ進みます。
手順 2 本機の電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 しばらくするとディスプレイに[**お待ちください**]と[**準備完了**]が表示されますか？	問題は解決しました。	電源を切り、サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」

オプションの問題

内蔵オプションが検出されない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 本機の電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 内蔵オプションは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	手順 2 へ進みます。
手順 2 内蔵オプションがコントローラーボードに正しく取付けられていることを確認します。 1. 電源スイッチで本機の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。 2. 内蔵オプションがコントローラーボードの適切なコネクターに取付けられていることを確認します。 3. 電源コードを本機に接続し、正しくアースしたコンセントに接続してから、電源をオンにします。 内蔵オプションはコントローラーボードに正しく取付けられていますか？	手順 3 へ進みます。	内蔵オプションをコントローラーボードに正しく取付けます。
手順 3 「メニュー設定ページ」を印刷して、ページ下部の装着オプションに内蔵オプションが含まれているか確認します。 内蔵オプションは「メニュー設定ページ」に記載されていますか？	手順 4 へ進みます。	内蔵オプションをコントローラーボードに取付けなおします。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 4 1. 内蔵オプションが選択されているかどうかチェックします。 内蔵オプションを追加でセットアップした場合、印刷ジョブで使用できるようにするために、プリンタードライバーの設定でオプションを手動追加する必要がある場合があります。 2. 印刷ジョブを再送信します。 内蔵オプションは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」

トレイに関する問題

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. トレイを開き、以下の項目を順に確認します。 - 紙づまりや給紙ミスがないか確認します。 - トレイ内の縦横それぞれの用紙ガイドがトレイ底の用紙サイズ指示と位置が合っているかどうか確認します。 - ユーザー定義のカスタムサイズの用紙を使用している場合は、用紙ガイドが用紙の端に当たっていることを確認します。 - 用紙が給紙上限マークを超えないようにします。 - 用紙はトレイに平らにセットしてください。 2. トレイが正常に閉じるか確認します。 トレイは動作しますか？	問題は解決しました。	手順 2 へ進みます。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 2 1. 本機の電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 2. 印刷ジョブを再送信します。 トレイは動作しますか？	問題は解決しました。	手順 3 へ進みます。
手順 3 トレイが正しく取付けられているかどうか確認します。 「メニュー設定ページ」を印刷して、ページ下部の装着オプションに内蔵オプションが含まれているか確認します。 トレイは「メニュー設定ページ」に記載されていますか？	手順 4 へ進みます。	トレイを取付けます。詳しくは、トレイに同梱のセットアップ説明書類をご覧ください。
手順 4 トレイがプリンタードライバーで使用可能かどうか確認します。 **メモ**:トレイを追加で装着した場合、印刷ジョブで使用できるようにするために、プリンタードライバーの設定でオプションを手動追加する必要がある場合があります。 トレイはプリンタードライバーで使用可能ですか？	手順 5 へ進みます。	プリンタードライバーにトレイを手動で追加します。
手順 5 オプションが選択されているかどうかチェックします。 1. 使用しているアプリケーションで、オプションを選択します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 トレイは動作しますか？	問題は解決しました。	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」

給紙の問題

紙づまりが頻繁に起こる

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. トレイを開き、以下の項目を順に確認します。 - 用紙はトレイに平らにセットしてください。 - トレイ内の縦横それぞれの用紙ガイドがトレイ底の用紙サイズ指示と位置が合っているかどうか確認します。 - 用紙ガイドが用紙の両端に当たっていることを確認します。 - 用紙が給紙上限マークを超えないようにします。 - 推奨のサイズと種類の用紙に印刷しているかどうかを確認します。 2. トレイを確実にセットします。 ［**紙づまり後の処理**］が有効な場合、紙づまりしたページが再度印刷されます。 紙づまりがまだ頻繁に発生しますか？	手順 2 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 2 1. 包装から出したばかりの用紙をセットします。 **メモ：**湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 2. 印刷ジョブを再送信します。 紙づまりがまだ頻繁に発生しますか？	手順 3 へ進みます。	問題は解決しました。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 3 1. 紙づまりを防止するための情報を確認します。 参照⇒「紙づまりを起こさないためには」 2. この情報にしたがって用紙をセットし、印刷ジョブを再送信します。 紙づまりがまだ頻繁に発生しますか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

紙づまりを取除いた後も紙づまりのメッセージが表示されている

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
1. 操作パネルで、次の順に選択します。 - ［**次へ**］> OK >**つまっているものを取り除き、［OK］を押します**> OK 。 2. ディスプレイに表示される説明に従います。 まだメッセージが表示されますか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

紙づまりをしたページが再印刷されない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
1. ［**紙づまり後の処理**］を有効にします。 a. 操作パネルで、次の順に選択します。 ［**設定**］>［**一般設定**］>［**印刷回復**］>［**紙づまり後の処理**］ b. ［**オン**］または［**自動**］を選択します。 c. OK を押します。 2. 印刷されなかったページを再送信します。 紙づまりが発生したページが再印刷されましたか？	問題は解決しました。	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」

印刷に関する問題を解決する

印刷の問題

複数言語の PDF ファイルが印刷されない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. PDF ファイル作成時の印刷オプションで、すべてのフォントを埋め込む設定になっていることを確認します。 2. 新しくフォントを埋め込んだ PDF ファイルを生成し、印刷ジョブを再送信します。 ファイルが印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 2 へ進みます。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 2 1. 印刷するドキュメントを Adobe Acrobat で開きます。 2. ［**ファイル**］>［**印刷**］>［**詳細設定**］>［**画像として印刷**］>［**OK**］>［**OK**］の順にクリックします。 ファイルが印刷されましたか？	問題は解決しました。	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」

USB フラッシュメモリーの読み取り時にエラーメッセージが表示される

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 USB フラッシュメモリーが前面の USB ポートに挿入されていることを確認します。 **メモ**：USB フラッシュメモリーは背面の USB ポートに挿入されていると動作しません。 USB フラッシュメモリーは前面の USB ポートに挿入されていますか？	手順 2 へ進みます。	USB フラッシュメモリーを前面の USB ポートに挿入します。
手順 2 本機が使用中かどうかを確認します。 **メモ**：緑色のランプが点滅しているときは使用中です。 本機のランプが点滅していませんか？	準備が完了するまで待ち、保留中のジョブのリストを表示して、ドキュメントを印刷します。	手順 3 へ進みます。
手順 3 ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか、確認します。 **メモ**：赤色のランプの点滅はエラーを示します。エラー発生中のため、USB フラッシュメモリーは認識されません。 ディスプレイにエラーメッセージが表示されていますか？	メッセージを消去します	手順 4 へ進みます。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 4 USB フラッシュメモリーが対応しているかどうかを確認します。 検証、認定された USB フラッシュメモリーを確認してください。 参照⇒「対応している USB フラッシュメモリーおよびファイルの種類.」 USB フラッシュメモリーが対応していますか？	手順 5 へ進みます。	対応している USB フラッシュメモリーを使用します。
手順 5 システム管理者によって USB ポートが無効にされていませんか？ USB スロットが無効ですか？	システム管理者にお問合せください。	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」

ジョブが印刷できない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. 印刷する文書を開いたアプリケーションから［**印刷**］ダイアログボックスを開き、正しいプリンターが選択されているかどうかを確認します。 **メモ**：［**通常使うプリンターに設定**］していない場合は、印刷のたびにプリンターを選択する必要があります。 2. 印刷ジョブを再送信します。 ジョブが印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 2 へ進みます。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 2 1. 本機がコンセントに接続され、電源が入っていて、ディスプレイに[**レディ**]が表示されているかどうかを確認します 2. 印刷ジョブを再送信します。 ジョブが印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 3 へ進みます。
手順 3 ディスプレイにエラーメッセージが表示されている場合は、メッセージを消去します。 **メモ**：メッセージを終了すると印刷可能になります。 ジョブが印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 4 へ進みます。
手順 4 1. ポート（USB、イーサーネット）が動作しているかどうか、ケーブルがコンピューターと本機にしっかりと接続されているかどうかを確認します。 **メモ**：詳しくは、本製品に付属の「設定マニュアル」をご覧ください。 2. 印刷ジョブを再送信します。 ジョブが印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 5 へ進みます。
手順 5 1. 本機の電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 2. 印刷ジョブを再送信します。 ジョブが印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 6 へ進みます。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 6 1. プリンタードライバーを削除してから、再インストールします。 参照⇒「プリンタードライバーのインストール」 2. 印刷ジョブを再送信します。 ジョブが印刷されましたか？	問題は解決しました。	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」

コンフィデンシャルジョブや他の保持されたジョブが印刷できない

メモ：保存されているコンフィデンシャルジョブ、確認ジョブ、予約ジョブおよび繰り返しジョブは、後から指定されたジョブを処理するためにメモリーが足りない場合は削除されることがあります。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 操作パネルのディスプレイに表示される［**保持されたジョブ**］を開き、目的のジョブがあるかどうか確認します。 ［**保持されたジョブ**］の中に目的のジョブはありますか？	手順 2 へ進みます。	プリンタードライバーで［**ジョブの印刷/保存**］の種類を設定し印刷ジョブを再送信します。 参照⇒「コンフィデンシャルジョブなどの保持されたジョブの印刷」
手順 2 印刷ジョブに構文エラーか無効なデータが含まれている可能性があります。 • プリントジョブを削除し、印刷しなおします。 • PDF ファイルの場合は、新しく作成して印刷します。 インターネットから印刷している場合は、複数のジョブを同じジョブと認識し、最初のジョブ以外を削除することがあります。 ジョブが印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 3 へ進みます。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 3 ［**保持されたジョブ**］からジョブを削除してメモリーを空けます。 ジョブが印刷されましたか？	問題は解決しました。	メモリーを追加してください。

ジョブの印刷に予想以上の時間がかかる

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 本機の設定を変更します。 1. 操作パネルで、次の順に選択します。 ［**設定**］>［**一般設定**］ 2. ［**エコモード**］や［**静音モード**］を［**オフ**］に設定します。 **メモ**：［**エコモード**］や［**静音モード**］を無効にすると、消耗品や電力の消費が上がります。 速度は改善しましたか？	問題は解決しました。	手順 2 へ進みます。
手順 2 フォント数やフォントサイズ、画像数、画像サイズ、ページ数を減らしてから、印刷ジョブを再送信します。 速度は改善しましたか？	問題は解決しました。	手順 3 へ進みます。
手順 3 1. メモリーに保存されている［**保持されたジョブ**］のジョブを削除します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 速度は改善しましたか？	問題は解決しました。	手順 4 へ進みます。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 4 1. ［**ページ保護**］機能を［**オフ**］にします。 操作パネルで、次の順に選択します。 ［**設定**］>［**一般設定**］>［**印刷回復**］>［**ページ保護**］>［**オフ**］ 2. 印刷ジョブを再送信します。 速度は改善しましたか？	問題は解決しました。	手順 5 へ進みます。
手順 5 メモリーを追加してから印刷ジョブを再送信します。 速度は改善しましたか？	問題は解決しました。	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」

間違ったトレイから給紙される、間違った用紙で印刷される

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. トレイで使用可能な用紙に印刷していることを確認します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 正しいトレイ、正しい用紙で印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 2 へ進みます。
手順 2 1. 操作パネルで［**用紙メニュー**］の［**用紙サイズ/タイプ**］の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 2. 印刷ジョブを再送信します。 正しいトレイ、正しい用紙で印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 3 へ進みます。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 3 1. ［**印刷設定**］または［**プリント**］ダイアログを開いて（オペレーティングシステムで異なります）、用紙タイプを指定します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 正しいトレイ、正しい用紙で印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 4 へ進みます。
手順 4 1. トレイがリンクされていないことを確認します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 正しいトレイ、正しい用紙で印刷されましたか？	問題は解決しました。	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」

異なる文字が印刷される

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 16 進トレースモードになっていないことを確認します。 **メモ**：ディスプレイに［**Hex Trace.**］のメッセージが表示されるときは、電源を切ってしばらく待ってから再度電源を入れると 16 進トレースモードが終了します。 16 進トレースモードになっていますか？	16 進トレースモードを終了します。	手順 2 へ進みます。
手順 2 1. 操作パネルで［**標準ネットワーク**］の各プリンター言語の SmartSwitch 設定を［**オン**］に設定します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 異なる文字で印刷されますか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

トレイがリンクしない

メモ:トレイおよび多目的フィーダーでは、用紙のサイズが自動で検知されません。[用紙サイズ/タイプ]メニューでトレイごとの用紙サイズと用紙タイプを設定する必要があります。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
1. リンクするトレイそれぞれに同じ用紙をセットし、操作パネルで[**用紙メニュー**]の各トレイの設定を実際の用紙に合わせます(各トレイとも同じ用紙、同じ設定になります)。 **メモ**:用紙のサイズと種類は、リンクするトレイに実際にセットしている用紙に合わせます。 2. 印刷ジョブを再送信します。 トレイが正しくリンクされますか?	問題は解決しました。	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」

ジョブが大きく丁合印刷されない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. 操作パネルで[**仕上げメニュー**]の[**丁合**]を[**(1,2,3)(1,2,3)**]に設定します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 正しく丁合印刷されましたか?	問題は解決しました。	手順 2 へ進みます。
手順 2 1. プリンタードライバーで[**ソート(1 部ごと)**]を有効にします。 **メモ**:プリンタードライバーの[**ソート(1 部ごと)**]の設定は、操作パネルの[**仕上げメニュー**]の設定より優先されます。 2. 印刷ジョブを再送信します。 正しく丁合印刷されましたか?	問題は解決しました。	手順 3 へ進みます。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 3 文書が複雑にならないよう、フォント数やフォントサイズ、画像数、画像サイズ、ページ数を減らしてから、印刷ジョブを再送信します。 正しく丁合印刷されましたか？	問題は解決しました。	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」

予期しない改ページが発生する

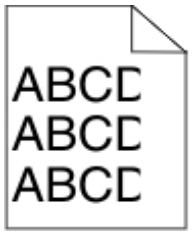
対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 ［**印刷タイムアウト**］の設定を調整します。 1. 操作パネルで、次の順に選択します。 ［**設定**］>［**一般設定**］>［**タイムアウト**］>［**印刷タイムアウト**］ 2. 長い時間に設定し、OKまたは[**送信**]を押します（機種によって異なります）。 3. 印刷ジョブを再送信します。 正しく印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 2 へ進みます。
手順 2 1. 原稿に余分な改ページがないか確認します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 正しく印刷されましたか？	問題は解決しました。	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」

印刷品質の問題

文字がぎざぎざしている

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. フォントのサンプル一覧を印刷して、使用しているフォントが本機に搭載されているかを確認します。 a. 操作パネルで、次の順に選択します。 ［**設定**］>［**レポート**］>［**フォント一覧印刷**］ b. ［**PCL フォント**］または［**PostScript フォント**］を選択します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 本機に搭載されているフォントを使用していますか？	手順 2 へ進みます。	本機に搭載されているフォントを使用して文書を作成してください。
手順 2 コンピューターにインストールされているフォントが本機に搭載されているかを確認します。 コンピューターにインストールされているフォントが本機に搭載されていますか？	問題は解決しました。	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」

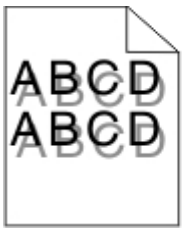
ページやイメージが欠ける



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. トレイ内の縦横それぞれの用紙ガイドをセットした用紙のサイズに合った正しい位置にします。 2. 印刷ジョブを再送信します。 ページやイメージが欠けますか？	手順 2 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 2 操作パネルで［**用紙メニュー**］の［**用紙サイズ/タイプ**］の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 ［**用紙サイズ/タイプ**］の設定は実際のトレイにセットしてある用紙と同じですか？	手順 3 へ進みます。	どちらかで対処してください。 • ［**用紙サイズ/タイプ**］の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 • セットする用紙を［**用紙サイズ/タイプ**］の設定に合わせます。
手順 3 1. ［**印刷設定**］または［**プリント**］ダイアログを開いて（オペレーティングシステムで異なります）、用紙サイズを指定します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 ページやイメージが欠けますか？	手順 4 へ進みます。	問題は解決しました。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 4 1. イメージングユニットを取付けなおします。 a. トナーカートリッジを取外します。 b. イメージングユニットを取外します。 **警告—破損の恐れがあります**：イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 c. イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。 2. 印刷ジョブを再送信します。 ページやイメージが欠けますか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

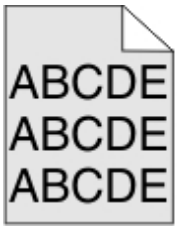
ページに影が印刷される



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 正しい種類と重さの用紙をトレイにセットします。 正しい種類と重さの用紙がトレイにセットされていますか？	手順 2 へ進みます。	正しい種類と重さの用紙をトレイにセットします。

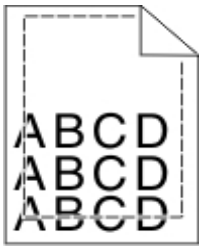
対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 2 操作パネルで[**用紙メニュー**]の[**用紙サイズ/タイプ**]と[**用紙の重さ**]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 セットされている用紙の種類と重さがトレイに設定されていますか？	手順 3 へ進みます。	[**用紙メニュー**]の[**用紙サイズ/タイプ**]と[**用紙の重さ**]で設定した用紙に対応するように用紙を交換します。
手順 3 1. [**印刷設定**]または[**プリント**]ダイアログを開いて(オペレーティングシステムで異なります)、用紙種類を指定します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 まだページに影が印刷されますか？	手順 4 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 4 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだページに影が印刷されますか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

背景が薄いグレーになる



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. 操作パネルで[**印刷品質メニュー**]の[**トナーの濃さ**]を下げます。 **メモ**:出荷時設定は[**8**]です。 2. 印刷ジョブを再送信します。 背景の薄いグレーが印刷されなくなりましたか？	問題は解決しました。	手順 2 へ進みます。
手順 2 イメージングユニットとトナーカートリッジを取付けなおします。 1. トナーカートリッジを取外します。 2. イメージングユニットを取外します。 **警告—破損の恐れがあります**:イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 3. イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。 4. 印刷ジョブを再送信します。 背景の薄いグレーが印刷されなくなりましたか？	問題は解決しました。	手順 3 へ進みます。
手順 3 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 背景の薄いグレーが印刷されなくなりましたか？	問題は解決しました。	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」

余白が正しくない



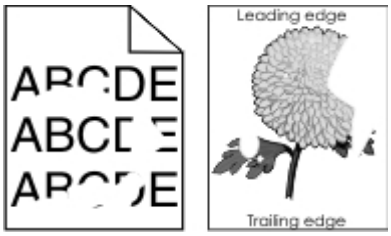
対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. トレイ内の縦横それぞれの用紙ガイドをセットした用紙のサイズに合った正しい位置にします。 2. 印刷ジョブを再送信します。 正しい余白になりましたか？	問題は解決しました。	手順 2 へ進みます。
手順 2 操作パネルで［**用紙メニュー**］の［**用紙サイズ/タイプ**］の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 ［**用紙サイズ/タイプ**］の設定は実際のトレイにセットしてある用紙と同じですか？	手順 3 へ進みます。	どちらかで対処してください。 • ［**用紙サイズ/タイプ**］の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 • セットする用紙を［**用紙サイズ/タイプ**］の設定に合わせます。
手順 3 1. ［**印刷設定**］または［**プリント**］ダイアログを開いて（オペレーティングシステムで異なります）、用紙サイズを指定します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 正しい余白になりましたか？	問題は解決しました。	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」

用紙がカールする

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 トレイ内の縦横それぞれの用紙ガイドをセットした用紙のサイズに合った正しい位置にします。 縦横それぞれの用紙ガイドは正しい位置ですか？	手順 2 へ進みます。	縦横それぞれの用紙ガイドをセットした用紙のサイズに合った正しい位置にします。
手順 2 操作パネルで［**用紙メニュー**］の［**用紙サイズ/タイプ**］と［**用紙の重さ**］の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 ［**用紙サイズ/タイプ**］と［**用紙重さ**］の設定が実際のトレイにセットしてある用紙と合っていますか？	手順 3 へ進みます。	［**用紙サイズ/タイプ**］と［**用紙の重さ**］の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。
手順 3 1. ［**印刷設定**］または［**プリント**］ダイアログを開いて（オペレーティングシステムで異なります）、用紙種類を指定します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 まだ用紙がカールしますか？	手順 4 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 4 1. トレイから用紙を取出し、裏返します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 まだ用紙がカールしますか？	手順 5 へ進みます。	問題は解決しました。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 5 1. 包装から出したばかりの用紙をセットします。 **メモ**:湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 2. 印刷ジョブを再送信します。 まだ用紙がカールしますか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

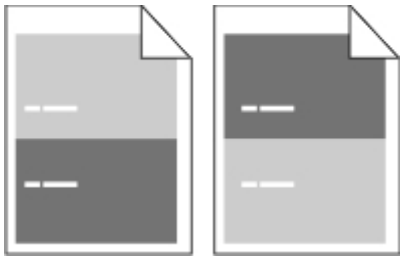
印刷が抜ける部分がある



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. トレイ内の縦横それぞれの用紙ガイドをセットした用紙のサイズに合った正しい位置にします。 2. 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が抜けますか？	手順 2 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 2 操作パネルで[**用紙メニュー**]の[**用紙サイズ/タイプ**]と[**用紙の重さ**]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 セットされている用紙の種類と重さがトレイに設定されていますか？	手順 3 へ進みます。	[**用紙サイズ/タイプ**]と[**用紙の重さ**]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。

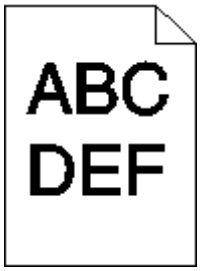
対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 3 1. ［**印刷設定**］または［**プリント**］ダイアログを開いて（オペレーティングシステムで異なります）、用紙種類を指定します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が抜けますか？	手順 4 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 4 トレイにセットした用紙の表面が粗いかどうかを確認します。 用紙の表面が粗い用紙に印刷していますか？	操作パネルで［**用紙メニュー**］の［**用紙表面粗さ**］の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。	手順 5 へ進みます。
手順 5 1. 包装から出したばかりの用紙をセットします。 **メモ**：湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 2. 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が抜けますか？	手順 6 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 6 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が抜けますか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

印刷不良が繰り返し現れる



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 印刷不良の間隔を計測します。 印刷不良の間隔が次の値に一致するかどうかを確認します。 - 97 mm - 47 mm - 38 mm 一覧の中に該当する印刷不良の間隔がありますか？	手順 2 へ進みます。	1. 印刷不良の間隔が 80 mm かどうかを確認します。 2. 間隔を記録して、サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」
手順 2 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷不良が現れますか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

印刷が濃すぎる



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. 操作パネルで[**印刷品質メニュー**]の[**トナーの濃さ**]を下げます。 **メモ:** 出荷時設定は[**8**]です。 2. 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が濃いですか？	手順 2 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 2 1. 操作パネルで[**用紙メニュー**]の[**用紙サイズ/タイプ**]、[**用紙表面粗さ**]および[**用紙重さ**]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 2. 印刷ジョブを再送信します。 セットされている用紙の種類と表面粗さ、および重さがトレイに設定されていますか？	手順 3 へ進みます。	どちらかで対処してください。 • [**用紙サイズ/タイプ**]、[**用紙表面粗さ**]および[**用紙の重さ**]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 • セットする用紙を[**用紙サイズ/タイプ**]、[**用紙表面粗さ**]および「用紙重さ」の設定に合わせます。
手順 3 1. [**印刷設定**]または[**プリント**]ダイアログを開いて（オペレーティングシステムで異なります）、用紙種類を指定します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が濃いですか？	手順 4 へ進みます。	問題は解決しました。

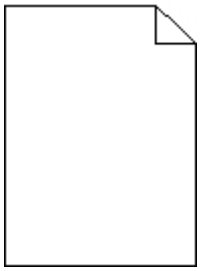
対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 4 トレイにセットした用紙の表面が粗いかどうかを確認します。 用紙の表面が粗い用紙に印刷していますか？	操作パネルで［**用紙メニュー**］の［**用紙表面粗さ**］の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。	手順 5 へ進みます。
手順 5 1. 包装から出したばかりの用紙をセットします。 **メモ**：湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 2. 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が濃いですか？	手順 6 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 6 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が濃いですか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

印刷が薄すぎる

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. 操作パネルで[**印刷品質メニュー**]の[**トナーの濃さ**]を上げます。 **メモ:** 出荷時設定は[**8**]です。 2. 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が薄いですか？	手順 2 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 2 操作パネルで[**用紙メニュー**]の[**用紙サイズ/タイプ**]、[**用紙表面粗さ**]および[**用紙重さ**]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 セットされている用紙の種類と表面粗さ、および重さがトレイに設定されていますか？	手順 3 へ進みます。	どちらかで対処してください。 • [**用紙サイズ/タイプ**]、[**用紙表面粗さ**]および[**用紙の重さ**]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 • セットする用紙を[**用紙サイズ/タイプ**]、[**用紙表面粗さ**]および「用紙重さ」の設定に合わせます。
手順 3 1. [**印刷設定**]または[**プリント**]ダイアログを開いて（オペレーティングシステムで異なります）、用紙種類を指定します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が薄いですか？	手順 4 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 4 トレイにセットした用紙の表面が粗いかどうかを確認します。 用紙の表面が粗い用紙に印刷していますか？	操作パネルで[**用紙メニュー**]の[**用紙表面粗さ**]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。	手順 5 へ進みます。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 5 1. 包装から出したばかりの用紙をセットします。 **メモ**：湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 2. 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が薄いですか？	手順 6 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 6 1. イメージングユニットのトナーの偏りをなくします。 a. トナーカートリッジを取外してからイメージングユニットを取外します。 b. イメージングユニットを振ってトナーの偏りをなくします。 **警告—破損の恐れがあります**：イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 c. イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。 2. 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が薄いですか？	手順 7 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 7 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が濃いですか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

何も印刷されない



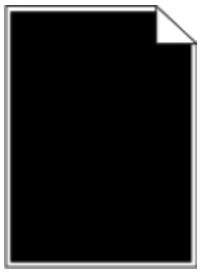
対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. イメージングユニットに梱包材が残っていないことを確認します。 a. トナーカートリッジを取外してからイメージングユニットを取外します。 b. イメージングユニットから適切に梱包材が取外されていることを確認します。 **警告—破損の恐れがあります**：イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 c. イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。 2. 印刷ジョブを再送信します。 まだ何も印刷されませんか？	手順 2 へ進みます。	問題は解決しました。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 2 1. イメージングユニットのトナーの偏りをなくします。 a. トナーカートリッジを取外してからイメージングユニットを取外します。 b. イメージングユニットを振ってトナーの偏りをなくします。 **警告—破損の恐れがあります**：イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 c. イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。 2. 印刷ジョブを再送信します。 まだ何も印刷されませんか？	手順 3 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 3 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 まだ何も印刷されませんか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

印刷が傾く

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. トレイ内の縦横それぞれの用紙ガイドをセットした用紙のサイズに合った正しい位置にします。 2. 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が傾いていますか？	手順 2 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 2 1. トレイで使用可能な用紙に印刷していることを確認します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷が傾いていますか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

ページが黒く印刷される

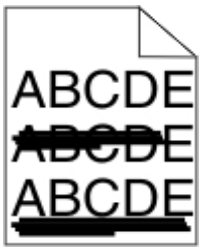


対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. イメージングユニットを取付けなおします。 a. トナーカートリッジを取外してからイメージングユニットを取外します。 **警告—破損の恐れがあります**：イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 b. イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。 2. 印刷ジョブを再送信します。 ページが黒く印刷されますか？	手順 2 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 2 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 ページが黒く印刷されますか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

OHP フィルムの印刷品質が悪い

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 操作パネルで[**用紙メニュー**]の[**用紙サイズ/タイプ**]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 使用するトレイの[**用紙サイズ/タイプ**]が[**OHPフィルム**]に設定されていますか？	手順 2 へ進みます。	トレイの[**用紙サイズ/タイプ**]を[**OHPフィルム**]に設定します。
手順 2 1. 推奨されている OHP フィルムを使用しているかどうかを確認します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 まだ印刷品質に問題がありますか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

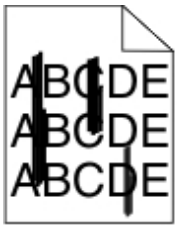
ページに横線が現れる

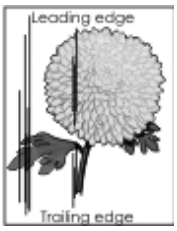


対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. [**印刷設定**]または[**プリント**]ダイアログを開いて(オペレーティングシステムで異なります)、トレイや多目的フィーダーを指定します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 ページに横線が現れますか？	手順 2 へ進みます。	問題は解決しました。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 2 操作パネルで[**用紙メニュー**]の[**用紙サイズ/タイプ**]と[**用紙の重さ**]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 セットされている用紙の種類と重さがトレイに設定されていますか？	手順 3 へ進みます。	[**用紙サイズ/タイプ**]と[**用紙の重さ**]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。
手順 3 1. 包装から出したばかりの用紙をセットします。 **メモ**：湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 2. 印刷ジョブを再送信します。 ページに横線が現れますか？	手順 4 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 4 1. イメージングユニットを取付けなおします。 a. トナーカートリッジを取外してからイメージングユニットを取外します。 **警告—破損の恐れがあります**：イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 b. イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。 2. 印刷ジョブを再送信します。 ページに横線が現れますか？	手順 5 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 5 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 ページに横線が現れますか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

ページに縦線が現れる





対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. ［**印刷設定**］または［**プリント**］ダイアログを開いて（オペレーティングシステムで異なります）、用紙種類を指定します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 ページに縦線が現れますか？	手順 2 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 2 操作パネルで［**用紙メニュー**］の［**用紙サイズ/タイプ**］、［**用紙表面粗さ**］および［**用紙の重さ**］の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 セットされている用紙の種類と表面粗さ、および重さがトレイに設定されていますか？	手順 3 へ進みます。	どちらかで対処してください。 • ［**用紙サイズ/タイプ**］、［**用紙表面粗さ**］および［**用紙の重さ**］の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 • セットする用紙を［**用紙サイズ/タイプ**］、［**用紙表面粗さ**］および「用紙重さ」の設定に合わせます。
手順 3 1. 包装から出したばかりの用紙をセットします。 **メモ：**湿度が高いと、用紙が湿気を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 2. 印刷ジョブを再送信します。 ページに縦線が現れますか？	手順 4 へ進みます。	問題は解決しました。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 4 1. イメージングユニットを取付けなおします。 a. トナーカートリッジを取外してからイメージングユニットを取外します。 **警告—破損の恐れがあります**：イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 b. イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。 2. 印刷ジョブを再送信します。 ページに縦線が現れますか？	手順 5 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 5 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 ページに縦線が現れますか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

印刷に横方向の空白が現れる

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. ソフトウェアで適切な塗りパターンに設定していることを確認します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 印刷に横方向の空白が現れますか？	手順 2 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 2 1. トレイまたは多目的フィーダーに推奨用紙をセットします。 2. 印刷ジョブを再送信します。 印刷に横方向の空白が現れますか？	手順 3 へ進みます。	問題は解決しました。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 3 1. イメージングユニットのトナーの偏りをなくします。 a. トナーカートリッジを取外してからイメージングユニットを取外します。 b. イメージングユニットを振ってトナーの偏りをなくします。 **警告—破損の恐れがあります**：イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 c. イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。 2. 印刷ジョブを再送信します。 印刷に横方向の空白が現れますか？	手順 4 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 4 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 印刷に横方向の空白が現れますか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

印刷に縦方向の空白が現れる

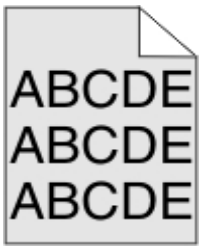
対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. ソフトウェアで適切な塗りパターンに設定していることを確認します。 2. 印刷ジョブを再送信します。 印刷に縦方向の空白が現れますか？	手順 2 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 2 1. 操作パネルで［**用紙メニュー**］の［**用紙サイズ/タイプ**］および［**用紙の重さ**］の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。 2. 印刷ジョブを再送信します。 印刷に縦方向の空白が現れますか？	手順 3 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 3 推奨用紙を使用しているかどうかを確認します。 1. トレイまたは多目的フィーダーに推奨用紙をセットします。 2. 印刷ジョブを再送信します。 印刷に縦方向の空白が現れますか？	手順 4 へ進みます。	問題は解決しました。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 4 1. イメージングユニットのトナーの偏りをなくします。 a. トナーカートリッジを取外してからイメージングユニットを取外します。 b. イメージングユニットを振ってトナーの偏りをなくします。 **警告—破損の恐れがあります**:イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 c. イメージングユニットを取付けてからトナーカートリッジを取付けます。 2. 印刷ジョブを再送信します。 印刷に縦方向の空白が現れますか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」 **メモ**:レーザースキャンユニットに欠陥がある可能性があります。	問題は解決しました。

印刷にトナーのしみが現れる

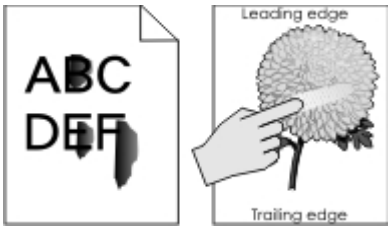
対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 印刷にトナーのしみが現れますか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

印刷にトナーにじみまたは背景の影が現れる



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 イメージングユニットを取付けなおします。 1. イメージングユニットを一旦取外し、また取付けます。 **警告—破損の恐れがあります**：イメージングユニットを 10 分以上、直射光の当たる場所に置いたままにしないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になります。 2. 印刷ジョブを再送信します。 印刷ににじみや影が現れますか？	手順 2 へ進みます。	問題は解決しました。
手順 2 イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 印刷ににじみや影が現れますか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

トナーがはがれやすい



対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 操作パネルで[**用紙メニュー**]の[**用紙サイズ/タイプ**]および[**用紙の重さ**]の設定を確認します。 セットされている用紙の種類および表面粗さがトレイに設定されていますか？	手順 2 へ進みます。	[**用紙サイズ/タイプ**]および[**用紙の重さ**]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。
手順 2 トレイにセットした用紙の表面が粗いかどうかを確認します。 用紙の表面が粗い用紙に印刷していますか？	操作パネルで[**用紙メニュー**]の[**用紙表面粗さ**]の設定を実際のトレイにセットしてある用紙に合わせます。	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」

印刷濃度が一定でない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
イメージングユニットを交換し、印刷ジョブを再送信します。 印刷濃度が一定ではありませんか？	サービス実施店にご相談ください。 参照⇒「製品サポートとサービスのご案内」	問題は解決しました。

内蔵 Web サーバー機能の画面が開かない

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 1 1. 本機の電源を入れます。 2. ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力します。 3. ［**Enter**］キーを押します。 内蔵 Web サーバーのページが開きますか？	問題は解決しました。	手順 2 へ進みます。
手順 2 本機のIPアドレスが正しいことを確認します。 1. 本機のIPアドレスを確認します。 - ［**ネットワーク/ポート**］メニューの［**TCP/IP**］の項目で確認する - 「ネットワーク設定ページ」または「メニュー設定ページ」を印刷し、［**TCP/IP**］の項目で確認する **メモ：**IP アドレスは、「123.123.123.123」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字の並びで表されます。 2. ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機のIPアドレスを入力します。 **メモ：**内蔵 Web サーバー機能にアクセスするには、ネットワーク設定に応じて、IP アドレスの前に「http://」ではなく「https://」と入力する必要がある場合があります。 3. ［**Enter**］キーを押します。 内蔵 Web サーバーのページが開きますか？	問題は解決しました。	手順 3 へ進みます。

対処方法・確認項目	「はい」の場合	「いいえ」の場合
手順 3 ネットワークが動作していることを確認します。 1. 「ネットワーク設定ページ」を印刷します。 2. 「ネットワーク設定ページ」の最初の項目で状態が「接続中」であるかどうかを確認します。 **メモ**：状態が［**接続なし**］の場合は、接続が一時的に切断されているか、ネットワークケーブルに問題がある可能性があります。解決方法をシステム管理者に問合わせてから、再度「ネットワーク設定ページ」を印刷します。 3. ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力します。 4. ［**Enter**］キーを押します。 内蔵 Web サーバーのページが開きますか？	問題は解決しました。	手順 4 へ進みます。
手順 4 ケーブルが本機とプリントサーバーやネットワークにしっかりと接続されているかどうかを確認します。 1. ケーブルを正しく接続します。詳しくは、本製品に付属の「設定マニュアル」をご覧ください。 2. ブラウザを起動し、アドレスフィールドに本機の IP アドレスを入力します。 3. ［**Enter**］キーを押します。 内蔵 Web サーバーのページが開きますか？	問題は解決しました。	手順 5 へ進みます。
手順 5 プロキシサーバーを一時的に無効にしてください。 プロキシサーバーを使用している場合は、本機の設定ページが正常に表示されないことがあります。 内蔵 Web サーバーのページが開きますか？	問題は解決しました。	システム管理者に問合わせてください。

製品サポートとサービスのご案内

サポートへお問合わせいただく場合は、発生している問題、操作パネルのディスプレイに表示されているメッセージ、問題を解決するためにどのような対処をされたか、などをお知らせください。

合わせて、製品の機種名、シリアル番号をご用意ください。製品情報の確認は、保証書や製品本体背面に貼られたラベルで確認いただくか、「メニュー設定ページ」を印刷して確認いただけます。また、サポートセンターのステッカーがある場合は、そちらの記載内容もご用意ください。

コニカミノルタホームページ：http://www.konicaminolta.jp/

11—付録

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

Copyright © 2012 KONICA MINOLTA, INC., JP Tower, 2-7-2 Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, 100-7014, Japan. All Rights Reserved.

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
コニカミノルタ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。
本書の記載事項からはずれて本製品を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響ついて、コニカミノルタ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタ株式会社の商標および登録商標です。

bizhub および PageScope は、コニカミノルタ株式会社の商標および登録商標です。

Mac および Mac ロゴは、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc.の商標または登録商標です。

PCL® is a registered trademark of the Hewlett-Packard Company. PCL is Hewlett-Packard Company's designation of a set of printer commands (language) and functions included in its printer products. This printer is intended to be compatible with the PCL language. This means the printer recognizes PCL commands used in various application programs, and that the printer emulates the functions corresponding to the commands.

次の用語は、各社の商標または登録商標です。

Albertus	The Monotype Corporation plc
Antique Olive	Monsieur Marcel OLIVE
Apple-Chancery	Apple Computer, Inc.
Arial	The Monotype Corporation plc
CG Times	Based on Times New Roman under license from The Monotype Corporation plc, is a product of Agfa Corporation

Chicago	Apple Computer, Inc.
Clarendon	Linotype-Hell AG and/or its subsidiaries
Eurostile	Nebiolo
Geneva	Apple Computer, Inc.
GillSans	The Monotype Corporation plc
Helvetica	Linotype-Hell AG and/or its subsidiaries
Hoefler	Jonathan Hoefler Type Foundry
ITC Avant Garde Gothic	International Typeface Corporation
ITC Bookman	International Typeface Corporation
ITC Mona Lisa	International Typeface Corporation
ITC Zapf Chancery	International Typeface Corporation
Joanna	The Monotype Corporation plc
Marigold	Arthur Baker
Monaco	Apple Computer, Inc.
New York	Apple Computer, Inc.
Oxford	Arthur Baker
Palatino	Linotype-Hell AG and/or its subsidiaries
Stempel Garamond	Linotype-Hell AG and/or its subsidiaries
Taffy	Agfa Corporation
Times New Roman	The Monotype Corporation plc
Univers	Linotype-Hell AG and/or its subsidiaries

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタ株式会社（以下、「KM」）より提供される、プリンターシステムの一部を構成するソフトウェア（以下、「プリンティングソフトウェア」）、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピューターシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。
本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それらすべてのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。
本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。
以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスをKMにより付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。

2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピューターにおいて再生表示することができます。

3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピューターにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピューターにインストールすることができます。

4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションに対する権利および所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人に本ソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物のすべてを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。

5. お客様は本ソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。

6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。

7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、およびそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利はすべて KM およびそのライセンサーに帰属します。

8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行にしたがって使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。

9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、すべての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。

10. KM およびそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KM およびそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。

11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.

12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

騒音レベル

以下の測定は、ISO 7779 に基づいて測定され、ISO 9296 に準拠して公示されました。

メモ：一部のモードでは、この範囲外になる場合があります。

1 メートルあたりの平均音圧（dBA）	
印刷時（片面/両面）	55dBA / 54dBA
待機時	15dBA

製品の廃棄

通常の家庭ごみと同様にプリンターや消耗品を処分しないでください。廃棄やリサイクルの方法については最寄りの自治体にご相談ください。

国際エネルギースタープログラム対応について

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本プリンター未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

温度仕様条件

操作環境の温度	15.6～32.2°C
輸送環境の温度	-20～40°C

消費電力

製品消費電力

次表は、製品の消費電力特性です。

モード	説明	消費電力
印刷時	印刷ジョブを受信し、プリントする動作中	640 W
レディ（待機時）	印刷ジョブが受信可能な待機状態	10 W
スリープモード時	印刷ジョブが受信可能な省電力モード中	5 W
ハイバネートモード	印刷ジョブが受信できない省電力モード中（スリープモードよりさらに省電力）	0.5 W
電源オフ	電源スイッチがオフ（電源コードには接続）	0.0 W

上記の表の消費電力は、時間平均測定値を表します。瞬間的にこの数値を上回ることもあります。

スリープモード

本機は、スリープモードと呼ばれる省エネモードがあります。スリープモードは、非アクティブ（データを受信しない状態）が一定時間続くと、自動的に電力消費を抑えてエネルギーを節約する機能です。スリープモードに切換るまでの待機時間をタイムアウトと呼びます。

スリープモードになるまでのタイムアウトの出荷時設定	30 分

設定メニューでスリープモードのタイムアウトを 1 分～120 分の間で変更することができます。短い時間に設定すると、電力消費を低減しますが印刷ジョブを受信してスリープモードから復帰する処理に時間がかかるようになります。長い時間に設定すると、印刷ジョブの処理は速くなりますが、電力は消費します。

ハイバネートモード

本機は、ハイバネートモードと呼ばれるより低電力の動作モードがあります（休止状態）。ハイバネートモード中は、すべてのシステムおよび接続デバイスは安全にパワーダウンしています。

ハイバネートモードは、次のいずれかの条件で切換ります：

- ハイバネートモードのタイムアウトを設定する
- 電力モードの定期実行を設定する
- スリープボタン

ハイバネートモードの有効/無効の出荷時設定	ハイバネートにしない（無効）

ハイバネートモードは、非アクティブ（データを受信しない状態）が長い時間続くと、自動的に切換ります。ハイバネートモードに切換るまでの待機時間をタイムアウトと呼び、設定メニューでハイバネートモードのタイムアウトを 1 時間～1 か月の間で変更することができます。

電源オフ

本機は電源オフの状態でも少量の電力を消費します。完全に消費電力を停止する場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。

総電気使用量

この情報は製品全体の電力使用を管理するために役立つ情報です。消費電力は電源単位の W（ワット）を用いて表され、製品全体の消費電力は各モードの時間条件で算出されます。またこれにより、製品全体の電力使用量も、各モードの電力使用量の合計で計算できます。